
敦賀発電所2号炉
平成30年調査会社報告書のうち
申請書に反映した10孔の
申請書用柱状図の元データ

令和2年9月24日
日本原子力発電株式会社

余白

目次

掘削時期	孔名	頁
平成24年掘削 報告書作成用柱状図	• H24-B8-21 (H26年9月)	5
	• H24-B8-22 (H26年10月)	13
	• H24-B11-1 (H26年9月)	21
	• H24-B11-2 (H26年12月)	27
	• H24-B14-2 (H26年9月)	33
平成27年掘削 コア観察カード	• H27-B-1 (H27年8月)	39
	• H27-B-2 (H27年8月)	71
	• H27-B-3 (H27年8月)	107
	• H27-B-4 (H27年8月)	145
	• H27-D5-1 (H27年8月)	177

余白

ボーリング柱状図

調査名 [Redacted]
事業・工事名 [Redacted]

ボーリングNo. table with 10 columns and 1 row containing the number 1.

Header information table including Boring Name (B8-21), Location, Date, and Personnel details.

Main data table with columns for depth, lithology, soil conditions, groundwater level, and test results.

標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コアラ形状	割れ目の状態	風化質	変質	記号	コアラ採取率 → (%) 最大コアラ長 cm R Q D ↳ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入 試験			原位置試験 (孔内水平断面)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアラチップ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)						
														N値	(N値 ~ 深度) 図	(N値)																	
-11.47	26.51	砂泥り砂	灰白											0			170	105/アイシング															
	30		砂礫							26.51~37.67m : 砂礫 26.51~28.03m : 礫は径5~50mm. 最大径250mmの歪角~歪円礫で礫率50~80%. 半クサリ礫主体で31.80m以下では硬質礫が残留. 31.80m以下ではほぼすべてが半クサリ礫. 基質はシルトが混る不均質な砂.																							
	37.67									30.90~31.80m : 堅硬・緻密な花崗斑岩巨礫																							
										34.35m : 灰色粘土夾在. 厚さ7mm.																							
										35.40~35.79m : 径2~10mmの礫が主体.																							
										37.67~37.67m : 基質は粗粒砂~細礫																							
										37.67~73.60m : 花崗斑岩 (Gp) 斑晶が少ない石基主体のアブライト質花崗斑岩. 黒雲母の含有率は5%程度. 38.66~38.82m : 岩芯まで著しく軟質化. 38.82~39.42m : 傾斜50~60°の割れ目が2~5cm間隔で分布し. 39.42~39.85m : 硬質でハンマー打撃で鈍い金属音. 39.85~42.20m : 割れ目密集部が多く. 割れ目に白~黄白色の軟質物を挟在.																							
	40		淡黄	IVc	cg	γ	2			41.79~42.09m : 上下位と比べて風化が進行し軟質.		CL'																					
			灰黄	IVc	cg	δ	1																										
			灰黄	IVc	cg	γ	2					CM'																					
			灰白	IVc	cg	γ	2																										
			灰白	IVc	cg	δ	3																										
			灰黄	IVc	cg	γ	2																										
			灰黄	IVc	cg	δ	1																										
			灰黄	IVc	cg	γ	2																										
			灰白	IVc	cg	δ	3																										
	50									47.70~48.50m : 傾斜60~70°の割れ目が10cm間隔で交錯.																							
										49.88m : 淡赤白色の砂混り粘土を挟在. 傾斜50°. 幅2~3mm.																							
										49.88~50.47m : 傾斜30~40°の割れ目が1~2cm間隔で分布																							
										51.86~52.26m : 白色に脱色し一部は軟質. 脱色変質部. 下端に褐色酸化部を伴う. 傾斜48°. 幅5~13mm.																							
										53.02~53.14m : 脱色変質し岩組織・割れ目は不明瞭. 軟質化.																							
										53.73~55.14m : 傾斜40~60°および75°以上の高角度割れ目が発達. 割れ目面の多くにマンガンが付着.																							
										55.14~56.64m : 概ね硬質. 多くの割れ目にマンガンが付着.																							
										60.68~61.46m : 傾斜30°と60°の割れ目が0.5~3cm間隔で分布. 割れ目交錯部分で脆弱化.																							
	60									61.66~62.06m : 傾斜約45°の割れ目が0.5~1cm間隔で発達. これらに70°の割れ目が交錯し岩は脆弱化.																							

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ↳ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原位置試験 (孔内水圧載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアカチューブ / ビット	給送水圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)																																																																																																				
															0	10	20	30	40												50																																																																																																			
70	-44.76	73.60		明禊灰	花崗斑岩	Cg	Vg	cg	γ	2	62.33~63.77m: 傾斜30°と60°の割れ目が発達し交差部は砂状~角礫状化。	8 (8)	CL'	7/29	120	2.9	0.3	4	0.4	3	150	2.0	0.5	0	ダブルコアチューブ / ダイヤモンドビット	120	0.2	泥水 9	0	0																																																																																																				
																															灰白	Cg	Vg	cg	δ	3	65.04~65.89m: 傾斜10~20°の割れ目または傾斜60~80°の割れ目が集中する部分は角礫状化。	11 (11)	CM'	7/30	95	0.2	0	180	0.2	0	150	0.2	0	ダブルコアチューブ / ダイヤモンドビット	120	0.2	泥水 9	0	0																																																																											
																																																								明禊灰	Cg	Vg	cg	γ	2	66.34~67.37m: 傾斜10~20°と60°の割れ目が1~10cm間隔で発達。一部で黄褐色~褐色シルトを挟む。	10 (10)	CL'	7/31	130	0.5	0	95	0.2	0	150	0.2	0	ダブルコアチューブ / ダイヤモンドビット	120	0.2	泥水 9	0	0																																																		
																																																																																	灰白	Cg	Vg	cg	δ	4	68.03~68.28m: 割れ目が0.5~1.5cm間隔で網目状に発達。	8 (8)	D	8/1	100	0.2	0	95	0.2	0	150	0.2	0	ダブルコアチューブ / ダイヤモンドビット	120	0.2	泥水 9	0	0																									
																																																																																																										明禊灰	Cg	Vg	cg	γ	2	70.46~70.53m: 角礫状を呈する。上端80°, 下端50°。固結する。	6 (6)	CL'	8/5	115	0.2	0	95	0.2	0	150	0.2	0	ダブルコアチューブ / ダイヤモンドビット	120	0.2	泥水 9	0	0
				明禊灰	Cg	Vg	cg	γ	2	72.43~72.94m: シルト混り砂礫状を呈する。	8 (8)	CL'	8/7	115	0.2	0	95	0.2	0	150	0.2	0	ダブルコアチューブ / ダイヤモンドビット	120	0.2	泥水 9	0	0																																																																																																						
																													灰白	Cg	Vg	cg	δ	3	73.60~160.40m: アブライト (Ap) 上端。下端とも花崗斑岩との境界は漸移的。	8 (8)	D	8/7	115	0.2	0	95	0.2	0	150	0.2	0	ダブルコアチューブ / ダイヤモンドビット	120	0.2	泥水 9	0	0																																																																													
																																																						明禊灰	Cg	Vg	cg	γ	2	75.56~76.01m: 径5~50mmの亜角礫を含む砂礫状コア。	13 (13)	D	8/7	115	0.2	0	95	0.2	0	150	0.2	0	ダブルコアチューブ / ダイヤモンドビット	120	0.2	泥水 9	0	0																																																				
																																																																															灰白	Cg	Vg	cg	δ	4	76.01~77.36m: 傾斜50~60°の割れ目が5~10cm間隔で発達。一部で土砂化~細粒化。	7 (7)	CL'	8/7	115	0.2	0	95	0.2	0	150	0.2	0	ダブルコアチューブ / ダイヤモンドビット	120	0.2	泥水 9	0	0																											
																																																																																																								明禊灰	Cg	Vg	cg	γ	2	77.36~77.88m: 傾斜40°と70°の割れ目が5~10cm間隔で交錯。コアは片状で硬質。	7 (7)	D	8/7	115	0.2	0	95	0.2	0	150	0.2	0	ダブルコアチューブ / ダイヤモンドビット	120	0.2	泥水 9	0	0		
																																																																																																																																	灰白	Cg
				明禊灰	Cg	Vg	cg	γ	2	79.86~80.17m: 破砕帯 ▲79.86m: 砂混りシルト状破砕部 (Ho-2)。上端53°でシャープ。下端は凸凹し不明瞭。幅8~10mm。淡赤白色。 ▲79.86~80.17m: 粘土質砂礫状破砕部 (Hj)。80.17~80.50m: 微細な割れ目が密集。コアは主に細片状。 80.76m: 割れ目が多く、シルト混り砂礫状。傾斜30°, 幅8mm。 81.03~82.37m: 割れ目間隔が広く、50~100mmの柱状コアが主。	13 (13)	D	8/7	115	0.2	0	95	0.2	0	150	0.2	0	ダブルコアチューブ / ダイヤモンドビット	120	0.2	泥水 9	0	0																																																																																																						
																													灰白	Cg	Vg	cg	δ	3	82.37~83.90m: 傾斜30~50°及び20°以下の割れ目が1~2cm間隔で発達。コアは片状が主。	14 (14)	CL'	8/7	115	0.2	0	95	0.2	0	150	0.2	0	ダブルコアチューブ / ダイヤモンドビット	120	0.2	泥水 9	0	0																																																																													
																																																						明禊灰	Cg	Vg	cg	γ	2	84.92~86.67m: 割れ目が多い。傾斜50°前後の割れ目が発達。一部で割れ目沿いに黄質が進み土砂状を呈する。	11 (11)	D	8/7	115	0.2	0	95	0.2	0	150	0.2	0	ダブルコアチューブ / ダイヤモンドビット	120	0.2	泥水 9	0	0																																																				
																																																																															灰白	Cg	Vg	cg	δ	4	88.67~88.71m: 破砕帯 ▲88.67~88.71m: 砂混りシルト状破砕部 (Hb)。幅40~50mm。黄白色。上端45°, 下端38°。 ▲88.71m: 褐色粘土 (Ho-1)。幅1~3mm。38°, 固結。	11 (11)	D	8/7	115	0.2	0	95	0.2	0	150	0.2	0	ダブルコアチューブ / ダイヤモンドビット	120	0.2	泥水 9	0	0																											
																																																																																																								明禊灰	Cg	Vg	cg	γ	2	88.96~89.34m: シルト混り砂礫状コアで、上端45~50°, 下端30°の割れ目で壊される。	8 (8)	CL'	8/7	115	0.2	0	95	0.2	0	150	0.2	0	ダブルコアチューブ / ダイヤモンドビット	120	0.2	泥水 9	0	0		
																																																																																																																																	灰白	Cg
明禊灰	Cg	Vg	cg	γ	2	95.56~95.87m: 風化により、粘土質角礫状コアを呈する。	8 (8)	CL'	8/7	115	0.2	0	95	0.2	0	150	0.2	0	ダブルコアチューブ / ダイヤモンドビット	120	0.2	泥水 9	0	0																																																																																																										
																									灰白	Cg	Vg	cg	δ	3	95.87~96.60m: 岩片は硬質。	13 (13)	D	8/7	115	0.2	0	95	0.2	0	150	0.2	0	ダブルコアチューブ / ダイヤモンドビット	120	0.2	泥水 9	0	0																																																																																	
																																																		明禊灰	Cg	Vg	cg	γ	2	97.32~97.44m: シルト質砂礫状部。礫は角礫で固結。	8 (8)	CL'	8/7	115	0.2	0	95	0.2	0	150	0.2	0	ダブルコアチューブ / ダイヤモンドビット	120	0.2	泥水 9	0	0																																																								

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm R Q D [%]	岩級区分	孔内水位(測定期日) N値	試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm)	コアチューブ /ピケット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)							
															(標準貫入) 試験 (N値~深度) 図																						
100				明揚灰 Cg		IVg	cg			2	100.18~100.67m: 上下位に比べて硬質となり、割れ目沿いに細片化~細粒化。	13 (13)	CL'																								
				にふい橙 Cg		IVg					101.81~102.90m: 上位に比べて微細な割れ目が発達、割れ目沿いに細片~細粒化。	17 (17)	D'																								
				にふい橙 Dg		Vg	dg				104.00~107.68m: 岩質はやや硬質化。	17 (17)																	0.2	泥水10	0						
				揚灰 Cg		IVg					107.68~109.10m: 割れ目間隔は1~15cmで、傾斜50°のものが発達し斜交。	13 (13)																									
				灰白 Bg		IVg					109.41~109.96m: 割れ目頻度は小。割れ目沿いは軽微な細片化。	11 (11)																									
110				明揚灰 Cg		IVg					110.64~112.09m: 割れ目間隔は3~6cm、割れ目沿い及び岩芯が斑状に酸化され褐色化。	11 (11)																	0.3	泥水10	0						
				にふい橙 Dg		Vg					112.09~112.68m: 微細な縦方向の割れ目が分布するが、岩片は硬質。 113.08~113.12m: 割れ目沿いに褐色化。傾斜45°、幅30mm。	14 (14)																									
				にふい橙 Dg		Vg					113.12~113.43m: 微細な割れ目に網状の白色粘土脈が分布。 113.53~114.84m: 縦方向の微細な割れ目が発達。下端境界は明瞭で傾斜60°。	10 (10)																		0.4	泥水10	0					
				にふい黄橙 Dg		Vg					115.85~116.79m: 割れ目沿いに褐色化。上部はマンガンに富む。 116.79~117.27m: 微細な割れ目がみられるが岩片自体は硬い。	10 (10)	CL'																								
				明揚灰 Dg		Vg					117.27~117.59m: 軟質化し微細な割れ目と浅黄色の変質鉱物が分布。	10 (10)																									
				灰白 Dg		Vg					118.11~118.22m: 脱色し不規則に灰白色粘土を伴う。	10 (10)																									
				明揚灰 Dg		Vg					119.05~119.88m: 傾斜50~60°の割れ目が卓越し斜交。すべての割れ目沿いに褐色化し一部で細片化。 120.38~123.73m: 傾斜30~60°とこれに交差する低角度の割れ目が発達。コアは岩片~角礫状。	11 (11)																									
				明揚灰 Dg		Vg					121.60m: 灰白色粘土が挟在。傾斜60°、幅10mm。	10 (10)																			0.3	泥水10	0				
				灰白 Dg		Vg					122.70~122.77m: 割れ目沿いに幅4~5mmの褐色粘土が挟在。その周縁で幅40mm程度が風化で褐色化。	10 (10)																									
				揚灰 IVg		IIIg					124.10~124.50m: 岩芯には斑状、割れ目沿いは帯状の酸化褐色部が分布。岩芯の一部に新鮮部が残留。 125.32~125.43m: 傾斜50° 割れ目が密集。 125.97~126.05m: 角礫状。上下端に粘土を伴う。上端50°、下端40°。 128.26~128.71m: 傾斜60° 割れ目と高角度の割れ目が交差し網目状。わずかに浅黄色の粘土を伴う。	19 (19)																									
				灰黄褐 Vg		IVg					129.03~129.85m: 傾斜45~60°の割れ目が主。硬質 129.85~130.92m: 上位に比べて岩盤が多化し、傾斜45~60°の割れ目に不規則な割れ目が斜交。 ●131.03~131.14m: 破碎帯。上端62°、下端40°。 ▲131.03~131.08m: 粘土混り砂礫状破碎部(Hb)。上端62°、下端50°、幅30mm。 ▲131.08~131.14m: 粘土混り角礫状破碎部(Hj)。下端40°。 131.25~131.88m: 角礫状。網目状に破碎され固結。 ●131.88~132.82m: 破碎帯 ▲131.88~132.82m: 粘土混り角礫状破碎部(Hb)。上端60°。上端で幅5cmにわたりマンガンが濃集し、せん断面には緑灰白色粘土が分布。下端の132.81~132.82mに56°、厚さ4mmの褐色粘土が分布(Hc-1)。	11 (11)																									
				明揚灰 Dg		Vg	cg					10 (10)																									
				灰黄褐 Dg		Vg						10 (10)																									
				明揚灰 Dg		Vg	cg					10 (10)																									
				灰褐 Dg		Vg	dg					10 (10)																									
				明揚灰 Dg		Vg	cg					10 (10)	CL'																								
																													0.4	泥水10	0						

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)								
															(N 値 ~ 深度) 図																							
											170.51~170.66m: 割れ目及びその周辺が暗青灰色に変質。	4 (0)												135														
											171.63~176.24m: 傾斜45~60°の割れ目が発達。割れ目交差部ではコアは細片化。岩片は比較的新鮮で硬質。	4 (0)												8/24	120													
											174.21m: 傾斜50°の割れ目に暗緑灰色を呈する変質鉱物が付着。下盤側にも斑状で暗緑灰色鉱物が形成。	5 (0)																		0.4			0					
											176.24~177.20m: 上下位に比べて割れ目は少ない。	4 (0)																										
											177.20~177.66m: 脱色し割れ目はやや不明瞭。	4 (0)																										
											178.30m: 灰白色粘土状。傾斜80°, 厚さ4mm。上端側は変質が強い。	9 (0)																			0.3			0				
											178.97~179.05m: 変質作用により岩盤が劣化し、下位に比べて軟質。	4 (0)																										
											179.05~180.55m: 微細な割れ目が発達。	3 (0)																										
											180.55~180.70m: 雑混り砂状。割れ目は消滅し岩組織不明瞭。固結。	3 (0)																										
											181.02~181.89m: 雑混り砂状。硬質岩片を含むが割れ目は消滅。一部で固結。	4 (0)																										
											183.04~183.56m: 割れ目は少なく新鮮で硬質。	5 (0)																										
											183.56m: 傾斜45°の割れ目に暗緑色の変質鉱物が付着。幅10.5mmの方解石脈が伴う。	9 (0)																										
											184.46~185.42m: 微細な割れ目が発達。下端の傾斜80°の割れ目に暗緑色変質鉱物が付着。	12 (12)																										
											187.78~189.19m: 傾斜40~50°の割れ目が発達。微細な割れ目を伴う。	7 (0)																										
											191.31~192.95m: 微細な割れ目が不規則に分布。暗緑色の変質鉱物を伴う。	8 (0)																										
											192.30~192.46m: 粘土混りシルト状の変質脈が幅4mm。暗緑色で分布。	4 (0)																										
											192.85~192.88m: 割れ目沿いに方解石脈が不規則に分布。	4 (0)																										
											195.60m: 傾斜45°の割れ目周縁が変質で暗緑色化。幅20mm、黄鉄鉱を伴う。	14 (14)																										
											196.00~197.88m: 不規則な方解石脈。暗緑灰色の変質脈が分布。	8 (0)																										
											197.88~199.46m: 劣化は軽微で、変質脈は少ない。一部割れ目密集部が分布。	3 (0)																										
											199.46~199.67m: 割れ目が密集し劣化。下端に暗緑灰色の変質脈物が付着。	10 (10)																										
											199.67~201.03m: 劣化は軽微。傾斜60~70°の割れ目が分布。	12 (12)																										
											202.39~205.04m: 変質で劣化し脱色・白濁化。上端に傾斜45°, 幅1~6mmの暗緑灰色粘土脈が分布。	7 (0)																										
											203.92~204.36m: 変質で緑泥石化。	3 (0)																										
											204.03m: 方解石脈。緑黒色脈が混在。幅6~7mm、傾斜45°。	5 (0)																										
											205.04~205.40m: 劣化は軽微。微細な割れ目が分布するが、連続性に乏しい。	7 (0)																										

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	記号	岩級区分	コア採取率 (%)		孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験 (N値~深度)		原位置試験 (孔内水平載重)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)		
												最大コア長 (cm)	R Q D		N	図												
210			[Image]	花崗斑岩	オリブ灰	Vg	IVg	細片状	2		206.00~206.36m: 縦方向の割れ目に方解石脈と暗緑灰色の変質磁物脈が混在。	CL'	0	100														
											207.92~208.42m: 割れ目が多く細片化、細粒化。																	
											209.42~210.83m: わずかに脱色。不規則、不連続の微細な割れ目が分布するが、大きい劣化はない。																	
											210.64~210.65m: 灰色砂混りシルトと石英脈が挟在。上端57、下端52、幅8~10mm。																	
											210.93~211.03m: 幅4cm程度で変質を受け、暗緑灰色を呈す。																	
											212.14~215.73m: 傾斜25~70の割れ目が発達。一部で割れ目沿いに細片化。																	
											216.56~217.00m: 微細な割れ目が発達。上下端に幅0.5~4mmで暗緑灰色の変質脈が挟在。																	
											218.24m: 暗緑灰色の変質脈。幅1.5mm、傾斜45°。																	
											219.27~219.63m: 縦方向の割れ目と低角度の微細な割れ目が斜交。一部で細片化、細粒化。																	
											221.11~221.19m: 網目状に砂が分布。																	
											221.19~222.71m: 上部は傾斜30~45、下部は60~75の割れ目と微細な割れ目が発達。割れ目沿いに細片~細粒化。部分的に脱色し軟質。																	
											223.40~224.85m: ハンマー打診で金属音。																	
220			[Image]	花崗斑岩	オリブ灰	Vg	IVg	細片状	2		CM'	0	100															
																												228.60~229.05m: 傾斜65の割れ目が1~3cm間隔で平行に分布。
																												228.86m: 傾斜40の割れ目に黄鉄鉱が晶出。
																												231.50~231.67m: 上端傾斜50、下端30の割れ目に沿って径1~2cmに細片化。
																												232.45m, 232.50m, 232.70m: 傾斜5~10の低角度割れ目が65割れ目に切られる。
																												233.86~234.23m: 微細な割れ目が1~3cm間隔で分布。細片化。
																												●234.23~234.38m: 破砕帯。上下端の傾斜65。
																												▲234.23~234.37m: 角礫状破砕部(H)。傾斜65の割れ目と径1cm前後の角礫主体。
																												▲234.37~234.38m: 角礫混り粘土状破砕部(Hc-2)。76、幅10mm。暗緑色の軟質粘土に径2~4mmの花崗斑岩磁物脈や石英粒が混在。境界はシャープ。
																												236.90~239.00m: 40~85割れ目と微細な割れ目が1~3cm間隔で発達。
																												239.00~240.00m: 割れ目はやや減少。傾斜5~70と5~15の割れ目及び微細な割れ目が1~3cm間隔で分布。
																												230
232.45m, 232.50m, 232.70m: 傾斜5~10の低角度割れ目が65割れ目に切られる。																												
233.86~234.23m: 微細な割れ目が1~3cm間隔で分布。細片化。																												
●234.23~234.38m: 破砕帯。上下端の傾斜65。																												
▲234.23~234.37m: 角礫状破砕部(H)。傾斜65の割れ目と径1cm前後の角礫主体。																												
▲234.37~234.38m: 角礫混り粘土状破砕部(Hc-2)。76、幅10mm。暗緑色の軟質粘土に径2~4mmの花崗斑岩磁物脈や石英粒が混在。境界はシャープ。																												
236.90~239.00m: 40~85割れ目と微細な割れ目が1~3cm間隔で発達。																												
239.00~240.00m: 割れ目はやや減少。傾斜5~70と5~15の割れ目及び微細な割れ目が1~3cm間隔で分布。																												

-162.43 240.00

余白

ボーリング柱状図

調査名 [Redacted]
事業・工事名 [Redacted]

ボーリングNo. [Redacted] 1

Header information table containing Boring No. (B8-22), Survey Location, Issuing Agency, Survey Period, Investigator, Modern Person, Surveying Engineer, Boring Responsibility, Boring Depth (3.22m), Direction (North 0°, East 90°, South 180°, West 270°), and Test Equipment (Hammer, Engine, Pump).

Main borehole log table with columns: Depth (m), Lithology, Soil Description, Core Rate, Rock Strata, Water Level, Standard Penetration Test (SPT) results, and other parameters. Includes detailed soil descriptions for various layers such as 0.00-4.97m (埋土) and 4.97-9.45m (有機質シルト).

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記号	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験 (N値~深度) 図		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)												
																N	値																							
	-16.05	27.25	深部シルト	暗緑灰							27.25~27.94m: シルト質砂 細粒砂が主で、シルト及び中粒砂が全体に混入。貝殻を少量に含む。	(100)										485																		
	-16.54	27.94	シルト質砂	暗緑灰							27.94~29.29m: 礫・シルト質砂 植物片が点在。下部は礫・シルト分が少なくなる。 28.42m付近にのみ貝殻片が混入。	(100)										7/24	540				0.1	泥水 15	15											
	-17.49	29.29	礫質砂	暗緑灰							29.29~30.25m: 礫質砂 中~細粒砂が主で、径2~5mm程度の石英を30%程度含む。	(100)															0.1	泥水 15	5											
	-18.17	30.25	有膜質砂	黒褐灰							30.25~35.58m: 砂質土主体 (Ca11層) 30.25~31.04m: 有機質砂 細粒砂~中粒砂が主で、径2~5mmの石英が混入。下部は径50mmの礫が分布。31.08mに有機物が濃集。 31.04~32.00m: 礫混り砂 細~中粒砂が主で、径2~4mmの細礫が混入。下部は礫質で径50mmの垂円礫を含む。 31.08m付近: 有機物が混入。 32.00~33.95m: 砂 細~中粒砂が主で部分的にシルト・粗粒砂が混入。 32.05~32.27m: 有機物が混入する	(100)																			0.1	泥水 15	15							
	-18.73	31.04	礫混り砂	灰白							31.04~32.00m: 礫混り砂 細~中粒砂が主で、径2~4mmの細礫が混入。下部は礫質で径50mmの垂円礫を含む。 31.08m付近: 有機物が混入。 32.00~33.95m: 砂 細~中粒砂が主で部分的にシルト・粗粒砂が混入。 32.05~32.27m: 有機物が混入する	(100)																			0.1	泥水 15	15							
	-19.41	32.00	砂	灰白							33.95~35.58m: 礫質砂 細~粗粒砂が主で、径2~10mmの垂角礫を含む。礫率20~30%。 33.95~34.16m: 礫が多い。 34.16~34.35m: 粗粒砂主体。 35.58~46.84m: 砂礫主体 (Csg1層) 35.58~42.82m: 砂礫 35.58~37.45m: 礫は径5~100mm (最大200mm)の垂角礫が主で、基質は有機物・シルト混りの不均質な砂からなる。礫率50~70%。 37.45~39.66m: 径2~30mm (最大50mm)の垂角~垂円礫が主。基質は細~粗粒砂からなり、全体的に酸化汚染を受ける。 39.66~42.82m: 径2~30mm (最大180mm)の垂角~垂円礫が主。基質は細~粗粒砂からなり不均質。全体的に酸化鉄汚染を受ける。礫種は花崗斑岩が主。径100mmを超える礫は硬質が多い。 40.55~40.70m: 粗粒砂~礫混り粗粒砂。黒色の炭化物が混入。 41.42~41.52m: 有機物混入。	(100)																												
	-20.79	33.95	礫質砂	灰							42.82~46.84m: 礫質砂 細~粗粒砂からなる不均質な砂で、径5~40mm (最大150mm)の垂角礫が混入。礫率20~30%。最大約5%。細礫は石英粒子主体。 44.08~45.14m: 礫率%で上下より礫量が減少した中粒砂が主の礫混り砂。 46.72~46.84m: 均質な細粒砂。	(100)																												
	-21.94	35.58	明褐灰	明褐灰							46.84~51.21m: 砂及び礫質砂 (Ca12層) 46.84~47.87m: 木片 部分的にシルト・砂・礫が混入。 47.87~49.16m: 礫質砂 細~粗粒砂からなる不均質な砂で、全体に径2~10mmの角~垂角礫が10~20%混入。径2~5mmの石英が細礫として多く分布。 49.16~51.21m: 砂 49.16~49.55m: 径2~5mmの石英粒が混入中~粗粒砂。 49.55~51.21m: 細~中粒砂からなり部分的に径2~5mmの細礫が混入。有機物が点在。 51.21~63.86m: 砂礫主体 (Csg2層) 51.21~53.33m: 砂礫 礫は径2~30mm (最大径60mm)の垂角~垂円礫で、礫種は花崗斑岩の風化礫が主。基質は細粒砂~粗粒砂。礫率60~70%。 53.33~54.57m: 礫混り砂 砂は中~粗粒砂が主。礫は径5~10mmの垂角礫が主。礫種は石英を主としてカリ長石、花崗斑岩が分布。不均質でやや締りが悪い。 54.57~55.22m: シルト混り砂 細~中粒砂が主で不均質にシルトが混入。40~45の礫率が分布。 55.22~59.93m: 砂礫 55.22~56.22m: 礫は径2~8mmの石英と径5~50mm (最大90mm)の垂角~垂円礫。礫率40~50%程度。基質はシルト混り中~粗粒砂。全体に不均質。 56.22~59.93m: 礫は径10~40mm (最大90mm)の花崗斑岩角~垂角礫。礫率30~40%程度。礫は風化で褐~黄褐色を帯びるが硬質礫が主。基質は中粒砂が主で細粒砂~細礫を混入し不均質。	(100)																												
	-27.06	42.82	砂礫	灰白							59.93~61.15m: 礫質砂 砂は粘土混り中粒砂が主。径10~50mm (最大90mm)の半クサリ礫を20~30%含む。 61.15~62.75m: 粘土・礫混り砂 粘土を不均質に混入する中粒砂が主。径2~5mmの石英・長石と花崗斑岩類の半クサリ礫を10~20%含む。	(100)																												
	-29.90	46.84	木片	黒褐灰							59.93~61.15m: 礫質砂 砂は粘土混り中粒砂が主。径10~50mm (最大90mm)の半クサリ礫を20~30%含む。 61.15~62.75m: 粘土・礫混り砂 粘土を不均質に混入する中粒砂が主。径2~5mmの石英・長石と花崗斑岩類の半クサリ礫を10~20%含む。	(100)																												
	-30.63	47.87	礫質砂	黒褐灰							59.93~61.15m: 礫質砂 砂は粘土混り中粒砂が主。径10~50mm (最大90mm)の半クサリ礫を20~30%含む。 61.15~62.75m: 粘土・礫混り砂 粘土を不均質に混入する中粒砂が主。径2~5mmの石英・長石と花崗斑岩類の半クサリ礫を10~20%含む。	(100)																												
	-31.54	49.16	砂	灰白							59.93~61.15m: 礫質砂 砂は粘土混り中粒砂が主。径10~50mm (最大90mm)の半クサリ礫を20~30%含む。 61.15~62.75m: 粘土・礫混り砂 粘土を不均質に混入する中粒砂が主。径2~5mmの石英・長石と花崗斑岩類の半クサリ礫を10~20%含む。	(100)																												
	-32.99	51.21	砂	灰白							59.93~61.15m: 礫質砂 砂は粘土混り中粒砂が主。径10~50mm (最大90mm)の半クサリ礫を20~30%含む。 61.15~62.75m: 粘土・礫混り砂 粘土を不均質に混入する中粒砂が主。径2~5mmの石英・長石と花崗斑岩類の半クサリ礫を10~20%含む。	(100)																												
	-34.49	53.33	砂	灰白							59.93~61.15m: 礫質砂 砂は粘土混り中粒砂が主。径10~50mm (最大90mm)の半クサリ礫を20~30%含む。 61.15~62.75m: 粘土・礫混り砂 粘土を不均質に混入する中粒砂が主。径2~5mmの石英・長石と花崗斑岩類の半クサリ礫を10~20%含む。	(100)																												
	-35.37	54.57	砂	灰白							59.93~61.15m: 礫質砂 砂は粘土混り中粒砂が主。径10~50mm (最大90mm)の半クサリ礫を20~30%含む。 61.15~62.75m: 粘土・礫混り砂 粘土を不均質に混入する中粒砂が主。径2~5mmの石英・長石と花崗斑岩類の半クサリ礫を10~20%含む。	(100)																												
	-35.83	55.22	砂	灰白							59.93~61.15m: 礫質砂 砂は粘土混り中粒砂が主。径10~50mm (最大90mm)の半クサリ礫を20~30%含む。 61.15~62.75m: 粘土・礫混り砂 粘土を不均質に混入する中粒砂が主。径2~5mmの石英・長石と花崗斑岩類の半クサリ礫を10~20%含む。	(100)																												
	-39.16	59.93	砂	灰白							59.93~61.15m: 礫質砂 砂は粘土混り中粒砂が主。径10~50mm (最大90mm)の半クサリ礫を20~30%含む。 61.15~62.75m: 粘土・礫混り砂 粘土を不均質に混入する中粒砂が主。径2~5mmの石英・長石と花崗斑岩類の半クサリ礫を10~20%含む。	(100)																												
	-40.02	61.15	砂	灰白							59.93~61.15m: 礫質砂 砂は粘土混り中粒砂が主。径10~50mm (最大90mm)の半クサリ礫を20~30%含む。 61.15~62.75m: 粘土・礫混り砂 粘土を不均質に混入する中粒砂が主。径2~5mmの石英・長石と花崗斑岩類の半クサリ礫を10~20%含む。	(100)																												

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 況	割 裂 目 の 形 状	風 化 状 況	変 質	記 事	コ ア 探 取 率 (%)	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m)	標準貫入		試験 図	原 位 置 試 験 (孔内水圧載荷)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 径 (mm)	コ ア チ ュ ー ブ ノ ビ ッ ト	給 水 量 (L/分)	回 転 数 (rpm)	送 水 量 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)								
														N 値	(N 値~深度)																				
100 110 120 130				花崗斑岩	灰黄	Cg IVg	γ	δ	γ	96.85~100.00m: 硬質。 99.70m: 傾斜70° 割れ目に交差する割れ目が発達し、コアは岩片状。 100.00~100.26m: 上下位に比べ軟質。割れ目頻度も多い。 100.86~101.03m: 傾斜70°の割れ目沿いの変質で暗青灰色化。幅7cm程度。灰白粘土を伴う。 102.79~103.46m: 傾斜45°の割れ目沿いの変質で暗青灰色化。割れ目幅は3~4mmで銀白色の鉱物が晶出。 105.17m: 傾斜70°の割れ目に層状にマンガンが分布。幅1cm。 107.00~108.42m: 割れ目間隔は1~5cmが主で部分的に密集。 108.58~110.94m: 割れ目に沿って風化が進む。 109.11m: 砂混り粘土状。傾斜65°程度。幅5mm。淡黄白色。 109.74~109.82m: 傾斜75°の割れ目周囲に、変質で幅4cm程度の暗青灰色鉱物が晶出。 110.94~112.70m: 硬質。ハンマーの打撃で金屬音。 112.70~113.60m: 割れ目が多い。割れ目周囲にマンガンが濃集。 113.60~113.80m: 割れ目が密集し風化も進む。 傾斜60°の割れ目に淡黄灰色の粘土が挟在。 ●114.71~115.13m: 破砕帯 ▲114.71~115.13m: 粘土混り砂礫状破砕部(Hb)。固結。上下端60°程度。礫は軟質。 115.13~115.46m: 角礫状。岩組織は残存し下端境界60°でシャープ。 115.61m, 115.73m: 割れ目沿いに細片化。傾斜60°。幅2~5mmで連続。 117.27~117.29m: 変質で暗青灰色化。傾斜60°程度。幅20mm。 118.41~118.57m: 変質で暗青灰色化。傾斜60°程度。幅120mm。中央付近に傾斜60°、厚さ12mmの灰白色砂混り粘土を挟在。 120.88~122.28m: 新鮮・硬質。 122.58~123.19m: 割れ目が発達し、割れ目沿いに細片化。 123.19~124.48m: 傾斜60°割れ目が多い。 124.48~125.13m: 一部で角礫状~細粒化。 125.93~125.96m: 割れ目沿い幅2cmで細片化~細粒化。 127.71~129.51m: 割れ目間隔は概ね5~10cmと広い。 129.51~129.90m: 割れ目が密集。傾斜70°の割れ目が主。 130.50~130.64m: 低角度の割れ目が密集し、割れ目沿いに細片化~細粒化。 131.14~132.03m: 傾斜70°以上の高角度割れ目と5~10°の低角度割れ目が斜交。割れ目沿いに細片化。 133.12~133.17m: 割れ目沿いの岩盤劣化部。傾斜70°。幅20mm。割れ目沿いに細片化し、岩片は割れ目と同方向に配列。	0 50 100	CL' CM' CL' CM' CL' CM' CL' CH CL' CM' CL' CM'																							

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ↳ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給 送 水 量 (L/分)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)				
														(N 値 ~ 深度) 図	(N 値)															
		140	花崗斑岩	硬頁岩	IVg	γ				134.07~134.45m: 割れ目が密集し割れ目沿いに細片化。																				
				硬頁岩	IVg	γ					136.50~136.68m: 割れ目が密集。																			
				明褐灰	Bg	β					137.60~137.73m: 割れ目密集し、幅1mm程度の酸化物が挟在。																			
				硬頁岩	IVg	γ	2				139.00~140.97m: 割れ目間隔は概ね5~10cm程度と広い。																			
				硬頁岩	IVg	γ					140.00~140.18m: 未風化で新鮮。																			
				硬頁岩	IVg	γ					141.46~143.52m: 割れ目が密集し細片~細粒化。																			
				硬頁岩	IVg	γ					●143.52~143.76m: 破砕帯 ▲143.52~143.73m: 砂・角礫状破砕部(HJ)。岩片は硬質。 ▲143.73~143.76m: 粘土混り砂礫状破砕部(Hb)。下端60°, 灰白色。																			
				明褐灰	Bg	β					143.76~144.32m: 割れ目が多く割れ目沿いに細片~細粒化。岩自体は硬質。																			
				硬頁岩	IVg	γ	2				145.20~145.22m: 粘土混り砂状。上下端45°, 幅5~20mm。																			
				硬頁岩	IVg	γ					147.12~148.39m: 新鮮で硬質。																			
				明褐灰	Bg	β					148.39~148.80m: 割れ目は褐色化し、微細な割れ目に灰白色粘土が挟在。																			
				硬頁岩	IVg	γ					149.75~149.79m: 割れ目密集部で角礫状。上端45°, 下端65° 幅10~30mm。																			
				硬頁岩	IVg	γ					151.13~152.76m: 割れ目沿いに変質を受けコアは脆い。一部で細片化。																			
				硬頁岩	IVg	γ	2				152.76~153.13m: 微細な割れ目が網目状に発達。割れ目沿いに変質が進む。																			
				硬頁岩	IVg	γ	3				152.95~152.96m: シルト質粘土挟在。傾斜20°, 幅10~15mm。黒褐色。																			
				硬頁岩	IVg	γ	2				154.25~155.49m: 硬質で微細な割れ目が少ない。																			
				硬頁岩	IVg	γ					156.49m: 傾斜60° 割れ目に幅2~5mmのマンガンが挟在。																			
				硬頁岩	IVg	γ	3				157.00~158.16m: 割れ目が密集し礫状化。																			
				硬頁岩	IVg	γ					159.55~160.05m: 傾斜45~50° の割れ目が3~5cm間隔で平行に分布。割れ目沿いに幅1mm以下のマンガンが付着。																			
				硬頁岩	IVg	γ	2				160.05~160.40m: 傾斜60° と10~20° の割れ目が密集し細片化。																			
			硬頁岩	IVg	γ					161.98~162.25m: 傾斜10~30° の割れ目が1~3cm間隔で平行に分布し、岩片状をなす。																				
			硬頁岩	IVg	γ					164.44~164.60m: 傾斜60° と10~20° の割れ目が斜交し、岩片化。																				
			硬頁岩	IVg	γ	3				●166.37~166.46m: 破砕帯 ▲166.37~166.46m: 粘土混り角礫状破砕部(HJ)。上端55°, 岩組織不明瞭。 ▲166.46m: 粘土状破砕部(Hc-1)。傾斜50°, 幅2mm。灰白色。																				
			硬頁岩	IVg	γ	2				166.46~166.78m: 上下端に幅1~2mmのマンガン濃集帯が分布。微細な割れ目にマンガンが細脈をなす。																				
			硬頁岩	IVg	γ					169.09~170.12m: 傾斜30~50° の割れ目が0.5~3cm間隔で発達し、一部割れ目沿いに細片化。																				

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ↳ [%]	岩級区分	標準貫入 (試験) (N 値 ~ 深度) 図		孔内水位 (m) / 測定月日	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアラチュール / ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)	
														N	値													
180			花崗斑岩	IVg	灰黄褐	γ	2	γ	2	2	171.00~171.07m: 割れ目密集部。	0 50 100	CL'	0 10 20 30 40 50	8/26				8/26	80	86 / 泥水							
											171.22~173.00m: 傾斜0~60°の割れ目が不規則に分布。角礫状化。																	
											173.37~174.08m: 20°前後の低角度割れ目が主。割れ目沿いに細片化しマンガンが付着。下端付近は変質で暗青灰色化。																	
											174.21~174.25m: 微細な割れ目が密集。																	
											176.01~176.68m: 割れ目はやや少ない。																	
											●176.68~177.31m: 破碎帯(D-6)上端60°。下端35°。																	
											▲176.68~176.71m: 角礫混り粘土状破砕部(Hc-2)。黒褐色。幅15mm。																	
											▲176.71~176.81m: 角礫混り砂状破砕部(Hb)。																	
											▲176.81~177.30m: 砂混り角礫状破砕部(Hj)。																	
											▲177.30~177.31m: 粘土状破砕部(Hc-1)。幅9~10mm。リ-β'灰色。																	
											177.31~177.52m: 角礫状。固結した砂礫様。一部で粘土分に富む。																	
											178.27~179.77m: 割れ目間隔は2~8cmで硬質。																	
											180.37~180.64m: 変質で長石類が緑色化。																	
											182.64~182.72m: ベグマタイト脈。傾斜60°。幅50mm。																	
											182.98~183.86m: 傾斜10~20°と50~90°の微細な割れ目が概ね12cm間隔で分布。																	
184.03~184.56m: 40~60°の割れ目が発達。同傾斜の微細な割れ目が概ね1~3cm間隔で分布。																												
185.25~186.12m: 割れ目は少なく割れ目沿いに弱く風化するが硬質。																												
186.55~186.63m: 角礫岩様で軟質。																												
187.60~188.09m: 割れ目が多い。割れ目沿いに細片化。																												
190			花崗斑岩	IVg	赤灰	γ	2	γ	2	2	188.09~188.92m: ベグマタイト(Pg)斑晶は5~10mmの石英。長石とカリ長石を主とする。	0 50 100	CM'	0 10 20 30 40 50	8/28				8/28	100	ダブルコナチニール / タイヤモンロント							
											188.92~240.00m: 花崗斑岩(Bp)境界は50°。割れ目でベグマタイト側は細片化するが、花崗斑岩は硬質で割れ目が少ない。																	
											189.52~192.59m: 割れ目間隔が概ね10cm~30cm以上と良好な岩盤も含む。																	
											192.87~193.10m: 変質で淡黄白色の細粒物質を伴い軟質。																	
											193.56~194.26m: 割れ目間隔は概ね10cm以上で風化・変質は軽微。																	
											194.26m: 傾斜55°。幅5mm。暗緑色の変質粘土脈。軟質。																	
											195.56~197.16m: コアは新鮮で硬質。微細な割れ目はほぼ密着。																	
											196.84m: 幅20mm。変質粘土脈。黄鉄鉱を伴う。																	
											197.16~198.54m: 全体に赤色を帯びる。																	
											198.67~200.10m: 概ね新鮮であるが、割れ目沿いに細片化。																	
											200.51~200.55m: 傾斜60°。淡緑色の変質粘土脈。脱色し軟質。																	
											200.10~225.94m: 割れ目間隔は10cm以上を多く含む良好な岩盤が広く分布。																	
											202.97m: 傾斜55°の割れ目に砂質シルト状の変質植物が挟在し、黄鉄鉱を伴う。幅1mm。暗緑色。																	
											203.78~204.12m: 割れ目が多い。																	
											205.40~206.33m: 割れ目が多く割れ目沿いに細片化。細粒化。																	
200			花崗斑岩	IVg	黄灰	β	2	β	2	2	202.10~225.94m: 割れ目間隔は10cm以上を多く含む良好な岩盤が広く分布。	0 50 100	CM'	0 10 20 30 40 50	9/16				9/16	105	75 / 泥水							
											202.97m: 傾斜55°の割れ目に砂質シルト状の変質植物が挟在し、黄鉄鉱を伴う。幅1mm。暗緑色。																	
											203.78~204.12m: 割れ目が多い。																	
											205.40~206.33m: 割れ目が多く割れ目沿いに細片化。細粒化。																	
											202.10~225.94m: 割れ目間隔は10cm以上を多く含む良好な岩盤が広く分布。																	
											202.97m: 傾斜55°の割れ目に砂質シルト状の変質植物が挟在し、黄鉄鉱を伴う。幅1mm。暗緑色。																	
											203.78~204.12m: 割れ目が多い。																	
											205.40~206.33m: 割れ目が多く割れ目沿いに細片化。細粒化。																	
											202.10~225.94m: 割れ目間隔は10cm以上を多く含む良好な岩盤が広く分布。																	
											202.97m: 傾斜55°の割れ目に砂質シルト状の変質植物が挟在し、黄鉄鉱を伴う。幅1mm。暗緑色。																	
											203.78~204.12m: 割れ目が多い。																	
											205.40~206.33m: 割れ目が多く割れ目沿いに細片化。細粒化。																	
											202.10~225.94m: 割れ目間隔は10cm以上を多く含む良好な岩盤が広く分布。																	
											202.97m: 傾斜55°の割れ目に砂質シルト状の変質植物が挟在し、黄鉄鉱を伴う。幅1mm。暗緑色。																	
											203.78~204.12m: 割れ目が多い。																	
205.40~206.33m: 割れ目が多く割れ目沿いに細片化。細粒化。																												

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ↳ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入 (試験) 図		原位置試験 (孔内水平観測)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)			
															(N値~深度)	(N値)														
210			花崗斑岩	灰	Vg	IVg	IIIg	IVg			207.46~208.03m: 傾斜50~60°の割れ目がみられ、割れ目沿いに細片化。	22	CL'																	
											208.15~208.21m: 割れ目が密集。割れ目沿いに細片化~細粒化。暗緑色鉱物脈が不規則に分布し脱色。軟質。	21	CL'																	
											210.07~211.82m: 軽微な変質で緑灰色を帯びるが、ほぼ新鮮で硬質。	25	CM'																	
											211.82~213.19m: 傾斜40~50°の割れ目が発達するが硬質。	23	CL'																	
											213.41~213.59m: 全体に赤紫色を帯びるが、硬質部が主。	44	CM'																	
											215.65~216.06m: 割れ目が多くなり微細な割れ目も分布。	14	CL'																	
											217.33~217.57m: 割れ目が密集。上端の傾斜50°割れ目には暗緑色の変質鉱物が付着。	18	CL'																	
											218.44~218.54m: 不規則な割れ目が分布。割れ目間隔は1~2cm程度。上端に暗緑色の変質脈を伴う。	6	CL'																	
											221.18~221.80m: 割れ目間隔は10~20cmと硬質で割れ目が少ない良好岩盤。	21	CM'																	
											222.42m: 傾斜75°、幅1~1.5mmの石英脈。上下端に方解石を伴う。	22	CL'																	
											222.63~224.09m: 粘土などの挟入物がない硬質で割れ目が少ない良好岩盤。	23	CH'																	
											224.09~225.58m: 高角度割れ目が分布し、割れ目密集部を形成。	24	CL'																	
225.94~228.33m: 傾斜30~40°の割れ目が発達。長石類の一部は変質で緑泥石化するが、岩芯は概ね新鮮。	21	CL'																												
228.33~228.56m: 低角度の割れ目が発達。微細な割れ目も伴い割れ目沿いに細片化~細粒化。	12	CL'																												
230.00~238.96m: 一部で割れ目間隔10~15cmと割れ目が少ない区間を含む。	15	CM'																												
231.32~232.34m: 割れ目沿いに細片化。カリ長石を除く長石類は緑泥石化。	10	CL'																												
235.89~236.35m: 割れ目間隔は1~2cm以下と割れ目が多く、変質で緑色を帯びるが硬質。	20	CL'																												
236.00~236.35m: すべての割れ目に暗緑色を呈する変質鉱物が付着。	10	CL'																												
238.16~238.96m: 割れ目間隔は10cm程度である。	16	CL'																												

-166.49 240.00

余白

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%)	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験 (N値~深度) 図		原位置試験 (孔内水平距離)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)									
														N	値																				
30	-	13.78	[柱状図]	玉石混り砂礫	灰黄	-	-	-	-	25.78~38.07m: 玉石混り砂礫主体 (Gs 61層)	0	-	-	-	-	-	-	7/2	65	115 / ケーシング	18.0	110	-	-	-	-	-								
		29.53								25.78~29.53m: 玉石混り砂礫 径10~100cm程度のアフライト、花崗閃岩の垂角~亜円礫を5~60%含む。基質は径2~5mmの細礫を含む不均質な砂。																		100							
		30.29								26.94~28.00m: 上下位に比べて礫率が低く、礫は径10~20mm。最大径40mmの垂角~亜円礫が主。基質は細~粗粒砂。																			0.1						
		14.32								29.53~30.29m: シルト混り砂																				20.0					
		30.29								30.29~38.07m: 玉石混り砂礫 径10~100(最大300)mmの垂角~亜円礫が主で、基質はシルトの混る不均質な砂。礫率は40~60%程度。																					110				
		17.49								34.78																						32.58~38.07m: 基質の締まり良好で、全体に風化で褐色化が強い。	143		
		18.16								35.72																						34.78~35.72m: スライム		50	
		19.82								38.07																						35.72~36.70m: 花崗斑岩礫			69
		38.07								38.07~56.28m: アフライト (Ap) 斑晶はごく少量で微細な石英、長石																						71			
		38.07								38.07~40.45m: 風化で褐色化。特に38.31~38.88mは岩芯まで風化。																									
38.30	38.88~40.45m: 石英脈。傾斜15°、幅5mm。	60																																	
38.88	40.45~47.07m: 割れ目間隔1~10cm間隔でやや割れ目が多いが硬質。		35																																
41.34	41.38m: 径約60mmの風洞中に石英が晶出。			7/22																															
42.34	42.34m: 流入粘土挟在。傾斜50°、厚さ2~6mm。褐色。				89																														
42.64	42.64m: 流入粘土挟在。傾斜45°、厚さ3~4mm。					7/23																													
45.58	45.58~45.63m: 破砕帯						10.0																												
45.63	45.63~45.68m: 砂混り粘土状破砕部 (Ho-2)。傾斜60°程度。幅20~30mm。半固結。							57																											
46.77	46.77~46.89m: 割れ目密集し、割れ目にマンガンおよび白色鉱物が分布。								7/24																										
47.07	47.07~53.13m: 割れ目間隔10~30cmで風化変質の影響が少なく、一部で非常に硬質。									83																									
47.89	47.89~48.09m: 硬質で岩芯は新鮮。割れ目沿いに風化。										67																								
48.58	48.58~49.26m: 硬質で割れ目と岩芯は風化で淡褐色化。	7/25																																	
49.79	49.79~49.84m: 灰白粘土挟在。傾斜70°、幅5~20mm。軟質で指圧で容易に変形。マンガンを伴う。		58																																
50.00	50.00~50.57m: 硬質。縦方向の割れ目に灰白色粘土が挟在。割れ目沿い幅1~3cmの風化・マンガン濃集帯が分布。			75																															
50.90	50.90~51.64m: やや軟質。割れ目周辺に幅10mm程度の風化・褐色部が分布。				77																														
52.86	52.86m: 暗色の包有物。10×60mmの円盤状。傾斜30°程度。					150																													
54.14	54.14~54.20m: 粘土混り角礫状。上端60°程度。下端は凸凹する。幅60mm。半固結。						0.1																												
55.28	55.28~55.82m: ベグマタイト (Pg) 径5~10mmの石英・長石からなる。							140																											
55.82	55.82~57.50m: アフライト (Ap) 50, 77~57, 50m: 斑晶含有率1~2%。下位のベグマタイトとの境界は概ね傾斜70°程度。								7/27																										
57.50	57.50~58.52m: ベグマタイト (Pg) 径5~10mmの石英・長石からなる。柱状コアを主とし、割れ目が少なく風化変質も軽微で良好なコア。									-																									
58.52	58.52~59.43m: アフライト (Ap) 斑晶と石英は微晶質。										-																								

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図		原位置試験 (孔内水平距離)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)																																			
															N	値																																														
60	34.92	59.43	[Image]	アブライトベグマタイト	淡赤橙	Bg	IIIg	bg	γ	2	59.43~59.76m: ベグマタイト (Pg) 石英・カリ長石の巨晶に富む。	[Diagram]	CH'	7/27	0	0	74																																													
	35.16	59.76									59.76~125.11m: アブライト (Ap) 60.18~60.60m: 角礫状。上端40°、下端60°程度。下端に幅2~3mm、45°の淡褐色粘土を伴う。60.36~60.55m: 礫混じり粘土状。																			D'	102																															
70			[Image]	アブライト	明褐灰	Bg	IIIg	cg	γ	2	61.75~61.79m: 割れ目が密集し岩片状。 61.79~62.34m: 上下位より堅硬で緻密。62.09mまでは岩芯は風化。 62.34~62.66m: 割れ目沿い幅100m程度が脱色。	[Diagram]	CH'	7/28																																																
											61.75~61.79m: 割れ目が密集し岩片状。 61.79~62.34m: 上下位より堅硬で緻密。62.09mまでは岩芯は風化。 62.34~62.66m: 割れ目沿い幅100m程度が脱色。																					CL'	78																													
											64.83~65.64m: 上下に比べて軟質で割れ目も多い。																					CL'	128																													
											67.29~67.33m: 割れ目密集部で砂状化。傾斜25°。 67.48m: 割れ目沿いに細片化。																					CL'	128																													
											67.48~69.98m: 割れ目少なく硬質。 68.51m、68.71m: 割れ目に沿いに細片化。 69.22m: 割れ目沿いに細片化し、割れ目に幅4~8mm灰白色粘土が充填。 69.98~70.19m: 微細な割れ目が分布し、風化で褐色化。 70.19~71.24m: 硬質。割れ目沿いと岩芯は風化で褐色化。 71.69~72.72m: 割れ目沿いの風化で上下位により軟質化。																					CM'	69																													
											72.51~72.57m: 角礫混り砂質シルト状。上端50°、下端65°、幅20mm。																					CL'	71																													
											73.51~74.70m: 割れ目が少なく新鮮・硬質。																					CM'	30																													
											74.98m: 割れ目沿いに幅20mmにわたり風化・酸化帯が分布。																					CH'	340																													
											75.43~75.66m: 割れ目が多く細片・細粒化。																					CM'	55																													
											76.68~77.80m: 割れ目が多く、風化も進み一部細片化。																					CL'	65																													
80			[Image]	アブライト	明褐灰	Bg	IIIg	cg	γ	2	79.06~79.76m: 割れ目が多く、割れ目沿いに細片化とマンガン汚染。 79.76~80.74m: 岩芯は概ね新鮮。割れ目沿いは風化で褐色化。	[Diagram]	CH'	8/1																																																
											80.74~83.23m: 割れ目間隔は5~40cmと割れ目少なく、非常に硬質。 83.32m: 割れ目に沿って幅5mmの褐色軟質物を伴う。 83.53~83.69m: 割れ目沿い細片化。 83.85m: 石英脈。傾斜45°、幅5mm。 85.17~85.23m: 割れ目沿いに細片~細粒化。上端側に幅2~3mmの灰白色粘土を挟在。 85.97~86.21m: 一部で割れ目沿いに細片~細粒化。																					CM'	86																													
											87.52~88.93m: 角礫状。88.66m: 灰白粘土挟在。傾斜60°、幅3mm。																					CL'	75																													
											88.93~88.97m: 破砕帯 (D-5)																																																			
											88.93~88.97m: 角礫混り粘土状破砕部 (Hb)。上下端55°程度。幅35~40mm。礫は径1~3mmの石英細礫。																					CM'	80																													
											92.49~92.50m: 割れ目沿いに固結した細粒分を挟む。傾斜40°程度。幅10~20mm。																					CL'	84																													
90			[Image]	アブライト	明褐灰	Bg	IIIg	cg	γ	2	92.49~92.50m: 割れ目沿いに固結した細粒分を挟む。傾斜40°程度。幅10~20mm。	[Diagram]	CH'	8/3																																																

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 (%)	岩級区分	(標準貫入) 試験		室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔内水位 (m) / 測定月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	排水量 (L/分)					
												(N 値 ~ 深度)	図														
100				明褐灰					93.64~93.80m: 傾斜75° 割れ目沿いに褐色粘土状灰。幅1.5mm。 94.10m, 94.34m: 割れ目沿いに褐色粘土状灰。幅1mm程度。 94.97~95.45m: 割れ目が密集。 95.87~96.05m: 変質で軟化。95.92m以下は一部で岩組織が消滅。 96.90m: 灰白色シルト状灰。傾斜42°, 幅1~5mm。 ●97.87~99.00m: 破砕帯 ▲97.87~98.31m: 礫混りシルト質砂状破砕部(Hb)。上端48°。上端に幅10mm以下の灰白色粘土を伴う(Hc-1)。 ▲98.31~99.00m: 砂礫状破砕部(HJ)。下端60°程度。礫は径10~50mmの亜円礫で、隙間は細粒分を含む細粒砂が主。下端に幅10mm以下の粘土を伴う。																		
				浅黄緑																							
				灰白					99.53~99.69m: 傾斜60~70°の高角度割れ目沿いに細片~細粒化。 99.94~100.46m: 傾斜45°の割れ目が主。割れ目間隔は0.5~5cmで、割れ目沿いに細粒化。 100.46~101.23m: 岩芯は新鮮部が残存。有色鉱物の周囲は風化で褐色化。 103.32~104.86m: 縦方向に連続性の良い割れ目が分布し、これに斜交する割れ目が発達。 103.99~104.03m: 割れ目にマンガンを挟む。幅30mm。 105.79~107.20m: 割れ目沿いに風化する岩芯は概ね新鮮。																		
				明褐灰																							
				灰					●108.59~108.91m: 破砕帯。 ▲108.59~108.70m: 粘土混り砂礫状破砕部(Hb)。上端傾斜40°。 ▲108.70~108.76m: 粘土混り砂状破砕部(Hb)。 ▲108.76~108.91m: 粘土混り角礫状破砕部(HJ)。 ▲108.91m: 砂混り粘土状破砕部(Hc-1)。傾斜30°, 幅1mm程度。																		
				灰褐																							
				灰白					109.59~109.66m: 角礫状。 ●109.66~109.72m: 破砕帯。 ▲109.66~109.72m: 粘土混り角礫状破砕部(Hb)。上端60°, 下端50°																		
				灰黄褐					111.12~111.41m: 傾斜60~70°の割れ目と低角度の割れ目が斜交し、割れ目沿いが細粒化。 113.03~114.20m: 割れ目は少なく硬質。																		
				灰黄					114.62~114.71m: 砂礫状で下端40°。 114.71~114.83m: 傾斜70°の割れ目が密集し、割れ目沿いに細粒化。 116.53~117.61m: 割れ目少なく新鮮・硬質。																		
				灰白					118.47~119.49m: 割れ目沿いに細片化。傾斜30°, 幅20mmの粘土混りシルトを挟む。 119.21~119.53m: 傾斜45~60° 割れ目が発達するが、やや新鮮で非常に硬質。 120.56~120.85m: 変質で割れ目沿いが軟化。 121.49~121.91m: 変質で脱色し黄色を帯びる。																		
				灰褐					121.91~123.34m: 傾斜45°と70°の割れ目が斜交し密集。割れ目沿いに細片~細粒化。																		
				明灰褐																							
				灰黄褐																							

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記号	岩級区分	コア採取率 (%)		最大コア長 (cm)	R	Q	D	L [%]	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平距離)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)			
													(N 値 ~ 深度) 図	値						(N 値 ~ 深度) 図	値														
81.37	125.11		花崗斑岩	灰黄緑	III E	bg					125.11~150.00m: 花崗斑岩 (Sp)	CM'	24											8/26	61										
				褐灰	IV E						125.11~125.50m: 割れ目、岩芯とも新鮮な硬質岩盤。	CL'	36																						
				灰白	V E						126.09~126.29m: 変質で脱色し、長石類は白濁化。微細な割れ目が発達し軟質。	CM'	29																						
				褐灰	IV E						127.22~127.81m: 割れ目沿いにわずかに劣化。岩芯は概ね新鮮。	CM'	23																						
				灰白	V E						128.18~128.68m: 岩盤が劣化し軟質。	CL'	31																						
				褐灰	IV E						129.26~129.80m: 岩盤の劣化は軽微。変質を受けるが硬質。	CM'	19																						
				にぶい黄緑	III E						130.37~130.47m: 岩盤が劣化し割れ目が密集。割れ目沿いに細片化。	CM'	19																						
				灰褐	IV E						131.04~131.90m: 傾斜40~60°の割れ目が分布。	CL'	13																						
				にぶい黄緑	III E						132.64~132.75m: 割れ目が密集し割れ目沿いに細片化、細粒化。	CL'	23																						
				灰黄	IV E						133.26~133.97m: 変質で岩盤劣化し、割れ目が多い。	CM'	24																						
				灰褐	III E	cg				γ 2	133.83m: マンガンが挟在。傾斜65°, 厚さ2~10mm。上端に幅1mmの褐色細粒物質脈を伴う。	CM'	18																						
				褐灰	IV E						134.93~135.46m: 割れ目が多い。一部で密集。割れ目及びその周縁は褐色化。岩芯は概ね新鮮。	CL'	19																						
				灰黄褐	III E						135.61~136.00m: 傾斜60°程度の割れ目が斜交し、割れ目沿いは細片化。	CM'	20																						
				明褐灰	IV E						137.68~139.20m: 傾斜45~60°の割れ目が間隔1~10cmで、微細な割れ目も同傾斜で分布。割れ目沿いは細片化。	CL'	30																						
				にぶい黄緑	III E						139.68~139.80m: 岩盤が劣化し赤色を帯びる。割れ目沿い細粒化。	CM'	24																						
				にぶい黄緑	III E						140.76~140.96m: 傾斜20°と80°の割れ目が斜交し、径10~30mm程度に細片化。	CL'	34																						
				褐灰	III E						141.35~143.15m: 一部で割れ目沿い風化、褐色化するが、割れ目少なくとも硬質。	CM'	14																						
				にぶい黄緑	III E						143.67~143.77m: 傾斜40~60°, 幅7cmで径10mm以下の岩片と白色~褐色粘土からなる。	CL'	34																						
				褐灰	IV E						144.06~144.45m: 変質で劣化。すべての割れ目に淡赤白色シルトが主の細粒物質が挟在。	CM'	15																						
				灰褐	IV E						145.35~146.11m: 傾斜45°程度の割れ目が主。割れ目沿いに褐色の細粒物質が付着、挟在。	CM'	18																						
				褐灰	III E						147.97~148.40m: 傾斜60° 割れ目に褐色の細粒物質が挟在。	CM'	26																						
				褐灰	IV E						149.38~149.46m: 割れ目が多く割れ目沿いに細片化しマンガン汚染を受ける。	CM'	2																						
				にぶい黄緑	III E								38																						
				褐灰	IV E								39																						
				灰褐	III E								163																						
98.97	150.00																																		

余白

ボーリング柱状図

調査名 [Redacted]
事業・工事名 [Redacted]

ボーリングNo. table with 1 in the last cell

Header information table including Boring Name (B11-2), Location, Date, and Surveyor details.

Main borehole log table with columns for depth, lithology, soil description, and test results.

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記号	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	給圧 (kN / MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L / 分)	排水量 (L / 分)													
																(N 値 ~ 深度) 図	(N 値)																							
15.38	26.19		硬砂																	7/18	60		30.6																	
			硬砂																		7/19	39		80			0.0	泥水 1												
			硬砂																		7/20	47																		
			硬砂																		7/20	45																		
			硬砂																		7/21	40					0.1	泥水 1												
			硬砂																		7/21	60																		
			硬砂																		7/21	40																		
			硬砂																		7/21	60																		
			硬砂																		7/21	53																		
			硬砂																		7/22	120																		
			硬砂																		7/22	54																		
			硬砂																		7/23	300																		
			硬砂																		7/23	54																		
			硬砂																		7/24	105																		
			硬砂																		7/25	79																		
			硬砂																		7/25	60																		
			硬砂																		7/25	100																		
			硬砂																		7/25	75																		
			硬砂																		7/26	55																		
			硬砂																		7/26	80																		
			硬砂																		7/26	86																		
			硬砂																		7/27	96																		
			硬砂																		7/27	150																		
			硬砂																		7/28	106																		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ↳ [%]	岩 級 区 分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	給 送 水 量 (L/分)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)			
														(N 値 ~ 深度) 図	(N 値)													
70				アブライト	灰白	IIIg	bg	β		62.00m: 傾斜55°の割れ目沿いに酸化。幅15~20mm。	CM'																	
					明褐灰	IVg				63.57~63.59m: 傾斜60°の割れ目沿いに岩質劣化し、周囲には幅3~5mmの酸化帯が分布。	CL'								106									
					明赤灰	Dg	Vg			64.52~65.15m: 岩質が軟質化し、割れ目も多い。																		
					明赤灰	IVg				64.78m: 細粒混りシルト質砂状。傾斜25°。幅1~8mm。暗褐色。										7/28				0.3		泥水10	8	
					明赤灰	IVg				65.88~66.05m: 傾斜40~60°の割れ目沿いに細片化し、コアは軟質化。																		
					明赤灰	Bg				66.05~69.34m: 割れ目密集部が見られ、割れ目間隔5~10cmが主体。66.79~67.09m: 割れ目密集部。コアは岩片状をなす。																		
					明赤灰	Bg				69.34~70.05m: 上位に比べて硬質。69.77mまで割れ目沿いの褐色化が目立つ。																		
					明赤灰	IIIg	cg			70.94~71.21m: 岩質劣化し浅黄色化。岩組織はほぼ残留。	CM'																	
					明赤灰	Dg				71.21~71.24: 破砕帯																		
					明赤灰	IVg				71.21~71.24m: 礫混り粘土状破砕部(Hc-2)。上端65°。下端70°。幅10mm。淡黄色。																		
					明赤灰	IVg				71.24~72.04m: 傾斜20~30°と50~60°の割れ目が交差し劣化。																		
					明赤灰	IVg				74.80m: 緑灰白色粘土。傾斜50°。幅1mm。	CL'																	
					明赤灰	Dg	Vg			75.60m: 緑灰白色粘土。傾斜50°。幅8mm。																		
					明赤灰	IVg				77.48~78.10: 破砕帯																		
					明赤灰	IIIg				77.48m: 粘土状破砕部(Hc-1)。75°。幅3mmの灰白色粘土。																		
					明赤灰	IVg				77.48~78.10m: 礫混り砂状破砕部(Hb)。上端75°。下端70°。78.05mに幅1~2mmの灰白色粘土を伴う。																		
					明赤灰	IVg				79.46~79.65m: 粘土混り砂状。上端60°。下端65°。上端に幅10mmの灰白色粘土混り砂を伴う。																		
					明赤灰	Dg	Vg			80.50~83.93m: 破砕帯(D-6)	CL'																	
					明赤灰	IVg				80.50m: 砂混り粘土状破砕部(Hc-2)。傾斜45°。幅6mmの褐色粘土。																		
					明赤灰	IVg				80.50~81.93m: 礫混りシルト質砂状破砕部(Hb)。																		
					明赤灰	IVg				81.93~83.35m: 粘土混り礫状破砕部(Hj)。上下位との境界は湾曲し不明瞭。																		
					明赤灰	IVg				83.35~83.78m: 礫混りシルト質砂状破砕部(Hb)。上端は湾曲。下端は60°。斑状に褐色化。																		
					明赤灰	IVg				83.78~83.80m: 粘土状破砕部(Hc-1)。傾斜60°。灰白色。																		
					明赤灰	IVg				83.80~83.87m: 礫質粘土状破砕部(Hb)。下位との境界は40°。																		
					明赤灰	IVg				83.87~83.93m: 角礫状破砕部(Hj)。下端境界は傾斜70°。																		
					明赤灰	IVg				86.64~86.72m: 微細な割れ目が密集。風化が顕著。																		
					明赤灰	Bg				87.59~89.82m: 割れ目間隔は10~20cmで割れ目は少なく硬質。一部で非常に硬質。風化で褐色化。																		
					明赤灰	IIIg				89.00~89.04m: 石英脈。傾斜60°。幅25mm。灰色。																		
					明赤灰	IVg				90.13~98.16m: 非常に硬質。ハンマー打撃で金属音。90.13~93.40m: 割れ目間隔は10~25cmが主。																		
					明赤灰	IIIg				91.20m: 石英脈。傾斜60°。幅20mm。灰色。周囲の一部は風化褐色化。																		
					明赤灰	Bg				93.84~97.91m: 割れ目間隔は10~20cmが主で、所々マンガン汚染が広がる。																		
					明赤灰	IIIg				97.91~98.16m: コアは硬質であるが、割れ目沿いにマンガン・酸化汚染が広がる。																		
					明赤灰	IVg				98.16~98.50m: 間隔3cm未満の網目状に細かく割れ目が発達。角礫状化する。上端傾斜60°程度。																		
					明赤灰	IIIg				98.50m: 粘土状。傾斜60°。幅2~5mm。軟質。黄褐色。																		
					明赤灰	IVg				98.50~98.59m: 砂状。岩組織は不明瞭で軟質。下端に傾斜50°幅2~8mmの暗褐色酸化帯を伴う。																		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ↳ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原位置試験 (孔内水平観測)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)							
															0	10	20	30	40												50						
100			[Pattern]	アブライト	橙	IVg	cg	γ	2		98.70~99.14m: 傾斜30'と70'の割れ目が2~5cm間隔で発達。割れ目はやや多いが硬い。		CL'																								
											99.14~100.88m: 傾斜10~30'の低角割れ目が発達。多くが脆弱で割れ目沿いに細粒・細片化。																										
											102.07m: 割れ目沿いに暗青灰色の変質鉱物が分布。傾斜50'。幅20mm。白雲母を伴う。																										
											103.45~104.59m: 硬質で、棒状コアを呈する。岩芯に新鮮部が残存するが、斑状の褐色化を伴う。																										
											104.59~105.27m: 微細な密着割れ目が発達し、上位に比べやや軟質。																										
											105.27~108.05m: 大半の割れ目と割れ目沿いは褐色化。																										
											107.25m: 灰白色粘土を挟在する。傾斜60'。幅2mm。																										
											107.60m: 灰白色粘土。幅2mm。傾斜65'。下盤側に暗青灰色の変質鉱物帯が分布。幅10mm。																										
											108.05~110.36m: 傾斜60'割れ目が主で風化で褐色化。																										
											108.76~109.04m: 割れ目沿いに淡緑青色の鉱物が分布。																										
											110.64~110.93m: 割れ目が多くなり、僅かに細片化部を含むが硬質。																										
											110.93~111.68m: 割れ目が少なく硬質部が主。有色鉱物の周囲が風化で斑点状に褐色化。																										
											111.68~112.39m: 縦方向の割れ目沿い幅10mm程度が風化・褐色化。マンガンも伴う。																										
											113.15~113.46m, 114.18~115.43m: 割れ目が多い。割れ目は風化・褐色化。岩芯は斑状に褐色化。																										
											115.43~116.16m: 固結した角礫状。上端55'。下端70'。上端に2~3mmの灰白粘土を伴う。116.00m以下はわずかに粘土を伴い、以深は粘土化が進む。																										
117.18~117.89m: 割れ目沿いに細粒・細片化。有色鉱物の周囲はすべて褐色化。																																					
117.89~118.60m: 角礫混り砂質粘土状。上端70'。下端80'。淡茶白色の軟質な熱水変質脈で、花崗斑岩の岩片が取り込まれる。																																					
119.92~120.11m: 傾斜60'割れ目が主で、割れ目沿いに細粒化、風化・褐色化。																																					
121.53~122.12m: 傾斜60~70'の割れ目が発達し、割れ目沿いに細片・細粒化。																																					
122.12~122.53m: 粘土混り角礫状。上端に70'。幅1~4mm。灰白色の砂混り粘土を伴う。																																					
122.52~122.74m: 固結砂礫状。変質岩組織は概ね消滅。下端122.74mに70'。幅5mm褐色~灰白色粘土を伴う。																																					
122.97~123.70m: 傾斜40~60'の割れ目が3~10cm間隔で分布。																																					
123.51~150.00m: 花崗斑岩 (Gp)																																					
123.70~125.39m: 割れ目間隔10~20cmで割れ目少く硬質。																																					
126.59~127.52m: 一部を除き割れ目が多く軟質化。一部で変質により白色粘土細脈が分布。																																					
127.52~128.68m: 傾斜30~60'の割れ目が5~10cm間隔で分布。																																					
128.68~129.08m: コアは短柱~柱状を呈し、岩芯は新鮮部。																																					
130.18~131.32m: 一部の密集部を除き、割れ目はやや少ない。マンガン汚染を受ける。																																					
131.32~131.85m: 変質による黄褐色鉱物が分布。																																					
132.11m, 132.16m: 石英脈。傾斜40'。幅は各々3mm, 2~8mm。周縁はマンガンが濃集。																																					
133.92~135.65m: 一部を除き割れ目は少ない。傾斜40~60'の割れ目が10~15cm間隔で分布。																																					
110			[Pattern]	アブライト	橙	IVg	cg	γ	2			CL'																									
																															8/6	102	73 / ケーシング	120	0.2	泥水5	4
																															8/14	65		150	0.2	泥水10	10
																																103					
																															8/15	105		120	0.2	泥水15	14
																																111					
																																138					
																															8/16	130	85 / セメントタイプ	0.2	泥水10	9	
																																120					
																															8/17	93					
																																96					
																															8/18	77		0.2	泥水15	14	
																																50					
																															8/20	120					
																																60					
11/17	40		0.6	泥水20	20																																
	64																																				
11/19	90	85 / 泥水	0.4	泥水10	10																																
	109		0.2	泥水15	10																																
120			[Pattern]	アブライト	橙	IVg	cg	γ	2			CL'																									
																														8/6	102	73 / ケーシング	120	0.2	泥水5	4	
																														8/14	65		150	0.2	泥水10	10	
																															103						
																														8/15	105		120	0.2	泥水15	14	
																															111						
																															138						
																														8/16	130	85 / セメントタイプ	0.2	泥水10	9		
																															120						
																														8/17	93						
																															96						
																														8/18	77		0.2	泥水15	14		
																															50						
																														8/20	120						
																															60						
11/17	40		0.6	泥水20	20																																
	64																																				
11/19	90	85 / 泥水	0.4	泥水10	10																																
	109		0.2	泥水15	10																																
130			[Pattern]	アブライト	橙	IVg	cg	γ	2			CL'																									
																														8/6	102	73 / ケーシング	120	0.2	泥水5	4	
																														8/14	65		150	0.2	泥水10	10	
																															103						
																														8/15	105		120	0.2	泥水15	14	
																															111						
																															138						
																														8/16	130	85 / セメントタイプ	0.2	泥水10	9		
																															120						
																														8/17	93						
																															96						
																														8/18	77		0.2	泥水15	14		
																															50						
																														8/20	120						
																															60						
11/17	40		0.6	泥水20	20																																
	64																																				
11/19	90	85 / 泥水	0.4	泥水10	10																																
	109		0.2	泥水15	10																																

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記	コア採取率 → (%) 最大コア長 R Q D ← [%]	岩級区分	標準貫入 (試験)		孔内水位 (m) / 測定月日	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	給排 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)				
														N 値	図															
			花崗斑岩		明黄緑にぶい	Cg IIIg	IIIg	134.24~134.29m: 変質で褐色を帯び細片化。上端60°, 下端55°。 134.51~134.90m: 割れ目が多いものが主。岩片化。 136.01~136.19m: 上下位に比べ軟質で岩片化。 136.90~138.45m: 割れ目は少なく硬質。傾斜30~60° 割れ目が主。 138.45~139.20m: 割れ目はやや多い。傾斜40° 程度の割れ目が主でマが汚染と褐色の細粒物質を伴う。 139.20~139.70m: 45~65° の割れ目に沿って20~30cmの灰白色変質部を伴う。 140.93~141.40m: 割れ目が多い。傾斜40~50° 割れ目が主で細片化~細粒化。 141.40~142.18m: 割れ目が少なく硬質。 143.00~143.10m, 143.88~143.96m: 微細な割れ目が集中。脱色。軟化。 145.73~145.76m: 脱色し細粒化。上下端55° で風化・酸化汚染する。 146.10~146.24m: 割れ目が集中し細片~細粒化。脱色し白濁。 146.24~147.41m: 割れ目は少ない。傾斜10~40° 割れ目が主。 147.41~148.85m: 割れ目がやや多く、微細な割れ目も分布し一部で細片化。 148.85~150.00m: 割れ目がやや多い。傾斜30~50° 割れ目が主。一部で細片化~細粒化。 149.02, 149.15m: 脱色し白濁。																						
						暗灰黄	Dg IVg		IVg	CL'			15 [15]	CM'							109									
						褐灰	Cg IIIg		IIIg	CL'			18 [18]	CL'							11/20						0.2	泥水15	10	
						褐灰	Dg IVg		IVg	CH'			27 [27]	CH'								100								
						にぶい黄橙	Cg IIIg		IIIg				33 [33]																	
						灰褐	Dg IVg		IVg				33 [33]																	
						褐灰	Cg IIIg		IIIg				20 [20]																	
						にぶい黄橙	Dg IVg		IVg				29 [29]																	
						灰褐	Cg IIIg		IIIg	CL'			25 [25]	CL'								11/21								
						褐灰	Dg IVg		IVg				16 [16]																	
						褐灰	Cg IIIg		IIIg				18 [18]																	
						褐灰	Dg IVg		IVg				8 [8]																	
						灰褐	Cg IIIg		IIIg				15 [15]																	
						灰褐	Dg IVg		IVg				13 [13]																	
						灰業褐	Cg IIIg		IIIg				18 [18]																	
						灰業褐	Dg IVg		IVg				16 [16]																	
						褐灰	Cg IIIg		IIIg				2 [2]																	
						黄灰	Dg IVg		IVg				7 [7]																	
						褐灰	Cg IIIg		IIIg																					
						褐灰	Dg IVg		IVg																					
		102.93		150.00																										

余白

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%)	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平露露)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)																																																																															
															(N 値 ~ 深度) 図	(N 値)																																																																																										
30			花崗斑岩	明褐灰	Eg	Vg	dg	3	γ		26.62~27.62m: 割れ目が多い。0.5~1.5cm間隔で網状に発達。 28.21~28.50m: 微細な割れ目が0.2~1cm間隔で発達し、脆弱。 ●28.50~28.66m: 破砕帯 ▲28.50~28.51m: 砂混り粘土状破砕部 (Ho-2) 幅1~1.5mmの黄白色粘土を伴う。 ▲28.51~28.53m: 砂・細礫混りシルト状破砕部 (Hb)。上端50', 下端40'。幅23~30mm。 ▲28.53~28.66m: 粘土混り角礫状破砕部 (Hj)。上端40', 下端は不明瞭。幅120mm。粘土細脈が分布。 29.91~30.21m: 傾斜40~55'の割れ目が0.2~2cm間隔で分布。一部で割れ目沿いに岩組織が不明瞭。 30.21~32.40m: 割れ目はやや多い。傾斜40~50'割れ目が主。 32.40~32.67m: 不規則な割れ目が1~3cm間隔で発達。片状。 33.01~35.14m: 非常に硬質であるが割れ目がやや多一部で片状化。 34.77m: 粘土脈。傾斜60', 幅5~12mm。黄褐色~灰白色。 35.14~35.74m: 風化・変質で割れ目が不規則で網状に発達。 36.43~37.52m: 傾斜50'割れ目と不規則な割れ目が分布。角礫~片状。 37.52~37.89m: 角礫状~岩片状。	0 50 100	D'	0 10 20 30 40 50	8/4	50	115 / ケーシング																																																																																									
																																						30		明褐灰	Eg	Vg	dg	3	γ		26.62~27.62m: 割れ目が多い。0.5~1.5cm間隔で網状に発達。 28.21~28.50m: 微細な割れ目が0.2~1cm間隔で発達し、脆弱。 ●28.50~28.66m: 破砕帯 ▲28.50~28.51m: 砂混り粘土状破砕部 (Ho-2) 幅1~1.5mmの黄白色粘土を伴う。 ▲28.51~28.53m: 砂・細礫混りシルト状破砕部 (Hb)。上端50', 下端40'。幅23~30mm。 ▲28.53~28.66m: 粘土混り角礫状破砕部 (Hj)。上端40', 下端は不明瞭。幅120mm。粘土細脈が分布。 29.91~30.21m: 傾斜40~55'の割れ目が0.2~2cm間隔で分布。一部で割れ目沿いに岩組織が不明瞭。 30.21~32.40m: 割れ目はやや多い。傾斜40~50'割れ目が主。 32.40~32.67m: 不規則な割れ目が1~3cm間隔で発達。片状。 33.01~35.14m: 非常に硬質であるが割れ目がやや多一部で片状化。 34.77m: 粘土脈。傾斜60', 幅5~12mm。黄褐色~灰白色。 35.14~35.74m: 風化・変質で割れ目が不規則で網状に発達。 36.43~37.52m: 傾斜50'割れ目と不規則な割れ目が分布。角礫~片状。 37.52~37.89m: 角礫状~岩片状。 ●38.10~38.27m: 破砕帯 ▲38.10~38.27m: 角礫混り砂状破砕部 (Hj)。上端40', 下端50'。幅11cm程度。灰白色~淡黄白色。 38.67~39.21m: 割れ目。岩組織が不明瞭。角礫岩様で白~淡赤白色粘土が不規則に分布。 39.21~41.29m: 傾斜30~50'と不規則な割れ目が分布し、薄く白~黄褐色のシルトを挟む。 40.25~40.31m: 上端40', 下端50'。幅5cm程度。灰白色の粘土混り砂状。 41.65~41.74m: 割れ目が密集。 42.13~42.71m: 強く風化変質し軟化。 43.51~43.81m: 強く風化変質し軟化。上端の50'の割れ目に砂混りシルトを挟む。幅8~10mm。 44.63~45.20m: 強く風化変質し角礫状~岩片状。 45.90~47.37m: 割れ目が多い。間隔1~3cmで網状に割れ目が発達。 ●47.37~47.40m: 破砕帯 ▲47.37~47.40m: 角礫混り砂状破砕部 (Hb)。上端40'。幅20mm程度。 47.40~49.24m: シルト混り砂礫状。網目状に粘土~シルトが分布。 ●49.24~49.55m: 破砕帯 ▲49.24~49.27m: 砂混り粘土状破砕部 (Ho-2)。上端20', 下端35'。灰~灰白色を呈する。 ▲49.27~49.55m: 粘土混り砂礫状破砕部 (Hj)。上端35', 下端35'。灰~淡赤白色を呈する。 ▲49.42~49.45m: 角礫混り粘土状破砕部 (Hb)。上端50', 下端20'。上下端に幅0.3~5mmの暗灰粘土を伴う。 ▲49.50m: 砂混り粘土状破砕部 (Ho-2)。傾斜45'。幅5~8mm。白~淡赤白色。 50.50~51.43m: ノンコア 52.92~53.33m: 強く風化変質し岩組織は不明瞭。 ●53.33~53.35m: 破砕帯 上部は粘土質砂礫状破砕部 (Hb)。上端15'。幅5~15mm。灰白色。 下部は砂・細礫混り粘土状破砕部 (Ho-2)。下端15'。幅5~15mm。灰白色。 55.40~55.84m: 割れ目が密集。全体に赤色を帯びる。 57.42~57.68m: 変質作用により岩盤が変質し軟質。長石類の大半は緑色鉱物に変質。	0 50 100	D'	0 10 20 30 40 50	8/4	50	115 / ケーシング																																																					
																																																																									30		明褐灰	Eg	Vg	dg	3	γ		26.62~27.62m: 割れ目が多い。0.5~1.5cm間隔で網状に発達。 28.21~28.50m: 微細な割れ目が0.2~1cm間隔で発達し、脆弱。 ●28.50~28.66m: 破砕帯 ▲28.50~28.51m: 砂混り粘土状破砕部 (Ho-2) 幅1~1.5mmの黄白色粘土を伴う。 ▲28.51~28.53m: 砂・細礫混りシルト状破砕部 (Hb)。上端50', 下端40'。幅23~30mm。 ▲28.53~28.66m: 粘土混り角礫状破砕部 (Hj)。上端40', 下端は不明瞭。幅120mm。粘土細脈が分布。 29.91~30.21m: 傾斜40~55'の割れ目が0.2~2cm間隔で分布。一部で割れ目沿いに岩組織が不明瞭。 30.21~32.40m: 割れ目はやや多い。傾斜40~50'割れ目が主。 32.40~32.67m: 不規則な割れ目が1~3cm間隔で発達。片状。 33.01~35.14m: 非常に硬質であるが割れ目がやや多一部で片状化。 34.77m: 粘土脈。傾斜60', 幅5~12mm。黄褐色~灰白色。 35.14~35.74m: 風化・変質で割れ目が不規則で網状に発達。 36.43~37.52m: 傾斜50'割れ目と不規則な割れ目が分布。角礫~片状。 37.52~37.89m: 角礫状~岩片状。 ●38.10~38.27m: 破砕帯 ▲38.10~38.27m: 角礫混り砂状破砕部 (Hj)。上端40', 下端50'。幅11cm程度。灰白色~淡黄白色。 38.67~39.21m: 割れ目。岩組織が不明瞭。角礫岩様で白~淡赤白色粘土が不規則に分布。 39.21~41.29m: 傾斜30~50'と不規則な割れ目が分布し、薄く白~黄褐色のシルトを挟む。 40.25~40.31m: 上端40', 下端50'。幅5cm程度。灰白色の粘土混り砂状。 41.65~41.74m: 割れ目が密集。 42.13~42.71m: 強く風化変質し軟化。 43.51~43.81m: 強く風化変質し軟化。上端の50'の割れ目に砂混りシルトを挟む。幅8~10mm。 44.63~45.20m: 強く風化変質し角礫状~岩片状。 45.90~47.37m: 割れ目が多い。間隔1~3cmで網状に割れ目が発達。 ●47.37~47.40m: 破砕帯 ▲47.37~47.40m: 角礫混り砂状破砕部 (Hb)。上端40'。幅20mm程度。 47.40~49.24m: シルト混り砂礫状。網目状に粘土~シルトが分布。 ●49.24~49.55m: 破砕帯 ▲49.24~49.27m: 砂混り粘土状破砕部 (Ho-2)。上端20', 下端35'。灰~灰白色を呈する。 ▲49.27~49.55m: 粘土混り砂礫状破砕部 (Hj)。上端35', 下端35'。灰~淡赤白色を呈する。 ▲49.42~49.45m: 角礫混り粘土状破砕部 (Hb)。上端50', 下端20'。上下端に幅0.3~5mmの暗灰粘土を伴う。 ▲49.50m: 砂混り粘土状破砕部 (Ho-2)。傾斜45'。幅5~8mm。白~淡赤白色。 50.50~51.43m: ノンコア 52.92~53.33m: 強く風化変質し岩組織は不明瞭。 ●53.33~53.35m: 破砕帯 上部は粘土質砂礫状破砕部 (Hb)。上端15'。幅5~15mm。灰白色。 下部は砂・細礫混り粘土状破砕部 (Ho-2)。下端15'。幅5~15mm。灰白色。 55.40~55.84m: 割れ目が密集。全体に赤色を帯びる。 57.42~57.68m: 変質作用により岩盤が変質し軟質。長石類の大半は緑色鉱物に変質。	0 50 100	D'	0 10 20 30 40 50	8/4	50	115 / ケーシング																		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D L [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平距離)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)			
															(N 値 ~ 深度) 図	(N) 値														
60	35.83	60.65		花崗斑岩	赤灰	Cg IVg	IVg	cg	γ	2	59.55~60.85m: 割れ目沿いに細片化し、緑色鉱物脈を挟在。	12 (12)	CL'		0			8/23	80											
				褐灰	Eg VIg	dg	δ	4				60.65~150.00m: アブライト (Ap) ●60.85~61.12m: 破砕帯 ▲60.85~61.12m: 粘土混り角礫状破砕部 (Hj)。上端40', 下端50'で境界明瞭。岩組織は残留、硬質。	3 (3)	CL'																
				褐灰	Cg Vg	γ	2					62.97~63.09m: 割れ目が密集し脆弱。下端に傾斜45', 幅1~2mmで緑白色粘土が挟在。	4 (4)	CM'																
				明褐灰	Dg Vg	δ	1					64.82~65.32m: 傾斜30~45'および70'程度の割れ目が発達。片状。	5 (5)	CL'																
				褐灰	Bg IVg	cg	β	3				65.32m: 灰白色砂混り粘土脈。傾斜45'。幅5mm以下。	6 (6)	CL'																
				明褐灰	Dg Vg	δ	1					65.32~65.86m: 風化・変質でコアは脆弱化。	7 (7)	CM'																
				褐灰	Bg IVg	cg	β	3				67.38~67.51m: 上端35', 下端20'。風化・変質で軟質化し脱色。	8 (8)	CL'																
				黄灰	Dg Vg	dg	δ	3				68.23~68.63m: 風化・変質著しく、岩組織と割れ目が不明瞭。	9 (9)	CL'																
				褐灰	Dg Vg	cg	β	3				68.33mまでは網目状に粘土脈が分布し、以深は土砂状化。	10 (10)	CL'																
70				明褐灰	Dg Vg	δ	1					68.63~70.03m: 割れ目の一部に厚さ0.3~1mmで暗オリーブ灰色の変質粘土を挟在。	11 (11)	CL'																
			褐灰	Bg IVg	cg	β	3				70.03~70.33m: 割れ目が密集し岩片~細片化。岩組織は不明瞭。全体に粘土の細脈が分布。	12 (12)	CL'																	
			明褐灰	Dg Vg	δ	1					70.88~71.05m: 著しく軟化。	13 (13)	CL'																	
			明褐灰	Dg Vg	δ	1					72.14m: 砂混りシルトを挟在。傾斜40', 幅1~2mm。灰~緑灰色。白雲母が混入。	14 (14)	CL'																	
			明褐灰	Dg Vg	δ	1					73.74~77.91m: 割れ目の多寡を繰り返す。非常に硬質で未風化部が主。	15 (15)	CL'																	
			明褐灰	Dg Vg	δ	1					77.38m: 傾斜40'の割れ目に黄鉄鉱が晶出し濃集。	16 (16)	CL'																	
			明褐灰	Dg Vg	δ	1					78.25~79.14m: 割れ目はやや多いが、非常に硬質なものが主。	17 (17)	CL'																	
			明褐灰	Dg Vg	δ	1					79.42m: 石英脈。傾斜20', 幅5~10mm。	18 (18)	CL'																	
			明褐灰	Dg Vg	δ	1					79.77~79.79m: 傾斜40'の割れ目に灰白~暗褐色のシルト質砂挟在。幅8~10mm。	19 (19)	CL'																	
			明褐灰	Dg Vg	δ	1					82.13~83.59m: 割れ目面は線白~オリーブ灰色。白雲母や黄鉄鉱が付着。	20 (20)	CL'																	
			明褐灰	Dg Vg	δ	1					83.59~83.88m: 傾斜30~50'の割れ目が4~10cm間隔で発達し、不規則な高角度割れ目が分布。	21 (21)	CL'																	
			明褐灰	Dg Vg	δ	1					83.88~84.54m: 割れ目少なく、非常に硬質が主。傾斜45'が主。	22 (22)	CL'																	
			明褐灰	Dg Vg	δ	1					84.54~85.14m: 割れ目が多く細片~細粒化。	23 (23)	CL'																	
			明褐灰	Dg Vg	δ	1					85.06~89.74m: 大半は割れ目少なく、非常に硬質。傾斜30~40'の割れ目が主。	24 (24)	CL'																	
			明褐灰	Dg Vg	δ	1					87.61~88.31m: 割れ目沿いに脱色。割れ目面はオリーブ灰色を帯びる。	25 (25)	CL'																	
			明褐灰	Dg Vg	δ	1					87.73m: 傾斜40'の割れ目に黄鉄鉱が晶出し濃集。	26 (26)	CL'																	
			明褐灰	Dg Vg	δ	1					88.22m: 傾斜43'の割れ目は暗オリーブ灰色化し、柱状の石英を晶出。	27 (27)	CL'																	
			明褐灰	Dg Vg	δ	1						28 (28)	CL'																	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の状態	風化	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準入 試験 (N値~深度) 図		原位置試験 (孔内水平距離)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)		
													N	値													
		130	アブライト	褐灰					122.18~122.40m: 傾斜55~60割れ目沿い一部軟化。 123.39m: 割れ目が密集。下端に1m未満の暗緑色粘土や鏡肌が分布。 124.89~129.41m: 脱色・白色化した密着割れ目を含み、分離・細片化。 125.65m: 傾斜30°割れ目周囲縁幅2~3cmが変質で暗緑色化。幅0.5mmの暗緑色粘土を挟在。 割れ目多く、岩片状化。傾斜35°と60~70°割れ目が主。	4 5 6 7 8 9 10								9/10	30								
				灰赤	Cg	Vg	Cg	β	2			CL'															
				灰褐																							
				褐灰						129.79~131.00m: 傾斜35~45°と10~40°の割れ目が交錯し、径10~30mmの岩片状。 130.50~130.54m: 傾斜45°の割れ目沿いに暗緑色化する。幅1~3mmの石英脈を伴う。 131.00~132.00m: コア欠	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10																
				灰褐																							
				灰褐																							
				ノッコア						132.00~133.00: 割れ目と微細な割れ目が10~30mm間隔で密に分布。径10~30mmに岩片化。 133.57~134.00m: 長さ5mm程度で扁平に細粒化。硬質。 134.00~135.00m: コア欠	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10		CL'														
				灰褐	Cg	Vg	Cg	β	2																		
				ノッコア																							
				灰褐	Cg	Vg	Cg	β	2	135.00~135.50m: 割れ目が多い。岩片状。硬質。 135.50~136.00m, 136.50~136.75m: コア欠	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10		CL'														
				灰褐	Cg	Vg	Cg	β	2																		
				灰褐	Dg					136.75~137.08m: 径10~20mmの岩片状。 137.67~137.73m: 傾斜45~50°の割れ目沿いに径10mm程度に角礫状化。暗緑色粘土が挟在。	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10																
				灰褐	Cg	Vg				138.21~138.42m: 暗緑色鉱物が付着。 138.42~140.04m: 割れ目が多い。硬質。 140.04~140.33m: 割れ目が密集し、細片~細粒化。一部硬質部が残るが上下位に比べ軟質。 141.71~142.00m: 大半の割れ目沿いで細片~細粒化し軟質。 142.48~143.53m: 割れ目沿いが細片~細粒化。 143.53~145.46m: 割れ目はやや多いが、ほぼ未風化で新鮮	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12		CL'														
				赤灰																							
			赤灰																								
			灰	Cg	Vg				145.46~150.00m: 割れ目が多く、割れ目の沿い一部は細片化。 146.90m: 割れ目沿いの変質で周縁幅3cmが暗緑色化。 147.13m: 割れ目に暗緑色の熱水変質脈を伴い周縁は暗緑色を帯びる。下端側幅6~7cmが脱色。 149.80~149.85m: 傾斜40°, 幅40mm。暗緑色。熱水変質脈を不規則に伴う。	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12																	
			赤灰																								
				Dg																							
				Cg																							

余白

第四系コア観察カード

調査名		孔番	観察日				
		H27-B-1					
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカ 火山灰 土壌化石 貝木	地質名	色調	堆積構造・特徴等
	0.30m				盛土	10YR 5/3 R5/1 黄褐	0.00 ~ 0.30m 細～中粒砂主体の盛土
	0.70m			0.30 ~ 0.70m 径1.0～3.0cmの石礫を含む中粒砂主体の盛土			
	0.90m			0.70 ~ 0.90m 径0.5～1.0cmの石礫を含む中粒砂主体の盛土			
1.00m				0.90 ~ 1.80m 径1.0～4.0cmの石礫が主体の盛土			
	1.80m			1.80 ~ 2.40m 径1.0～3.0cm石礫を含む中粒砂主体の盛土			
2.00m				2.40 ~ 3.00m 径1.0～4.0cm石礫が主体の盛土			
	2.40m						
	3.00m			7.5YR 7/1 明褐色	大スライム	3.00 ~ 4.00m スライムにより判別不可	
4.00m					盛土		

スケッチ: 礫はクサリ● 半クサリ◐ 硬質○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等
境界 明瞭—— 不明瞭----

第四系コア観察カード

調査名		孔番	H27B-1	観察日			
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカ- 灰物 山質 炭土 貝片 石 木	地質名	色調	堆積構造・特徴等
	4.10					7.5YR 2/1	4.00 ~ 4.10 m スライムにより判別不可
	4.30					10YR 7/8	4.10 ~ 4.30 m 礫率60%の砂礫を多く含む。砂は径0.5~1.0mmの粗粒砂
	4.40					10YR 4/3	
	4.65					7.5YR 6/2	4.30 ~ 4.65 m 礫率20~30%で、半クサリ礫を多く含む。砂は径0.5~1.0mmの粗粒砂。4.40~4.50m付近に粘土状の細粒部が認められる。細化層理が認められる。
	5.00						4.65 ~ 6.60 m 礫率60~80%。砂は径0.5~2mmの極粗粒砂~粗粒砂。4.65~5.85m付近は径8mm以上の巨礫が多く含まれる。5.40~5.60m付近で一部礫に明赤灰(2.5YR 7/1)と明褐灰(7.5YR 7/1)、極暗赤褐(2.5YR 2/3)が認められる。6.15~6.30m付近は径8mm以上の巨礫が著しく減少する。6.30~6.60m付近は径8mm以上の半クサリ礫の巨礫が多く含まれる。
	5.50						
	6.00						
	6.60						
	6.80						6.60 ~ 6.80 m スライムのため判別不可
	7.00						6.80 ~ 7.15 m 礫率20~30%で半クサリ礫を多く含む。砂は径0.5~2.0mmの極粗粒~粗粒砂
	7.15						
	7.30						7.15 ~ 7.30 有機物を多く含む腐食土壌
	7.55						7.30 ~ 7.55 礫率20~30%で半クサリ礫を多く含む。砂は径0.5~2.0mmの極粗粒~粗粒砂
	8.00						7.55 ~ 8.00 スライムのため判別不可

礫種はGP
礫径は2~30mmの
亜角礫主体

礫種はGP
礫径は2~30mmの
亜角礫主体

礫種はGP
礫径は2~50mmの
亜角礫~亜円礫主体
一部最大径200mmの
巨礫あり

礫種はGP
礫径は2~30mmの
の亜円礫主体

礫種はGP
礫径は2~30mmの
亜円礫主体

スケッチ: 礫はクサリ● 半クサリ○ 硬質○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等
境界 明瞭—— 不明瞭----

第四系コア観察カード

調査名		孔番		観察日			
		H27B-1					
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカ- 火山灰物 炭質土 貝片 石 r o r o	地質名	色調	堆積構造・特徴等
	8.60				砂礫	10YR 6/2 ✓ 灰黄福	8.00 ~ 8.60 m スライムのため判別不可
	9.00				砂礫	10YR 6/6 ✓ 明黄福	8.60 ~ 9.50 m ・石礫率 30 ~ 40% でクサリ石礫や半クサリ石礫を多く含む ・砂は 径 0.5 ~ 1.0 mm の粗粒砂
	9.50				砂礫	10YR 6/1 福灰	・8.75 ~ 8.85 m 付近はスライムのため判別不可 ・9.25 ~ 9.35 m 付近に黒色土(土壤)に残された砂層が認められ、黒色土層砂層共に 5° 傾斜し、全体の幅は 10 cm (黒色土 2 cm, 砂 4 cm, 土 2 cm) ・黒色土層(上下)中に植物片が認められる
	10.00				砂礫	10YR 6/2 ✓ 灰黄福	9.50 ~ 10.00 m スライムのため判別不可
	10.65				砂礫	10YR 5/6 黄福	10.00 ~ 10.65 m ・石礫率 70 ~ 80% で半クサリ石礫を一部含む ・砂は 径 0.5 ~ 2.0 mm の粗粒砂 ~ 粗粒砂 ・径 0.5 ~ 1 cm の石英が多く含まれる
	11.00				砂礫	10YR 6/2 灰黄福	10.65 ~ 11.05 m スライムのため判別不可
	11.85				砂礫	7.5YR 6/3 福	11.05 ~ 11.85 m ・石礫率 50 ~ 60% でクサリ石礫 ~ 半クサリ石礫を含む ・砂は 0.5 ~ 2.0 mm の粗粒砂 ~ 粗粒砂 ・径 0.5 ~ 1 cm の石英が多く含まれる
	12.00				砂礫	10YR 8/3 灰黄福	11.85 ~ 12.00 m スライムのため判別不可

石礫種 Gp
石礫径 2 ~ 30 mm の
亜角礫 ~ 亜円石礫主体

石礫種 Gp, 一部 AP 含む
石礫径 2 ~ 100 mm の
亜角礫 ~ 亜円石礫主体
- 一部最大径 200 mm の
巨石礫あり

石礫種 Gp
石礫径 2 ~ 100 mm の
亜角礫 ~ 亜円石礫主体

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ○ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩 Gr, 花崗斑岩 Gp, アプライト Ap 等
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

第四系コア観察カード

調査名		孔番		観察日			
		H27B-1					
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカ-	地質名	色調	堆積構造・特徴等
				火山灰物 炭質土壌 貝化石 木片			
	12.10 _m			○ r /// □			
	12.49 _m			10% 5% 0.5 IR 5% 明礫	石		12.00~12.10 _m スライムのため判別不可 12.10~12.50 _m 礫率5%未満で、クサリ礫を 含む。 (系言) 砂は 0.5~1.0mm の粗粒砂
	13.00 _m				Gp		↓ 「基礎名は礫率」と、参照
	14.00 _m						
	15.00 _m						
	16.00 _m						

礫種 Gp
礫径 2~30mm の
亜円礫主体

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ○ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩 Gr, 花崗斑岩 Gp, アプライト Ap 等
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

調査名		孔番・深度		観察日										
		427 3-1 (12.49 ~ 15.00)												
標尺 10 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質					ROD
11														
12	12.49													「砂岩の粗率」 砂岩 ↑ (層名)
13			Gp	10R 7/4 12.5 黄橙	✓	✓	✓	✓	✓	0/1				12.49 ~ 14.84 m : D 1層(風化)は砂岩(粗率)で、高粗率の塊状砂岩 割れ目一部消滅(200)多量塊状砂岩 砂岩の石塊の粗率(粗率)可変 割れ目10~30° 鋭角層状の主体
14										0/1				
15	14.69 14.84			10R 7/2 12.5 黄橙	✓	✓	✓	✓	✓	0/1				1 14.84 ~ 14.94 m : C ₂

調査名		孔番・深度		観察日									
		427 3-1 (15 ~ 20)											
標尺 1.5 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
0.5													<ul style="list-style-type: none"> 15.20~15.44" 10~30°低角度割れ目主体で、一部は割れ目が風化で充填されている。 15.30" 風化で充填された部分あり。 15.22~15.44" は硬さの測定が困難な部分あり。
1.0										11.0 11.0			<ul style="list-style-type: none"> 16.00~17.62" 間、割れ目幅は「2mm」部分あり。
0.5													<ul style="list-style-type: none"> 16.75~17.02" φ30~40%の深さ「c」の硬さ測定が困難な部分あり。
1.7			Gp		c	v	d	o	3	0	2	c2	<ul style="list-style-type: none"> 17.44" 割れ目幅は「10%」の状態で測定。
0.5													
1.8													<ul style="list-style-type: none"> 18.10~22.19" 上下ともに割れ目少ない部分あり。 18.71" 幅10% マンガン結晶が充填されている。黒褐色あり。
0.5	12.11												
	18.46												
1.9													<ul style="list-style-type: none"> 19.60" 割れ目幅は「10%」の状態で測定。
0.5													
2.0													

調査名		孔番・深度		観察日											
		H27 8-1 (20 ~ 25)													
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等		
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質					ROD	
20															
0.5															
21										14	14	C _L			21.16 ~ 22.01 m 10. 割れ目は幅10-30% 2-3 mm 程度部分あり。
0.5															
22										0	7				22.01 ~ 22.19 m 2-3 cm の硬質部あり。
	22.19		Gp		7+1R 7/3	X	X								
0.5					1:100 概										
23										14	14				23.05 ~ 23.08 m 20-30% と 70-90% 割れ目の存在。一部は交差部同じ 20% 程度に細片化。割れ目深さ 5 mm 程度 (24)。
0.5															
24										0	3				24.16 m 以下は硬質部を含む 全体的に脆い傾向あり。
0.5															
	24.44														24.44 ~ 24.71 m D 風化・土化傾向あり 岩組織 + 割れ目 10-15% 程度あり
	24.71														24.71 ~ 26.62 m: C _L
25										0	5	C _L			

調査名		孔番・深度		観察日		基盤岩コア観察カード									
標尺 25 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	記事・破碎性状・詳細スケッチ等			
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質	FOD	
												10~30割れ目の主伴で、割れ目の一部は砂状化。			
05															
26			Gp'	2.5YR 7/3 R10YR						0.9	C2V	26m以降は割れ目の砂状化が顕著			
05															
	26.62				X							26.62~27.60m: D			
27	27.00									0.6	DV	27.00m以降は割れ目の粗粒化が顕著。27.10m以降は両者の粗粒化が顕著。砂状化で採取された。(27.00~27.10mは割れ目に消失)			
	27.10				X	X	X								
05															
	27.60		Gp'	2.5YR 7/3 R10YR								27.60~28.00m: C2V			
	27.60											一部は密着層の低割れ目から割れ目は含まれず、(割れ目の割合は少ない)			
28	28.00									0.9	DV	28.00~28.19m: 1:0T (D)			
	28.19				X	X	X								
05			Gp'	2.5YR 7/3 R10YR								28.19~28.61m: C2V			
	28.61											割れ目の一部は砂状化の部分も含む			
	28.68				X	X	X					28.61~28.68m: 1:0T (D)			
	28.68				X	X	X					28.68~28.84m: C2V			
	28.84											割れ目の一部は砂状化			
29			Gp'	2.5YR 7/3 R10YR						0.5	DV	28.84~30.74: D			
05												砂状化は顕著。10~30%程度の細粒の砂状化。砂状化は顕著。砂状化は顕著。砂状化は顕著。			
	30									0.3		30m以降は割れ目の割合は少ない。			

調査名

孔番・深度

427 B-1 (30 ~ 35)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 30 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
30	05			2.5YR 7/2 明褐灰	✓ C	✓ V	✓ E						<p>・30.17 ~ 30.40 m: マンガン結晶付。</p> <p>・30.30 ~ 30.53 m: 石英多量結晶(一部は石英結晶の付着した石英)。</p>
		30.54			X	X							
31	05			10YR 5/6 黄褐	✓ C	✓ V	✓ E			0	4		<p>・31.05 ~ 31.23 m: 熱水変質による結晶変質、結晶変質の著しく、前者は石英結晶、後者は石英の脈状に晶洞状に露出している。</p> <p>また、マンガン結晶と認められる。全体として黄褐色の濃い色調を呈する。</p>
		31.30		10YR 7/2 黄褐	✓ C	✓ V	✓ E	0	3				
32	05			2.5YR 7/2 明褐灰	✓ C	✓ V	✓ E			0	3		<p>32.40 ~ 32.70 m: D</p> <p>黄褐色の割れ目状の石英結晶。</p>
		32.40			X	X							
33	05			2.5YR 7/2 明褐灰	✓ C	✓ V	✓ E			0	6		<p>・33.17 m: 150割れ目状の75割れ目E₆、C₂(主として10%、右22)。</p> <p>・32.40 m: 150割れ目状の厚さ20%の結晶化。</p> <p>・33.75 m: 50割れ目状の厚さ10%の結晶化。</p>
		32.70			X	X							
34	05			10YR 7/2 黄褐	✓ C	✓ V	✓ E			0	6		<p>34.54 ~ 34.59 m: 破砕岩、主として断面径59m(11°)</p> <p>・34.54 ~ 34.59 m: 41</p> <p>上部10~40%程度の石英、下部11%程度に連続した石英結晶。石英結晶は消滅している。石英は10~20%程度、一部は70~80%程度に達する。色調は10YR 5/6、厚さ40~10%。</p> <p>・34.59 m: H₂-2</p>
		34.54			X	X							
35	05			2.5YR 7/2 明褐灰	✓ C	✓ V	✓ E			0	4		<p>34.59 ~ 34.59 m: 破砕岩、主として断面径59m(11°)</p> <p>・34.54 ~ 34.59 m: 41</p> <p>上部10~40%程度の石英、下部11%程度に連続した石英結晶。石英結晶は消滅している。石英は10~20%程度、一部は70~80%程度に達する。色調は10YR 5/6、厚さ40~10%。</p> <p>・34.59 m: H₂-2</p>
		34.59			X	X							

調査名

孔番・深度

427 B-1 (35 ~ 40)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破碎性状・詳細スケッチ等

標尺 35 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	記事・破碎性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
	35.37				✓ c	✗ D	✓ D				C2	上下端の11'で連続的に連続。φ1%石英粒20%程度含む。 色調は石灰質(10R/2) 厚さ3~4mm
05					✗ c	✗ D						35.37~35.37m: c 細粒化石灰質部φ10mm
36								10	4			35.37~37.15m: D 軽化帯(色調「E」主成分「c」)。音組織が割れ目13mm幅(c)。 部分的に硬質帯(中石)を含む。
05			Gp	2.5YR 1/2 明褐色	✓ c	✓ V	✓ E	✓ δ	✓ 3		D	33~36m: c (CT 2.5mm) 36.09~36.26m, 36.63~36.62m: 石灰質「c」の硬質部が残留する。
37	37.15				✗ c	✗ D			0	9		36.70m: 1cm厚さφ10~30mm硬質「c」部が割れ目状態で残留する。
05												37.15~42.00m: c 0.50割れ目主成分。割れ目100mm部で砂状化が認められる。
38									0	7		37.40m: 割れ目幅10~20mm砂状化。微細な変質帯が認められる。
05					✓ c	✓ V	✓ D				C2	38.06~38.74m(16): φ20~30mm硬質「c」部が残留する。
39									0	5		38.76~39.70m: 硬質「c」部φ30~50mm部が残留する。
05												
40									0	4		39.70m: 幅10~20, 0.2mm境界部(石灰質浸染部と硬質部)。

調査名		孔番・深度		観察日								
		427 B-1 (40 ~ 45)										
標尺 40 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
05				2.5YR 7/2 明褐色								40.32 ~ 40.79 m 割れ目の存在は認められ、硬さ D ₅₀ の範囲内での割れ目観察は、至極に注意を要し、上下コアの平均値を算出する。
41	40.39			2.5YR 7/3 1.5の暗褐色	C	V	D	3				
05												41.30 ~ 2割れ目の幅30%の浸染化(緑泥石化) L、φ2.5 ~ 1%の微細な黄鉄鉱の存在(±)。
42	42.00		Gp		X	X	X	X		4		41.95 ~ 42.00 m は 37 42-231 引上時に壊れ砕けた可成り(22.9) 硬さ H ₂₀
	42.56			10YR 7/3 1.5の暗褐色	V	V	E	3				42.00 ~ 42.41 m : D 一部の割れ目は黄鉄鉱の浸染化(±)。 42.24 ~ 42.29 m、上端15%、下端10%割れ目(±) 厚2.307 m 黄鉄鉱浸染化(黄鉄鉱厚4) 1%の微細な黄鉄鉱の存在(±)。
05	42.61 42.65 42.68 42.69			2.5YR 7/2 1.5の暗褐色	V	V	E	3				42.41 ~ 42.49 m : 破砕帯 (主に断面 42.43 m) 42.41 ~ 41.43 m : Hc-2 上端 63% 浸染化(±) 浸染化(±) 浸染化(±) Gp 厚 10% 程度含む黄鉄鉱の存在(±) 色調は1.5の暗褐色(10YR 7/3) 厚1.0215 m 42.43 ~ 42.45 m : Hb (4.02) 上端 40% 浸染化(±) 浸染化(±) 浸染化(±) 厚 1.2% 程度含む黄鉄鉱の存在(±) 色調は1.5の暗褐色(2.5Y 7/2) 厚2.5 ~ 10% 42.45 ~ 42.49 m : H ₂ 上端 25% 浸染化(±) 浸染化(±) 浸染化(±) 浸染化(±) 浸染化(±) 厚 0.2 ~ 10% の黄鉄鉱の存在(±) 色調は1.5の暗褐色(10YR 7/3) 厚2.404 m
43	43.29			2.5YR 7/2 1.5の暗褐色	C	V	E	3				42.49 ~ 42.49 m : H ₂ 上端 25% 浸染化(±) 浸染化(±) 浸染化(±) 浸染化(±) 浸染化(±) 厚 0.2 ~ 10% の黄鉄鉱の存在(±) 色調は1.5の暗褐色(10YR 7/3) 厚2.404 m
05				2.5YR 6/4 1.5の暗褐色	V	V	E	3				42.49 ~ 42.24 m : D 黄鉄鉱の存在(±) 浸染化(±) 浸染化(±) 浸染化(±) 浸染化(±) 厚 2.5% ~ 23% の黄鉄鉱の存在(±) 厚 2.5% ~ 23%
44	44.17 44.24 44.31			2.5YR 6/4 1.5の暗褐色	V	V	E	3				44.24 ~ 44.53 m : 破砕帯 (主に断面 44.31 m) 44.24 ~ 44.31 m : Hb 上端 1% 浸染化(±) 浸染化(±) 浸染化(±) 浸染化(±) 浸染化(±) 厚 2% 程度含む黄鉄鉱の存在(±) 色調は1.5の暗褐色(10YR 7/2) 厚 1.2 ~ 10% 44.31 m : Hc-1 上端 35% 浸染化(±) 浸染化(±) 浸染化(±) 浸染化(±) 浸染化(±) 厚 1% の黄鉄鉱の存在(±) (5% 浸染化) 厚 2% 程度含む黄鉄鉱の存在(±) 色調は1.5の暗褐色(10YR 7/2) 厚 1.2 ~ 10% 44.31 ~ 44.53 m : H ₂ 上端 25% 浸染化(±) 浸染化(±) 浸染化(±) 浸染化(±) 浸染化(±) 厚 0.2 ~ 10% の黄鉄鉱の存在(±) 色調は1.5の暗褐色(10YR 7/3) 厚 2.404 m
05	44.53			2.5YR 6/4 1.5の暗褐色	V	V	E	3				44.53 ~ 44.63 m : 破砕帯 (主に断面 44.66 m) 44.53 ~ 44.63 m : H ₂ 上端 70% 浸染化(±) 浸染化(±) 浸染化(±) 浸染化(±) 浸染化(±) 厚 10% 程度含む黄鉄鉱の存在(±) 色調は1.5の暗褐色(10YR 7/2) 厚 1.2 ~ 10% 44.63 ~ 44.70 m : Hc-1 上端 25% 浸染化(±) 浸染化(±) 浸染化(±) 浸染化(±) 浸染化(±) 厚 0.2 ~ 10% の黄鉄鉱の存在(±) 色調は1.5の暗褐色(10YR 7/3) 厚 2.404 m
	44.66 44.70			2.5YR 6/2 1.5の暗褐色	V	V	E	3				
	44.83			2.5YR 7/3 1.5の暗褐色	V	V	E	3				44.66 ~ 44.83 m : Hc-1 上端 25% 浸染化(±) 浸染化(±) 浸染化(±) 浸染化(±) 浸染化(±) 厚 0.2 ~ 10% の黄鉄鉱の存在(±) 色調は1.5の暗褐色(10YR 7/3) 厚 2.404 m
45												

調査名		孔番・深度		観察日							
		H27 51 (45 ~ 50)									
標尺 y5 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分				層六ニテ長	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの種別				
05	45.36 45.39			2.5YR 7/3 1.5の塊							(5%以下)含む軽質粘土(砂質)。上下端共に主として断面に平行に1%~2%、長さ5~10%の脈状の20~30%の軽質粘土質。色調は灰褐色(10YR 4/2)。厚さ4~5mm 45.36~45.70 m: Hb 上端50%部まで打て、下端50%まで3%の曲(2)に連続。4~5%の石英粒。4~5%の粘土状成分と約20~30%の含有率の軽質粘土質。色調は灰褐色(10YR 4/2)。厚さ10~20% 45.70~46.03 m: HJ 上端50%部まで打て、下端50%まで3%の曲(2)に連続。下端は粘土1%以下の灰褐色(10YR 4/2)の軽質粘土質。4~5%の石英粒と粘土質の成分。色調は灰褐色(10YR 4/2)。厚さ10~20% 46.03~46.36 m: D 45.36~45.39 m: 破砕帯(主として断面45.39 m) 45.36~45.39 m: HJ 上端50%部まで打て、下端は連続的に連続。4~5%の石英粒の含有率。色調は灰褐色(10YR 4/2)。厚さ5~10% 45.39~46.12 m: D 上端50%部まで打て、下端は連続的に連続。一部は厚さ1%の20~30%の含有率の軽質粘土質。色調は灰褐色(10YR 4/2)。厚さ2% 46.12~46.17 m: 破砕帯(主として断面46.17 m) 46.12~46.17 m: HJ 上端50%部まで打て、下端は連続的に連続。4~5%の石英粒の含有率。色調は灰褐色(10YR 4/2)。厚さ10~20% 46.17~47.40 m: D 上端50%部まで打て、下端は連続的に連続。4~5%の石英粒の含有率。色調は灰褐色(10YR 4/2)。厚さ10~20% 47.40~47.51 m: 破砕帯(主として断面47.40 m) 47.40 m: Hc-1 上下端共に50%で連続的に連続。4~5%の石英粒の含有率。色調は灰褐色(10YR 4/2)。厚さ1~2% 47.40~47.51 m: Hb 上端50%部まで打て、下端は連続的に連続。4~5%の石英粒の含有率。色調は灰褐色(10YR 4/2)。厚さ20% 47.51~47.80 m: D 岩組織は多量に剥離し、一部は残留している。色調は灰褐色(10YR 4/2)。厚さ20% 47.80~48.00 m: C2 20~30%の含有率の軽質粘土質。色調は灰褐色(10YR 4/2)。厚さ20% 48.00~49.17 m: D 岩組織は多量に剥離し、一部は残留している。色調は灰褐色(10YR 4/2)。厚さ20% 49.17~49.27 m: 破砕帯(主として断面49.20 m) 49.17~49.20 m: Hb 上端50%部まで打て、下端30~35%の曲(2)に連続。4~5%の石英粒の含有率。色調は灰褐色(10YR 4/2)。厚さ10~20% 49.20~49.22 m: Hc-2 上端30~35%部まで打て、下端55~60%まで3%の曲(2)に連続。4~5%の石英粒の含有率。色調は灰褐色(10YR 4/2)。厚さ10~20% 49.22~49.27 m: HJ 上端50%部まで打て、下端25%部まで打て、下端は連続的に連続。4~5%の石英粒の含有率。色調は灰褐色(10YR 4/2)。厚さ10~20%
46	46.04 46.12 46.17			2.5YR 6/3 1.5の塊							
05	46.40 46.51		Gp	10YR 5/6 変質							
47	47.00										
05	47.40										
48	48.00										
05	48.00 48.17 48.20 48.27 48.35 48.40										
49	49.77										
05	49.77										

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 50 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化			
05	50.78		Gp	2.5YR 7/3 灰褐色	✓	✓	✓	δ	3	0	6
51	51.06					X	X	X	X	3	0
05	51.24			2.5YR 4/2 灰褐色	✓	✓	✓	δ	3	0	6
52	51.94				X	X	X	X	3	0	6
05	52.72				✓	✓	✓	δ	3	0	2
53	52.81				X	X	X	X	3	0	2
05	53.17				✓	✓	✓	δ	3	0	2
05	53.45				X	X	X	X	3	0	2
05	53.54				X	X	X	X	3	0	2
54					✓	✓	✓	δ	3	0	4
05				2.5YR 7/3 灰褐色	✓	✓	✓	δ	3	0	3

49.27~49.40 : D
20~30割目 0.5~0.3割目 割目 10以内 砂状 0.1進

49.40 ~ 51.94 m : CL
硬さ C の割目 6 5 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20
30 前後の割目 0.5 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20
60 前後の割目 0.5 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20
51.06 m 以降 2.5 割目 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20
51.06 m 以降 2.5 割目 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20
51.06 m 以降 2.5 割目 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

51.06 ~ 51.94 m 割目 0.5 割目 1 割目 2 割目 3 割目 4 割目 5 割目 6 割目 7 割目 8 割目 9 割目 10 割目 11 割目 12 割目 13 割目 14 割目 15 割目 16 割目 17 割目 18 割目 19 割目 20 割目
51.24 ~ 51.62 m 割目 1 割目 2 割目 3 割目 4 割目 5 割目 6 割目 7 割目 8 割目 9 割目 10 割目 11 割目 12 割目 13 割目 14 割目 15 割目 16 割目 17 割目 18 割目 19 割目 20 割目
51.62 m 1.5 割目 0.5 割目 1 割目 2 割目 3 割目 4 割目 5 割目 6 割目 7 割目 8 割目 9 割目 10 割目 11 割目 12 割目 13 割目 14 割目 15 割目 16 割目 17 割目 18 割目 19 割目 20 割目

51.94 ~ 52.72 : D
52.72 ~ 52.81 m : Hc-2
52.81 ~ 52.80 m : Hc-2
52.80 ~ 52.81 m : Hc-2
52.81 ~ 52.82 m : Hc-2
52.82 ~ 52.83 m : Hc-2
52.83 ~ 52.84 m : Hc-2
52.84 ~ 52.85 m : Hc-2
52.85 ~ 52.86 m : Hc-2
52.86 ~ 52.87 m : Hc-2
52.87 ~ 52.88 m : Hc-2
52.88 ~ 52.89 m : Hc-2
52.89 ~ 52.90 m : Hc-2
52.90 ~ 52.91 m : Hc-2
52.91 ~ 52.92 m : Hc-2
52.92 ~ 52.93 m : Hc-2
52.93 ~ 52.94 m : Hc-2
52.94 ~ 52.95 m : Hc-2
52.95 ~ 52.96 m : Hc-2
52.96 ~ 52.97 m : Hc-2
52.97 ~ 52.98 m : Hc-2
52.98 ~ 52.99 m : Hc-2
52.99 ~ 53.00 m : Hc-2
53.00 ~ 53.01 m : Hc-2
53.01 ~ 53.02 m : Hc-2
53.02 ~ 53.03 m : Hc-2
53.03 ~ 53.04 m : Hc-2
53.04 ~ 53.05 m : Hc-2
53.05 ~ 53.06 m : Hc-2
53.06 ~ 53.07 m : Hc-2
53.07 ~ 53.08 m : Hc-2
53.08 ~ 53.09 m : Hc-2
53.09 ~ 53.10 m : Hc-2
53.10 ~ 53.11 m : Hc-2
53.11 ~ 53.12 m : Hc-2
53.12 ~ 53.13 m : Hc-2
53.13 ~ 53.14 m : Hc-2
53.14 ~ 53.15 m : Hc-2
53.15 ~ 53.16 m : Hc-2
53.16 ~ 53.17 m : Hc-2
53.17 ~ 53.18 m : Hc-2
53.18 ~ 53.19 m : Hc-2
53.19 ~ 53.20 m : Hc-2
53.20 ~ 53.21 m : Hc-2
53.21 ~ 53.22 m : Hc-2
53.22 ~ 53.23 m : Hc-2
53.23 ~ 53.24 m : Hc-2
53.24 ~ 53.25 m : Hc-2
53.25 ~ 53.26 m : Hc-2
53.26 ~ 53.27 m : Hc-2
53.27 ~ 53.28 m : Hc-2
53.28 ~ 53.29 m : Hc-2
53.29 ~ 53.30 m : Hc-2
53.30 ~ 53.31 m : Hc-2
53.31 ~ 53.32 m : Hc-2
53.32 ~ 53.33 m : Hc-2
53.33 ~ 53.34 m : Hc-2
53.34 ~ 53.35 m : Hc-2
53.35 ~ 53.36 m : Hc-2
53.36 ~ 53.37 m : Hc-2
53.37 ~ 53.38 m : Hc-2
53.38 ~ 53.39 m : Hc-2
53.39 ~ 53.40 m : Hc-2
53.40 ~ 53.41 m : Hc-2
53.41 ~ 53.42 m : Hc-2
53.42 ~ 53.43 m : Hc-2
53.43 ~ 53.44 m : Hc-2
53.44 ~ 53.45 m : Hc-2
53.45 ~ 53.46 m : Hc-2
53.46 ~ 53.47 m : Hc-2
53.47 ~ 53.48 m : Hc-2
53.48 ~ 53.49 m : Hc-2
53.49 ~ 53.50 m : Hc-2
53.50 ~ 53.51 m : Hc-2
53.51 ~ 53.52 m : Hc-2
53.52 ~ 53.53 m : Hc-2
53.53 ~ 53.54 m : Hc-2
53.54 ~ 53.55 m : Hc-2
53.55 ~ 53.56 m : Hc-2
53.56 ~ 53.57 m : Hc-2
53.57 ~ 53.58 m : Hc-2
53.58 ~ 53.59 m : Hc-2
53.59 ~ 53.60 m : Hc-2
53.60 ~ 53.61 m : Hc-2
53.61 ~ 53.62 m : Hc-2
53.62 ~ 53.63 m : Hc-2
53.63 ~ 53.64 m : Hc-2
53.64 ~ 53.65 m : Hc-2
53.65 ~ 53.66 m : Hc-2
53.66 ~ 53.67 m : Hc-2
53.67 ~ 53.68 m : Hc-2
53.68 ~ 53.69 m : Hc-2
53.69 ~ 53.70 m : Hc-2
53.70 ~ 53.71 m : Hc-2
53.71 ~ 53.72 m : Hc-2
53.72 ~ 53.73 m : Hc-2
53.73 ~ 53.74 m : Hc-2
53.74 ~ 53.75 m : Hc-2
53.75 ~ 53.76 m : Hc-2
53.76 ~ 53.77 m : Hc-2
53.77 ~ 53.78 m : Hc-2
53.78 ~ 53.79 m : Hc-2
53.79 ~ 53.80 m : Hc-2
53.80 ~ 53.81 m : Hc-2
53.81 ~ 53.82 m : Hc-2
53.82 ~ 53.83 m : Hc-2
53.83 ~ 53.84 m : Hc-2
53.84 ~ 53.85 m : Hc-2
53.85 ~ 53.86 m : Hc-2
53.86 ~ 53.87 m : Hc-2
53.87 ~ 53.88 m : Hc-2
53.88 ~ 53.89 m : Hc-2
53.89 ~ 53.90 m : Hc-2
53.90 ~ 53.91 m : Hc-2
53.91 ~ 53.92 m : Hc-2
53.92 ~ 53.93 m : Hc-2
53.93 ~ 53.94 m : Hc-2
53.94 ~ 53.95 m : Hc-2
53.95 ~ 53.96 m : Hc-2
53.96 ~ 53.97 m : Hc-2
53.97 ~ 53.98 m : Hc-2
53.98 ~ 53.99 m : Hc-2
53.99 ~ 54.00 m : Hc-2

51
52-54
↑
53-54
↑
54-55
↑

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 55 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質
56	55.35		Gp	2.5YR 7/3 1.5の 橙	c	v	d		3		C _L	<p>55.35m, 55.40mで部分的に割れ目と連続し 55.25m~56.66mは連続した硬質と判る。 56.66m割れ目より一部は同様に砂状化している。粘り強さと硬さあり。</p>	
	55.44	x			x	c							
56.08		x			x	c	v	c		6			7
56.63		c			v	c							
56.84		ε			v	ε							
57.04		ε			v	ε							
57.30		c			v	d							
57.90		x			x	c							
58.34		x			x	c	v	c		6			6
58.77		c			v	d							
59	59.28		2.5YR 7/3 1.5の 橙	2.5YR 7/3 1.5の 橙	c	v	ε		0	5	D	<p>58.66~58.84m: D 同様に砂状化している。中10~20%の硬さの割れ目と連続して判る。 58.84~58.77m: C_L 58.84~58.90m, 硬さの割れ目と連続して一部は硬質と判る。 58.90m以降は割れ目にも及び砂状化の進行。 58.75~58.90mは27m-28m時に砂状化の進行と推定される。 58.90~58.34m, 硬質と判る連続した層は幅1~2%石英状の粘り(2分不) を認めると同時に軽微なマシオンを認める。 58.28m割れ目と連続して同様に砂状化 58.34~58.77m, 硬質と判る連続した層。 一部の割れ目と連続して砂状化の進行。割れ目も消滅し硬質と判る。 58.77~59.28m: D 同様に粘り(軟化)傾向の砂状化部と判る。 粘り強さと割れ目も連続して判る。一部は砂状化と判る。 59.10m, 20.19~5%の鉄質を圧縮した層と判る。 59.28~59.48mは割れ目も消滅し硬質と判る。 59.60~59.65m間は3分18分厚の割れ目と連続して判る。 硬質と判る。砂状化層(厚0.5~1%)も判る。 59.22~59.25m: 砂状化部(主に割れ目と連続して判る) D-1 59.22~59.25m: HJ</p>	
	59.48				d	v	ε						
59.82		d			v	ε							
59.85		c			v	d				4	1		
59.92		c			v	d				3	0		
59.95		c			v	d				2			

276
57
5
50

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 60 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化 変質			
05	60.54				✓	✓	✓	δ	3		C ₂ ✓
61	60.99				✓	✓	✓				C ₄ ✓
05	61.38				✓	✓	✓				C ₄ ✓
62			Gp ✓	25YR 7/3 に近い 橙	✓	✓	✓		13	15	
05					✓	✓	✓				
63	62.82				✓	✓	✓		10	10	
05					✓	✓	✓				
64	63.61				✓	✓	✓				D ✓
05					✓	✓	✓				
64	64.00				✓	✓	✓				
05					✓	✓	✓				
65	64.33				✓	✓	✓				C ₂ ✓
05					✓	✓	✓				
65					✓	✓	✓				C ₄ ✓
05					✓	✓	✓				
65					✓	✓	✓				

上端20cm 砂質砂岩を流れて、下層部で連続的に連続。
 90~50% 石英粒 中々10% 粘土化層付と割れ目付粘土化。
 1cm 粘土状の割れ目と呈示。色調は1.5R 6/3、
 厚さ30mm
 60.54~60.99m: C₂
 60.54~60.99m 連続的に連続。90% 石英粒の割れ目
 (5%以下) 含む砂質砂岩(0.5cm)。色調は1.5R 6/3
 ~1.5R 6/3 の割れ目呈示。厚さ5~7mm
 60.99~61.38m: C₄
 60.54m 割れ目に風化と連続。色調は1.5R 6/3
 60.54m 厚さ5mm 割れ目と連続。色調は1.5R 6/3
 前者は、割れ目に20% 砂岩の層付。
 61.38~62.82m: C₄
 色調は1.5R 6/3 割れ目と連続。
 62.82~63.61m: C₄
 上層部の61.38~61.42m 間と62.82m 厚さは、色調は
 1.5R 6/3 風化と連続の砂岩の層付。色調は1.5R 6/3
 割れ目と連続の層付は、色調は1.5R 6/3。
 63.61~64.00m: D
 割れ目と連続の層付。色調は1.5R 6/3 割れ目と連続。
 色調は1.5R 6/3 割れ目と連続。
 一部は、割れ目と連続の層付。
 64.00~64.33m: C₂
 64.00~64.33m 間と64.33m 厚さは、色調は1.5R 6/3
 1.5R 6/3 割れ目と連続。色調は1.5R 6/3 割れ目と連続。
 64.33~64.07m: C₄
 割れ目と連続の層付。色調は1.5R 6/3 割れ目と連続。

調査名

孔番・深度 427 B- / (65 ~ 70)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 65 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				変質
65	65.52		Gp	2.5YR 7/3 R30 撻	✓ C	✓ IV	✓ B	δ	2	10	CM ✓	65.20 ~ 65.30 m は 40° ~ 70° 割れ目 の 露出。 幅 10 ~ 20% と 同化 砂状部 の 拡大 (20%)。 砂状部 の 厚さ 5 ~ 6 cm ほど。 下部 部 まで 浸透。 色 調 同 前。
	66.07 66.15			2.5YR 6/4 R30 撻	✓ C	✓ V	✓ C	δ	3	10	CL ✓	65.90 m 付近 20% と 同型 砂岩 露出 の 露出。 66.07 ~ 66.62 m : CL 同化 部 割れ目 と 浸透 度 の 低い 割れ目 の 露出。 色調 の 軽微 な 細粒 化 可 見。
66	66.62		Gp		✓ C	✓ V	✓ E	δ	3	9	D ✓	66.62 ~ 67.14 m : D 90 ~ 100% 浸透 部 と 同化 部 の 砂状部 の 露出。 砂状部 の 露出。 66.65 m 以下 部 は 露出 部 と 同化 部 の 一部 も 露出 可 見。 下部 部 まで 浸透。 色調 同 前。
	67.74 67.79				✓ C	✓ V	✓ E	δ	3	9	CL ✓	67.14 ~ 67.27 m : CL 50° 割れ目 の 露出 と 浸透。 67.27 ~ 67.40 m : CM 割れ目 の 露出 部 の 露出 可 見。 67.40 ~ 67.47 m 間 は 5 ~ 10% の 露出 部 露出 可 見。
67	67.80		Gp	2.5YR 7/3 R30 撻	✓ C	✓ V	✓ E	δ	3	9	D ✓	67.80 ~ 67.93 m : D 30 ~ 50% 割れ目 の 露出 可 見。 50% 浸透 部 と 同化 部 の 露出 可 見。 67.93 ~ 68.15 m : CL 40° 割れ目 の 露出 部 の 露出 可 見。
	68.13				✓ C	✓ V	✓ E	δ	3	9	CL ✓	68.15 ~ 68.60 m : CM 割れ目 に 浸透 部 の 露出 可 見。 68.43 ~ 68.49 m 中 5 ~ 20% 露出 部 の 露出 可 見。 砂状部 の 露出 部 まで 浸透 可 見。
68	68.60		Gp		✓ C	✓ V	✓ E	δ	3	9	D ✓	68.60 ~ 69.05 m : D 露出 部 の 露出 可 見。 露出 部 の 露出 可 見。 露出 部 の 露出 可 見。 露出 部 の 露出 可 見。 露出 部 の 露出 可 見。 露出 部 の 露出 可 見。 露出 部 の 露出 可 見。 露出 部 の 露出 可 見。 露出 部 の 露出 可 見。
	69.05				✓ C	✓ V	✓ E	δ	3	9	D ✓	69.05 ~ 69.56 m : CL 30 ~ 50% 割れ目 露出。 露出 部 の 露出 可 見。 露出 部 の 露出 可 見。 割れ目 の 露出 可 見。 露出 部 の 露出 可 見。 露出 部 の 露出 可 見。 69.07 m 厚 2 ~ 3% 露出 部 の 露出 可 見。
69	69.56		Gp		✓ C	✓ V	✓ E	δ	3	9	CL ✓	69.46 ~ 69.70 m : D 少量 の 露出 部 の 露出 可 見。 69.70 ~ 69.73 m : 破砕 部 (主に 断面 69.70 m) 69.70 m : Hc-1 50% 露出 部 の 露出 可 見。 露出 部 の 露出 可 見。 露出 部 の 露出 可 見。 露出 部 の 露出 可 見。 露出 部 の 露出 可 見。 露出 部 の 露出 可 見。
	69.70 69.73				✓ C	✓ V	✓ E	δ	3	9	CL ✓	
70	70.00				✓ C	✓ V	✓ E	δ	3	9	CL ✓	

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

深尺 70 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				変質	ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの種類	風化					
				2.5YR 7/3 灰褐色	✓ c	✓ V	✓ D	✓ δ					<p>69.70 ~ 69.73 m: HJ 上端 40° 下端 50° の斜交節理に連続。φ 3~10% 硬さ E (新成)。D の部分に薄片状の輝石結晶あり。 全厚に「粗粒状輝石」あり。色調は灰褐色 (2.5Y 7/3)。厚さ 1%。</p>
0.5	70.42			2.5YR 4/2 灰褐色	✓ b	✓ IV	✓ c	✓ γ		10	10		<p>69.73 ~ 70.10 m: CL 硬さ「D」と硬さ「C」の間に交互に出現する。 硬さ「D」では斜交の斜交物に分布するが、硬さ「C」の間に斜交物に結合する。 70.06 ~ 70.09 m: 45° 斜交面に風化の跡あり</p>
71	71.27			2.5YR 7/3 灰褐色	✓ c	✓ IV	✓ D	✓ δ					<p>70.43 ~ 71.27 m: 硬さ「C」の部、70.49 ~ 70.59 m: 硬さ「D」の部、白濁化の長石が多い。70.59 m 以下は硬さ「D」。 71.27 ~ 71.60 m: 45~60° 傾 1% 以下の斜交の輝石結晶に分布する。一部は輝石結晶あり。 71.39 ~ 71.40 m: φ 10% 前後の大型の石英結晶の存在。硬さ「C」と同じに硬さ「D」も。 71.88 m: 0~10° 傾 1% 石英結晶が連続して連続。</p>
72	72.10		Gp	2.5YR 7/3 灰褐色	✓ c	✓ IV	✓ D	✓ δ		0	9	CL	<p>72.10 ~ 72.74 m: 硬さ「C」の間に斜交の斜交物に結合する。長石の一部は白濁化あり。</p>
0.5	72.74			2.5YR 4/2 灰褐色	✓ b	✓ IV	✓ c	✓ γ					<p>72.74 ~ 74.10 m: 硬さ「D」に連続する。硬さ「C」の部分に斜交の斜交物あり。色調は灰褐色 (2.5Y 7/3)。</p>
73				2.5YR 7/3 灰褐色	✓ c	✓ V	✓ D	✓ δ					<p>73.35 ~ 73.38 m: 厚さ 2~3mm の斜交の斜交物に連続する。粗粒状の輝石あり。</p>
0.5				2.5YR 6/2 灰褐色	✓ c	✓ V	✓ E	✓ ε					<p>73.65 ~ 73.76 m: 30° と 60° の斜交の斜交物に連続。φ 10~50% の斜交物に連続する。</p>
74	74.10			10YR 7/2 灰褐色	✓ d	✓ VI	✓ E	✓ x					<p>74.10 ~ 74.36 m: CM</p>
0.5	74.36			2.5YR 6/2 灰褐色	✓ c	✓ V	✓ E	✓ ε					<p>Hb Hc-1 Hb 74.36 ~ 74.50 m: 破砕帯 (50cm 厚)</p>
75	75.00			2.5YR 6/2 灰褐色	✓ c	✓ V	✓ E	✓ ε					<p>74.50 ~ 74.70 m: Hb 上端 27° 斜交の斜交物に連続。下端 30° 斜交の斜交物に連続。φ 2~3mm の石英結晶。斜交の斜交物に結合する。色調は灰褐色 (10Y 7/2)。厚さ 0~20%。 74.80 ~ 74.91 m: Hc-1 30° と 27° の斜交の斜交物に連続。φ 1% の石英結晶に連続 (50cm)。斜交の斜交物に結合する。色調は灰褐色 (10Y 7/2)。厚さ 7mm。</p>

基盤岩コア観察カード

記事・破碎性状・詳細スケッチ等

標尺 75 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分	記事・破碎性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの傾き	風化	変質				
	05	75.57		7.5YR 5/2 灰褐色	✓ C	✓ V	✓ E		3				75.41 ~ 75.50 m : Hb 上端は60°の湾曲した直線、下端は70°以下の急な傾斜時に 5°の傾斜で直線に連続。 75.50 ~ 75.57 m : Hc-2 75.57 ~ 76.00 m : Hc-1 76.00 ~ 76.19 m : D 76.19 ~ 76.31 m : D 76.31 ~ 76.43 m : Cc 76.43 ~ 76.60 m : D 76.60 ~ 76.72 m : Hc-1 76.72 ~ 76.87 m : Hc-1 76.87 ~ 76.99 m : Hc-1 76.99 ~ 77.27 m : Cc 77.27 ~ 77.51 m : Hc-1 77.51 ~ 77.69 m : Hc-1 77.69 ~ 77.95 m : Hc-1
	0	75.71 75.73 75.93 76.00		7.5YR 5/2 灰褐色	✓ d	✓ VI	✓ E		4	100%	✓ D	✓ Hj	75.50 ~ 75.57 m : D 75.57 ~ 76.00 m : Hc-1 76.00 ~ 76.19 m : D 76.19 ~ 76.31 m : D 76.31 ~ 76.43 m : Cc 76.43 ~ 76.60 m : D 76.60 ~ 76.72 m : Hc-1 76.72 ~ 76.87 m : Hc-1 76.87 ~ 76.99 m : Hc-1 76.99 ~ 77.27 m : Cc 77.27 ~ 77.51 m : Hc-1 77.51 ~ 77.69 m : Hc-1 77.69 ~ 77.95 m : Hc-1
76	05	76.91		7.5YR 5/2 灰褐色	✓ d	✓ VI	✓ E		3				76.00 ~ 76.19 m : D 76.19 ~ 76.31 m : D 76.31 ~ 76.43 m : Cc 76.43 ~ 76.60 m : D 76.60 ~ 76.72 m : Hc-1 76.72 ~ 76.87 m : Hc-1 76.87 ~ 76.99 m : Hc-1 76.99 ~ 77.27 m : Cc 77.27 ~ 77.51 m : Hc-1 77.51 ~ 77.69 m : Hc-1 77.69 ~ 77.95 m : Hc-1
	05	76.91		7.5YR 5/2 灰褐色	✓ e	✓ V	✓ E		3				76.00 ~ 76.19 m : D 76.19 ~ 76.31 m : D 76.31 ~ 76.43 m : Cc 76.43 ~ 76.60 m : D 76.60 ~ 76.72 m : Hc-1 76.72 ~ 76.87 m : Hc-1 76.87 ~ 76.99 m : Hc-1 76.99 ~ 77.27 m : Cc 77.27 ~ 77.51 m : Hc-1 77.51 ~ 77.69 m : Hc-1 77.69 ~ 77.95 m : Hc-1
77		77.19			✓ c	✓ V	✓ E		3				76.00 ~ 76.19 m : D 76.19 ~ 76.31 m : D 76.31 ~ 76.43 m : Cc 76.43 ~ 76.60 m : D 76.60 ~ 76.72 m : Hc-1 76.72 ~ 76.87 m : Hc-1 76.87 ~ 76.99 m : Hc-1 76.99 ~ 77.27 m : Cc 77.27 ~ 77.51 m : Hc-1 77.51 ~ 77.69 m : Hc-1 77.69 ~ 77.95 m : Hc-1
	05	77.19			✓ c	✓ V	✓ E		3				76.00 ~ 76.19 m : D 76.19 ~ 76.31 m : D 76.31 ~ 76.43 m : Cc 76.43 ~ 76.60 m : D 76.60 ~ 76.72 m : Hc-1 76.72 ~ 76.87 m : Hc-1 76.87 ~ 76.99 m : Hc-1 76.99 ~ 77.27 m : Cc 77.27 ~ 77.51 m : Hc-1 77.51 ~ 77.69 m : Hc-1 77.69 ~ 77.95 m : Hc-1
78		78.43	GP	7.5YR 5/2 灰褐色	✓ c	✓ V	✓ E		3				76.00 ~ 76.19 m : D 76.19 ~ 76.31 m : D 76.31 ~ 76.43 m : Cc 76.43 ~ 76.60 m : D 76.60 ~ 76.72 m : Hc-1 76.72 ~ 76.87 m : Hc-1 76.87 ~ 76.99 m : Hc-1 76.99 ~ 77.27 m : Cc 77.27 ~ 77.51 m : Hc-1 77.51 ~ 77.69 m : Hc-1 77.69 ~ 77.95 m : Hc-1
	05	78.43		7.5YR 5/2 灰褐色	✓ c	✓ V	✓ E		3				76.00 ~ 76.19 m : D 76.19 ~ 76.31 m : D 76.31 ~ 76.43 m : Cc 76.43 ~ 76.60 m : D 76.60 ~ 76.72 m : Hc-1 76.72 ~ 76.87 m : Hc-1 76.87 ~ 76.99 m : Hc-1 76.99 ~ 77.27 m : Cc 77.27 ~ 77.51 m : Hc-1 77.51 ~ 77.69 m : Hc-1 77.69 ~ 77.95 m : Hc-1
		78.72		10YR 5/2 灰褐色	✓ d	✓ VI	✓ E		3				76.00 ~ 76.19 m : D 76.19 ~ 76.31 m : D 76.31 ~ 76.43 m : Cc 76.43 ~ 76.60 m : D 76.60 ~ 76.72 m : Hc-1 76.72 ~ 76.87 m : Hc-1 76.87 ~ 76.99 m : Hc-1 76.99 ~ 77.27 m : Cc 77.27 ~ 77.51 m : Hc-1 77.51 ~ 77.69 m : Hc-1 77.69 ~ 77.95 m : Hc-1
		78.87		10YR 5/2 灰褐色	✓ d	✓ VI	✓ E		3				76.00 ~ 76.19 m : D 76.19 ~ 76.31 m : D 76.31 ~ 76.43 m : Cc 76.43 ~ 76.60 m : D 76.60 ~ 76.72 m : Hc-1 76.72 ~ 76.87 m : Hc-1 76.87 ~ 76.99 m : Hc-1 76.99 ~ 77.27 m : Cc 77.27 ~ 77.51 m : Hc-1 77.51 ~ 77.69 m : Hc-1 77.69 ~ 77.95 m : Hc-1
79		79.27		7.5YR 5/2 灰褐色	✓ c	✓ V	✓ E		3				76.00 ~ 76.19 m : D 76.19 ~ 76.31 m : D 76.31 ~ 76.43 m : Cc 76.43 ~ 76.60 m : D 76.60 ~ 76.72 m : Hc-1 76.72 ~ 76.87 m : Hc-1 76.87 ~ 76.99 m : Hc-1 76.99 ~ 77.27 m : Cc 77.27 ~ 77.51 m : Hc-1 77.51 ~ 77.69 m : Hc-1 77.69 ~ 77.95 m : Hc-1
	05	79.27		7.5YR 5/2 灰褐色	✓ c	✓ V	✓ E		3				76.00 ~ 76.19 m : D 76.19 ~ 76.31 m : D 76.31 ~ 76.43 m : Cc 76.43 ~ 76.60 m : D 76.60 ~ 76.72 m : Hc-1 76.72 ~ 76.87 m : Hc-1 76.87 ~ 76.99 m : Hc-1 76.99 ~ 77.27 m : Cc 77.27 ~ 77.51 m : Hc-1 77.51 ~ 77.69 m : Hc-1 77.69 ~ 77.95 m : Hc-1
		79.69		7.5YR 5/2 灰褐色	✓ c	✓ V	✓ E		3				76.00 ~ 76.19 m : D 76.19 ~ 76.31 m : D 76.31 ~ 76.43 m : Cc 76.43 ~ 76.60 m : D 76.60 ~ 76.72 m : Hc-1 76.72 ~ 76.87 m : Hc-1 76.87 ~ 76.99 m : Hc-1 76.99 ~ 77.27 m : Cc 77.27 ~ 77.51 m : Hc-1 77.51 ~ 77.69 m : Hc-1 77.69 ~ 77.95 m : Hc-1
		79.93		7.5YR 5/2 灰褐色	✓ c	✓ V	✓ E		3				76.00 ~ 76.19 m : D 76.19 ~ 76.31 m : D 76.31 ~ 76.43 m : Cc 76.43 ~ 76.60 m : D 76.60 ~ 76.72 m : Hc-1 76.72 ~ 76.87 m : Hc-1 76.87 ~ 76.99 m : Hc-1 76.99 ~ 77.27 m : Cc 77.27 ~ 77.51 m : Hc-1 77.51 ~ 77.69 m : Hc-1 77.69 ~ 77.95 m : Hc-1
80		79.93		7.5YR 5/2 灰褐色	✓ c	✓ V	✓ E		3				76.00 ~ 76.19 m : D 76.19 ~ 76.31 m : D 76.31 ~ 76.43 m : Cc 76.43 ~ 76.60 m : D 76.60 ~ 76.72 m : Hc-1 76.72 ~ 76.87 m : Hc-1 76.87 ~ 76.99 m : Hc-1 76.99 ~ 77.27 m : Cc 77.27 ~ 77.51 m : Hc-1 77.51 ~ 77.69 m : Hc-1 77.69 ~ 77.95 m : Hc-1

調査名		孔番・深度		観察日								
		H27 B-1 (20 ~ 85)										
標尺 φ0 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長 ROD	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの種さ	風化				
	05	80.66			✓	✓	✓	✓				72.95 ~ 80.23 m 40°前後の割れ目が多い。 20°の割れ目には粘結物がある。厚2.05 ~ 3% 程度。 80.30 ~ 80.40 m 割れ目には砂状化が進行。 80.30 ~ 80.35 m 130°前後の割れ目には粘結物角状化が進行。
	05	81.87			✓	✓	✓	✓	0	6		80.66 ~ 81.87 m 硬2Dの中は硬2Cのφ2~30°部分の割れ目には粘結物がある。 80°前後の高角度割れ目が多い。 81.17 ~ 81.55 m 割れ目の厚2.10 ~ 1.5% 程度で粘結物は少ない。 採肉物中に割れ目周辺にφ2.5%以下の微細な黄鉄鉱が伴う。
	05	82.51			✓	✓	✓	✓	0	5		81.87 ~ 82.51 m 割れ目には砂状化が進行している。 81.87 ~ 81.97 m 160°前後の割れ目には粘結物がある。
	05	82.62			✓	✓	✓	✓	0	5		81.97 ~ 82.51 m 割れ目には砂状化が進行している。
	05	82.94			✓	✓	✓	✓	0	6		82.51 ~ 82.62 m : D 粘結物化が進行。φ0.5 ~ 1.0 mm Gp 部分の粘結物に含有。 82.62 ~ 82.94 m : C _L 割れ目には砂状化が進行。一部で幅1~2% 粘結物に付着。
	05	84.09			✓	✓	✓	✓	20	10		82.94 ~ 84.09 m : C _M 粘結物に粘着層の低い割れ目が多い。含有率も低い。 割れ目の充填物は少ない。 83.30 ~ 83.47 m 表面の一部が白濁している。 84.09 ~ 84.09 m 上部45° 下部65°割れ目2回折れ、砂状化~粘結物化が進行。厚2.1 ~ 1.0% 程度で厚2.3% 程度の浸透性粘結物と2.0% 程度伴う。
	05	84.92			✓	✓	✓	✓	47	16		84.09 ~ 84.92 m : C _H 60~80°の高角度の「粘結物」に付着。粘結物の厚さ<1.0% の粘結物に含有率1% 程度。 84.50 m 粘結物の厚さ2~3% の粘結物に含有率1% 程度。 84.92 ~ 84.92 m 粘結物に粘着層の一部が付着。粘結物の厚さ<1.0% の粘結物に含有率1% 程度。
	05	85.00			✓	✓	✓	✓	47	16		84.92 ~ 85.00 m : C _L

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 85 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				変質	ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					
05	85.00		Gp	2.5YR 5/2 灰褐色	✓	✓	✓					C ₂ ✓	<p>下位破砕帯の主に割れ目同方向の40~60°割れ目や中割れ目あり。 85.01' 幅1.5m以下22°石英脈あり割れ目と斜交して連続。</p>
	85.20			10YR 7/4 1.5m 黄褐色	✓	✓	✓		3			D ✓	
05	85.41		Gp	2.5YR 5/2 灰褐色	✓	✓	✓					C ₂ ✓	<p>85.41~85.92m : C₂ 上位破砕帯の主に割れ目同方向の40~60°割れ目と中割れ目あり。 85.92~86.43m : D 割れ目に砂化産物あり。中10~30mm石英粒あり。粘着受付。粘土化 の碎粒あり。 86.43~86.86m : C_M 経理2割れ目あり。割れ目同方向。粘土化産物と分布あり。 86.86~87.20m : C₂ 40~60°割れ目と中割れ目同方向に砂化産物あり。 砂岩の碎粒と粘土の碎粒に粘着受付あり。 87.20~87.51m : D 上位破砕帯の碎岩砂岩と砂岩。 幅1.5~3m 粘着受付粘土化産物あり。 87.51~88.56m : C₂ 割れ目同方向に砂化産物あり。 全体に硬さ「c」の音の主体あり。 割れ目は粘着受付の粘着受付。粘着受付。粘着受付 1.5mあり。 88.56~89.56m : C₂ 20~50°割れ目は1.2cm厚の 砂岩に分布。粘着受付の粘着受付に粘着受付 石英あり。 89.56~89.86m : C₂ 粘着受付。粘着受付。粘着受付の粘着受付。 89.86~89.86m : C₂ 粘着受付。粘着受付。粘着受付の粘着受付。 (注: 粘着受付)</p>
	85.92			10YR 7/4 黄褐色	✓	✓	✓		3			D ✓	
05	86.43		Gp	2.5YR 5/2 灰褐色	✓	✓	✓					C ₂ ✓	<p>88.56~89.56m : C₂ 20~50°割れ目は1.2cm厚の 砂岩に分布。粘着受付の粘着受付に粘着受付 石英あり。 89.56~89.86m : C₂ 粘着受付。粘着受付。粘着受付の粘着受付。 (注: 粘着受付)</p>
	86.86			10YR 7/4 黄褐色	✓	✓	✓		3			D ✓	
05	87.20		Gp	10YR 7/4 黄褐色	✓	✓	✓					C ₂ ✓	<p>89.86~89.86m : C₂ 粘着受付。粘着受付。粘着受付の粘着受付。 (注: 粘着受付)</p>
	87.51			2.5YR 5/2 灰褐色	✓	✓	✓		3			D ✓	
05	88.56		Gp	2.5YR 5/2 灰褐色	✓	✓	✓					C ₂ ✓	<p>89.86~89.86m : C₂ 粘着受付。粘着受付。粘着受付の粘着受付。 (注: 粘着受付)</p>
	89.56			10YR 7/4 黄褐色	✓	✓	✓		3			D ✓	
05	89.86		Gp	2.5YR 5/2 灰褐色	✓	✓	✓					C ₂ ✓	<p>89.86~89.86m : C₂ 粘着受付。粘着受付。粘着受付の粘着受付。 (注: 粘着受付)</p>
	89.86			10YR 7/4 黄褐色	✓	✓	✓		3			D ✓	
05	89.86		Gp	2.5YR 5/2 灰褐色	✓	✓	✓					C ₂ ✓	<p>89.86~89.86m : C₂ 粘着受付。粘着受付。粘着受付の粘着受付。 (注: 粘着受付)</p>
	89.86			10YR 7/4 黄褐色	✓	✓	✓		3			D ✓	
05	89.86		Gp	2.5YR 5/2 灰褐色	✓	✓	✓					C ₂ ✓	<p>89.86~89.86m : C₂ 粘着受付。粘着受付。粘着受付の粘着受付。 (注: 粘着受付)</p>
	89.86			10YR 7/4 黄褐色	✓	✓	✓		3			D ✓	
05	89.86		Gp	2.5YR 5/2 灰褐色	✓	✓	✓					C ₂ ✓	<p>89.86~89.86m : C₂ 粘着受付。粘着受付。粘着受付の粘着受付。 (注: 粘着受付)</p>
	89.86			10YR 7/4 黄褐色	✓	✓	✓		3			D ✓	
05	89.86		Gp	2.5YR 5/2 灰褐色	✓	✓	✓					C ₂ ✓	<p>89.86~89.86m : C₂ 粘着受付。粘着受付。粘着受付の粘着受付。 (注: 粘着受付)</p>
	89.86			10YR 7/4 黄褐色	✓	✓	✓		3			D ✓	
05	89.86		Gp	2.5YR 5/2 灰褐色	✓	✓	✓					C ₂ ✓	<p>89.86~89.86m : C₂ 粘着受付。粘着受付。粘着受付の粘着受付。 (注: 粘着受付)</p>
	89.86			10YR 7/4 黄褐色	✓	✓	✓		3			D ✓	
05	89.86		Gp	2.5YR 5/2 灰褐色	✓	✓	✓					C ₂ ✓	<p>89.86~89.86m : C₂ 粘着受付。粘着受付。粘着受付の粘着受付。 (注: 粘着受付)</p>
	89.86			10YR 7/4 黄褐色	✓	✓	✓		3			D ✓	
05	89.86		Gp	2.5YR 5/2 灰褐色	✓	✓	✓					C ₂ ✓	<p>89.86~89.86m : C₂ 粘着受付。粘着受付。粘着受付の粘着受付。 (注: 粘着受付)</p>
	89.86			10YR 7/4 黄褐色	✓	✓	✓		3			D ✓	
05	89.86		Gp	2.5YR 5/2 灰褐色	✓	✓	✓					C ₂ ✓	<p>89.86~89.86m : C₂ 粘着受付。粘着受付。粘着受付の粘着受付。 (注: 粘着受付)</p>
	89.86			10YR 7/4 黄褐色	✓	✓	✓		3			D ✓	
05	89.86		Gp	2.5YR 5/2 灰褐色	✓	✓	✓					C ₂ ✓	<p>89.86~89.86m : C₂ 粘着受付。粘着受付。粘着受付の粘着受付。 (注: 粘着受付)</p>
	89.86			10YR 7/4 黄褐色	✓	✓	✓		3			D ✓	
05	89.86		Gp	2.5YR 5/2 灰褐色	✓	✓	✓					C ₂ ✓	<p>89.86~89.86m : C₂ 粘着受付。粘着受付。粘着受付の粘着受付。 (注: 粘着受付)</p>
	89.86			10YR 7/4 黄褐色	✓	✓	✓		3			D ✓	
05	89.86		Gp	2.5YR 5/2 灰褐色	✓	✓	✓					C ₂ ✓	<p>89.86~89.86m : C₂ 粘着受付。粘着受付。粘着受付の粘着受付。 (注: 粘着受付)</p>
	89.86			10YR 7/4 黄褐色	✓	✓	✓		3			D ✓	

89.86
↑

調査名		孔番・深度		観察日								
		H27B-(90~95)										
標尺 90 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長 ROD	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
05												
91				ス+FR 7/2 灰緑				07	7V			91.16~91.25m、傾角・高角割れ目・変異(径10%) 前述の細区分に同付。 下部は20% 弱条件。
05			GpV		✓	✓	✓	✓	✓	CLV		
92	92.00							07	6V			92.32m 53°割れ目 径φ0.5% 所従の曇り(色付?) 5°傾角に2-8。
05				ス+FR 7/2 明緑灰								
93								07	4V			
05	93.53				X	X				DV		93.53~94.02m: D 割れ目径φ0.5% 所従の曇り(一部は砂粒状) E 270。
94	94.00 94.07		65°		X	X		07	5V			94.00~94.07m: CL 94.07~94.88m: 上下端65°の割れ目 上下端傾斜割れ目(破砕や変質帯は併存) 割れ目(65°)に60°傾角の直交割れ目(式連折れ)変質(2)の 60°多。p1102/a AXIN 石 破砕帯の一部は流理 構造(65~60°)を有。 直上と直下のGpに破砕帯を有する。
05			70°	70° 暗緑灰	✓	✓	✓	✓	✓	CLV		
95			Gp	ス+FR 7/2 明緑灰								

標尺 95 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長 ROD	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等		
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質						
	05			2.5YR 7/2 明揚灰	✓ c	✓ V	✓ C	✓ δ	3		CL	✓	・95.22 ~ 95.25m 割れ目には砂粒あり、若干の碎片。 ・95.30 ~ 95.45m 浸透あり		
	95.85				X					0	6		95.85 ~ 96.58m CM 浸透あり、浸透部、浸透部の浸透部は一部で 粗粒化あり。 ・96.00 ~ 96.10m 割れ目には10% ~ 20% 砂粒あり、圧縮抵抗は 低い。		
96	96.10					✓ IV	✓ B					CM	✓		
	05		Gp	2.5YR 5/2 灰揚	X								96.58 ~ 97.57m CL 一部は砂粒あり、浸透部が混入。 ・97.20 ~ 97.30m 割れ目には砂粒あり、全体的に脆く、 脆く。		
97	97.57				✓ c	✓ V	✓ C			10	10		CL	✓	・97.00 ~ 97.12m 割れ目には砂粒あり、全体的に脆く、 脆く。
	05			2.5YR 7/3 灰揚	X	X							D	✓	97.57 ~ 97.88m D 浸透部、浸透部の砂粒あり、全体的に脆く、 脆く。下部には97.85m ~ 98.40m 浸透部、 砂粒あり。
	97.85				X	✓ V	✓ E								
	97.88			2.5YR 5/2 灰揚	X					0	6		CM	✓	97.88 ~ 100.57m CM 浸透部、浸透部の砂粒あり、 浸透部の浸透部は割れ目や断面割れ目より多く、 10cm 以上 の砂粒あり。
98	98.57				✓ c	✓ IV	✓ B	✓ γ	2				CM	✓	割れ目には砂粒あり、 浸透部。
	05														
99	99.57			2.5YR 6/1 灰揚						20	13				・99.03m 3.5m 割れ目には微細な砂粒あり、 脆く。
	05														
100	100.57									12	12				

100.57m 20 100.57m 13

調査名		孔番・深度		観察日								
		427 B-1 (100 ~ 105)										
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長 ROD	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
				2.5YR %	✓ c	✓ IV	✓ B	✓ Y	✓ 2			100.00 ~ 100.51 m 中層割れ目・密度度の低い割れ目が多く細砕化が多い。
	0.5 100.51 100.56				X							100.51 ~ 100.72 m : C2 風化の割れ目には粘土質のマトリックスも認められる。
	100.72				c	✓ V	✓ C	✓ O				100.72 ~ 102.35 m : CM 割れ目には粘土質のマトリックスも認められる。一部は中層割れ目・密度度の低い割れ目も認められる。中層割れ目での細砕化が多い。
101									✓ 0	✓ b		101.57 ~ 101.58 m と 102.00 ~ 102.05 m 間は割れ目が多い。粘土質に粘土質のマトリックスも認められる。粘土質のマトリックスは粘土質のマトリックスに分布している。
	0.5		Gp ✓	2.5YR 1/2 灰褐色	b	✓ IV	✓ B					全層に 2-3% の暗緑色の鉄鉱石 (緑泥石?) の点状分布。
102					X	X	Y	2	b	5		102.05 ~ 102.35 m 間は割れ目・密度度の低い割れ目の中層割れ目が多い。
	0.5				X	X	Y	2				102.35 ~ 107.40 m : CH 粘土質の割れ目も認められる。粘土質の割れ目には粘土質のマトリックスも認められる。粘土質のマトリックスは粘土質のマトリックスに分布している。粘土質のマトリックスは粘土質のマトリックスに分布している。
103									29	15		
	0.5				b	III	B					102.52 ~ 103.59 m 間は割れ目・密度度の低い割れ目が多い。
104									34	14		
	0.5											
105									35	14		

調査名		孔番・深度		H27 B-1 (105 ~ 110)		観察日							
標尺 105 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等	
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの種さ	風化					変質
105	05											105.23 ~ 105.25m. 65° 割れ目幅 1-3% の緑色粘土 1220. 破碎性状を付す。	
106	05		Gp ✓	254R 1/2 灰緑色	✓ b	✓ III	✓ B	✓ Y	✓ 2	23	13	CHV	106.33m. 60° 割れ目幅 5% の細片化付。 粘土性状を付す。
107	05									26	14		
	107.40				X		X						107.40 ~ 107.83m : CM
	107.83				b	✓ IV	B					CMV	107.82 ~ 107.85m. 60° 割れ目幅 5% の細片化付。 粘土性状を付す。
108	05				c	✓ V	✓ C	✓ D	✓ 3	22	11	CLV	107.83 ~ 108.24m : CL 風化の割れ目付に軟化を認む。 108.20m. 50° 割れ目幅 10% の細片化付。
	108.24												108.24 ~ 109.98m : CM 深部コアの中層割れ目と地層度の低い割れ目付。 ハリスの付いた細片化付。 割れ目には塊状物も付く分布 (付す)。
109	05				✓ b	✓ IV	✓ B	✓ Y	✓ 2	0	9	CMV	109.00 ~ 109.14m と 109.41 ~ 109.60m 167° 割れ目付。 粘り。長 10 ~ 30% 程度の硬変性状 (付す)。
110	05			254R 1/2 灰緑色	X		X			0	9	CHV	

調査名		孔番・深度		観察日								
		427 B-1 (110 ~ 115)										
標尺 110 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
0.5	110.43		Gp	2.5YR 8/1 褐灰	✓ b	✓ III	✓ B					107.98 ~ 110.43 m : C _H 断面割れ目と亀裂のほとんどが垂直に分布し、碎塊コアの形成
	110.68 110.74			5YR 8/2 灰褐	✓ c	✓ V	✓ C					110.43 ~ 110.74 m : C _L 断面割れ目と、割れ目の一部で砂状化が起る。
111	111.73		Gp	7.5YR 4/1 暗緑灰	✓ b	✓ IV	✓ B					110.74 ~ 112.03 m : C _M 30~60°の鋭角に割れ目と解理面が分布し、断面割れ目と一部は風化が起る。古地石が伴う。 (112.04 m 以下は) 断面で割れ目状の物はほとんど分布しない。
	111.37 111.54			5YR 8/2 灰褐	✓ b	✓ IV	✓ B					111.13 ~ 111.37 m : 暗緑色化、111.37 ~ 111.54 m : 15%の褐色に断面割れ目と解理面が30~60°を示す。前者は鉄灰石の侵入による、後者は石英石の多量分布による。 両色調境界部はよく露出、破碎中変質は伴わない。
112	112.00 112.04		Gp	5YR 8/2 灰褐	✓ b	✓ IV	✓ C					112.04 m 以下は研究の主体で、一部の割れ目は古地石の侵入による風化が起る。粘土化や鉄灰石の分布は、全体的に少なく、断面で顕微鏡に受ける。割れ目の面には多少黒褐色化が起る。
	112.07			2.5YR 7/2 明褐灰	✓ c	✓ V	✓ D					112.03 ~ 112.07 m : C _L 断面割れ目と砂状化の進みは少ない。 112.03 ~ 112.07 m : 消滅(2%)、消滅(10%)の分布が起る。 112.10 ~ 112.13 m : 574.25 g/l 以下に分布し、碎塊状化(2%)。
113	113.31		Gp	2.5YR 8/2 灰褐	✓ d	✓ VI	✓ E					112.03 ~ 112.07 m : C _L 断面割れ目と砂状化の進みは少ない。 112.03 ~ 112.07 m : 消滅(2%)、消滅(10%)の分布が起る。 112.10 ~ 112.13 m : 574.25 g/l 以下に分布し、碎塊状化(2%)。
	113.51 113.56 113.60			2.5YR 8/2 灰褐	✓ d	✓ VI	✓ E					113.51 ~ 113.60 m : 石灰質帯 (3%の石灰質、113.56 m) 113.51 ~ 113.56 m : H _J 上部は60°、下部は60°の鋭角に割れ目と解理面が分布し、断面割れ目と一部は風化が起る。古地石が伴う。 色調は灰褐色(2.5YR 8/2)、厚さ20~25 mm。 113.56 m/H _J -1 66°の鋭角に割れ目と解理面が分布し、断面割れ目と一部は風化が起る。古地石が伴う。 色調は灰褐色(2.5YR 8/2)、厚さ1~2 mm。 113.56 m/H _J 上部は60°、下部は60°の鋭角に割れ目と解理面が分布し、断面割れ目と一部は風化が起る。古地石が伴う。 色調は灰褐色(2.5YR 8/2)、厚さ1~2 mm。 113.60 ~ 114.00 m : D 断面割れ目と砂状化の進みは少ない。
114	114.00		Gp	2.5YR 8/2 灰褐	✓ c	✓ V	✓ C					113.60 ~ 114.00 m : D 断面割れ目と砂状化の進みは少ない。
	114.73			2.5YR 8/2 灰褐	✓ d	✓ VI	✓ E					114.00 ~ 114.73 m : C _L 高角と低角の割れ目と解理面が分布し、断面割れ目と一部は砂状化の進みは少ない。
115				2.5YR 8/2 灰褐	✓ d	✓ VI	✓ E					114.73 ~ 115.52 m : D 風化が起る。断面割れ目と砂状化の進みは少ない。

調査名		孔番・深度		観察日									
		H27 B-1 (115 ~ 120)											
標尺 115 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等	
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質
05	115.52				d	VI	E	E	3				115.28 m 以下深部は 割れ目の一部が残留して。
116			2.5YR 7/2 明褐灰							0	3	D	115.52 ~ 118.26 : C ₂ 50~70°の高角割れ目と30°前後の低角層状割れ目からなる割れ目の多量に砂状化部を粘土は分布せず。
05			Gp		c	V	C		2				
117	116.87				x	x				0	5	CL	116.87 ~ 118.26 m : 割れ目部に砂状化は進んでいない。高角10~30°の硬土の主体。
05			2.5YR 8/3 灰褐色										116.87 ~ 117.00 m は 10/10 程度の硬土。粘土は割れ目や割れ目の砂状化部分の流土状の土を定めた。
118	118.28									0	3		割れ目は 50~70° と 40° 前後の 40° 前後が多。交差部には 45% 前後の細粒代りも有り。
05			2.5YR 8/3 灰褐色										50~70° 割れ目は 40° 割れ目と加えて分布する。
118	118.63												118.10 ~ 118.63 m : 割れ目の一部は軽微な 10~20° 磁鉄受有り。
05			2.5YR 8/4 灰褐色										118.26 m 以下深部は 上部割れ目より割れ目の砂状化が進んでいない。 一部は厚1~2%の純粘土は有り
119	118.80												118.63 ~ 118.94 m : D 砂状化は 5% 以下。粘土は 5% 程度の 5~10% 程度の 5° 前後の割れ目部分に分布する。
05			10YR 5/4 黄褐色										●118.94 ~ 119.10 m : 粘土帯 (主断面 1/10 m) 118.94 ~ 119.10 m : H ₁ この帯は 7割 50° 前後の連続的な連続。主断面平均の割れ目と 20% 前後の割れ目割れ目 5% 中 5~10% の砂状化 (粘土層) と 1割 10~20° の砂状化 (粘土層) の分布。色調は 10YR 5/4、厚 1.60 m (10YR 5/4)。
119	119.10												119.10 ~ 119.12 m : H ₂ -2 50° 前後の連続的な、下部は 10° 前後の連続的な 5~10% の砂状化、43~10% 粘土と 10~20% の粘土層 (10YR 5/4) の分布。色調は 10YR 5/4、厚 1.15 m。 粘土中には、表面が 20% の粘土 + 1% の砂状化部。粘土と 5割 ~ 2割 の割れ目 2% の割れ目は 5% 前後の砂状化有り。
05			2.5YR 7/2 灰褐色										119.12 ~ 119.30 m : C ₂ 50~70° 高角割れ目と 30° 前後の低角層状割れ目からなる割れ目の多量に砂状化部を粘土は分布せず。
120	120.00									6	4	CM	

調査名

孔番・深度 427 B-1 (120 ~ 125)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 120 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化 変質			
05	120.78				V b	IV ✓	B ✓		25 ✓	15 ✓	CMV
05	122.00		Gp ✓	スフィ % 75% ✓	X	III ✓	B ✓	β	34 ✓	24 ✓	CHV
05	123.00				B 2	IV ✓	B 1		0 ✓	5 ✓	CMV
05	124.76			スフィ % 75% ✓					0 ✓	0 ✓	

119.30~120.78 m: CM
 一部で巻層度の低い割れ目や中層割れ目が多い。119.2
 の付近で合流・細粒化が見られ、割れ目の面は新鮮で
 未風化。

120.78 ~ 122.00 m: CH
 130~140° 間で中層割れ目と約10% 間隔で分布。

122.00 ~ 123.06 m: CM
 一部で巻層度の低い割れ目や中層割れ目が多い。
 22° 傾斜割れ目代りが多い。
 割れ目の面は122° 新鮮で未風化。

123.38 m 割れ目交差部で傾斜 = 3% 傾斜化が見
 られ、傾斜部が粗粒化部では見られない。

124.54 m、65° 割れ目の厚さ% 2.2% 緑色粘土が
 付着している。

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 125 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
125	125.00				IV	IV				CMV		
	125.28				b ₂	B				CLV		
126	127.16		gp	25YR 6/1 褐灰			β	2	0	8		
	127.60				b ₂	B				CMV		
127	127.16								10	10		
	127.60											
128	128.08			25YR 6/3 灰褐色			δ		0	9	CLV	
	128.35				b ₂	B	γ	2		CMV		
128	128.64			10YR 1/2 灰変色							CLV	
	128.88				b ₂	B	δ	2				
129	129.00			25YR 6/1 褐灰					0	8		
	129.91				b ₂	B	γ	2		CMV		
130	129.91										CMV	

125.06 ~ 125.28 m : CL
 上部は細粒の角閃岩 (200 μm) の付着は認めない。

125.28 ~ 127.60 m : CM
 同一割れ目と平行方向の層割れ目や垂直度の低い割れ目を含む。127.20 m 付近の一部は角閃岩・輝石化部。
 127.16 ~ 127.25 m (16) : 2層の角閃岩以外は角閃岩・輝石化。

127.16 ~ 127.25 m (16) は約 10% 前後の角閃岩 (200 μm)。下部の 450 μm 割れ目面は約 10% の角閃岩・輝石化部。

127.60 ~ 128.08 m : CL
 厚さ 5 ~ 10 μm 程度の片状の輝石で持雑物は下部の 128.05 ~ 128.08 m の約 30% 輝石部を含む「輝石砂」状の層が認められる。角閃岩・輝石化部は認めない。

128.08 ~ 128.64 m : CM
 層割れ目面は角閃岩・輝石化部。正交輝石の角閃岩・輝石化部は認めない。

128.64 ~ 128.88 m : CL
 約 10% 前後の細粒の角閃岩・輝石。正交輝石の角閃岩・輝石化部は認めない。角閃岩・輝石化部は認めない。

128.88 ~ 129.91 m : CM
 約 70% の角閃岩・輝石。30 ~ 40% の角閃岩・輝石の交差部は約 10% 前後の片状の角閃岩・輝石。角閃岩・輝石化部は認めない。

129.91 ~ 131.93 m : CL

調査名

孔番・深度 H27 B-1 (130 ~ 135)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 130 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
	05											
	131		Gp	2.5YR 5/1 褐灰	b	III	B		26	16	CHV	
	05											
	132	131.93			X		B	2	53	28		
	05											
	133				b	IV	B1		11	11	CMV	
	05											
	134								8	7		
	05											
	135								0	9		

一部のコアには割れ目や亀裂が認められる。130-05m 付近の亀裂(縫合・細片状)は多い。

131.40 ~ 131.52 m 間は 20-30% の角砕化 (200 μ 以下) が認められる。また、この区間で亀裂(縫合)の発生が観察された。

131.93 ~ 132.07: CM
この区間で亀裂の発生が認められる。縫合の割合は 10% 程度が多い。
割れ目の中には、部分的に砂状部が認められる。塊状物を含む (b) 割れ目の存在。

132.07 ~ 132.24 m 間は 10-20% の角砕化が認められる。割れ目には 20% 程度の塊状物が認められる。微細な亀裂が認められる。縫合は認められる。

133.10 ~ 134.00 m 間は 10% 程度の角砕化が認められる。縫合の割合は 10% 程度が多い。中 10% 程度の割合で認められる。

134.22 m 50% 割れ目を含む 20% の 5-10 μ の細片状化 (200 μ 以下) が認められる。縫合は認められる。縫合は認められる。

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 135 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化 変質			
	0.5										
	136										
	0.5				✓b	✓IV	✓B	✓β			✓(M)
	137		Gp [✓]	2.5YR 6/1 褐色					11	11	
	0.5										
138	138.07								0	6	
	138.44										
	0.5										
	138.80										
	0.5										
139	139.18								23	12	
	0.5										
	139.82										
	139.88										
	139.95										
140											

135.80 ~ 136.00 m 4割割れ目あり、割れ目、長さ10~30%程度に細砕化あり。

137.00 ~ 138.07 m 4割割れ目あり、割れ目、長さ10~30%程度に細砕化あり。また、割れ目、長さ10~30%程度に暗緑色の鉄泥斑点を認められる。

138.07 ~ 138.44 m : CL
割れ目の多い中割れ目も多く含む。全体は「C」で表す。岩石の風化が割れ目内にはほとんど認められない。2~3%暗緑色の鉄泥斑点を認められる。

138.44 ~ 138.80 m : CH
暗緑色の鉄泥、中割れ目あり、割れ目、長さ10~30%程度に細砕化あり。

138.80 ~ 139.18 m : CL
139.18 m 以上は「C」で表す。割れ目、長さ10~30%程度に細砕化あり。全体は割れ目内にはほとんど認められない。

139.18 ~ 139.82 m : CL
60~70°傾斜、10%程度に細砕化あり。割れ目、長さ10~30%程度に細砕化あり。全体は割れ目内にはほとんど認められない。

139.82 ~ 139.88 m : CL
30~40°傾斜、20%程度に細砕化あり。割れ目、長さ10~30%程度に細砕化あり。全体は割れ目内にはほとんど認められない。

139.88 ~ 139.95 m : CL
20~30°傾斜、20%程度に細砕化あり。割れ目、長さ10~30%程度に細砕化あり。全体は割れ目内にはほとんど認められない。

139.95 ~ 140.00 m : CL
20~30°傾斜、20%程度に細砕化あり。割れ目、長さ10~30%程度に細砕化あり。全体は割れ目内にはほとんど認められない。

138
5
141

調査名		孔番・深度		1127 B-1 (140 ~ 144)		観察日					
標尺 140 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地層名	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ				
140	140.03		Gp								52°E 直線的に連続。角路砂礫石質粒、各片に含まれる 砂礫石(10%)。色調は暗緑灰(59%)~灰褐色(75%) 厚2.5~1mm 139.82~139.88m: 4J 52°E 下部は直線的に連続。中3~5%の粗粒 岩片状。各片角10°の形状(粗粒の主体)。各片の多くは 主軸が西方向に配列している。各片の「砂礫石岩片状」 に至る。色調は暗緑灰(10%)。厚40mm
	05			25YR 8/1 褐灰	✓ b	✓ IV	✓ B	✓ r	✓ 2	✓ 10	
141	141.27		Gp								139.88~139.95m: D 主軸が西・南に延びる割目が多い。角路砂礫石質 139.95~140.03m: Cc 「硬」岩主体。 140.03~141.27m: CM 暗緑色割目が多い。可成り10cm以下の細粒状の主体 割目状に分布する。 141.27~142.31m: CL 幅割目や密度が低く、割目が多い。 141.5m 以下は割目で水起因の砂と暗緑色 粘土質の塊状物が多く、全体の割目が多い。 141.55m 以下は割目状の塊状物の割目が多い。
	05	141.55		25YR 7/2 明褐灰	✓ c	✓ V	✓ D	✓ r	✓ 2	✓ 10	
142	142.31		Gp								142.31~144.00m: 5AY 各片14~20cm (厚2~3cm)。 143.36~144.00m 以下は割目が多い。暗緑色に2割1/4 程度の砂と粘土質の塊状物に2割1/4割目が多い。
	05			25YR 8/1 灰褐	✓ b	✓ IV	✓ B	✓ r	✓ 2	✓ 10	
143	143.36		Gp								143.93m 以下は割目周辺の暗緑色地帯の時、
	05			25YR 8/1 灰褐	✓ c	✓ IV	✓ B	✓ r	✓ 2	✓ 10	
144	144.00		Gp								(21頁)
	05			25YR 8/1 灰褐	✓ c	✓ IV	✓ B	✓ r	✓ 2	✓ 10	

138~
141
↑
210

余白

第四系コア観察カード

調査名		孔番		観察日			
[Redacted]		H27 B-2		[Redacted]			
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカ- 灰物 山質 土質 化石 貝片 木片	地質名	色調	堆積構造・特徴等
0					コンクリート		
	0.70m						
	1.00m				砂利		
						10YR 4/2 灰黄筭	1.00 ~ 2.00m 粗粒 径0.05 ~ 2.0mmの中粒砂~ 極粗粉砂主体の盛土 ・淘汰は良い
	2.00m				盛土		
							2.00 ~ 3.40m 粗粒 径0.05 ~ 2.0mmの中粒砂~ 極粗粉砂主体の盛土 ・淘汰は普通 ・10 ~ 50mmの礫で複数含ま
	3.00m						
	3.40						
							3.40 ~ 4.00m 粗粒 径0.05 ~ 2.0mmの中粒砂~ 極粗粉砂主体の盛土 ・淘汰は良い
	4.00m						

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ○ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

第四系コア観察カード



調査名		孔番	H27 B-2	観察日	
-----	--	----	---------	-----	--

標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカー	地質名	色調	堆積構造・特徴等
				山灰物 山質 炭土 貝化石 燧石			
4.00	4.10				盛土	10YR 6/4 10YR 6/4 10YR 6/4	
5.00					盛土		
6.00					盛土		
7.00	7.00				盛土	2.5YR 5/4 10YR 6/4	
8.00					盛土		

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

第四系コア観察カード

調査名		孔番		観察日			
[Redacted]		427 B-2		[Redacted]			
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカ- ○ r /// 0 □ 山灰物 炭質土 化石 具木片	地質名	色調	堆積構造・特徴等
8.00						7.5YR 5/4	
	8.50					10.5YR 6/1 灰褐	
9.00	9.00					7.5YR 4/1 褐灰	
						7.5YR 4/1 褐灰	
10.00						10YR 7/6 明黄褐	
	10.50					10YR 6/6 明黄褐	
11.00	11.00					10YR 6/8 明黄褐	
	11.50						
12.00	12.00						

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ○ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

第四系コア観察カード

調査名		孔番		観察日		
		H27-B-2				
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	マーカ-	地質名	色調	堆積構造・特徴等
			山灰物 炭質土 化石 具木片			
	12.33m		盛土	ヌメ	10YR 4/6 黄緑	12.33~12.75m 礫率70~80%でクサリ礫を多し ・礫種はGpと一部Apで礫径は2~100mmで一部最大径200mmの礫が認められる ・亜角礫が主体 ・12.68~12.80m 付近にマ・カン濃集部が認められる
	12.75			砂礫	10YR 4/4 褐	
13.00m	13.00			礫混じり砂	10YR 5/1 褐	
	13.53m			礫混じり砂	2.5YR 6/4 赤	
	14.00m			青岩	10YR 5/1 褐	12.75~13.00m 礫率5~10%でクサリ礫を多し ・礫種はGpで礫径は2~10mm ・亜角礫が主体
	15.00m					
	16.00m					

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ○ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等
 境界 明瞭 — 不明瞭 - - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長 ROD	岩級区分	破碎度区分	<h2 style="text-align: center;">基盤岩コア観察カード</h2> <p style="text-align: center;">記事・破碎性状・詳細スケッチ等</p>
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				

11.00m													
12.00m													
13.00m													
13.53m				7.5YR 7/3 R3.5 橙					3				<p style="text-align: center;">「中四半期地層」の「多照」</p> <p style="text-align: center;">↑</p> <p>13.53 ~ 14.00m : CL</p> <p>「多照」は伴って、0 ~ 30° 割れ目があり、全体の風化し、一部の割れ目には砂状の充填物がある。</p>
14.00m	14.00		GP	10YR 7/3 R3.5 黄橙					3				<p>14.91m 付近 幅4mで傾斜15°の石英脈が認められる。</p> <p style="text-align: center;">※ 詳細スケッチ</p>
14.55m									3				<p>14.55 ~ 14.68m 付近 割れ目沿いにマンガンの濃集部が認められる。一部(14.55 ~ 14.65m)で土砂化が生じている。</p>
14.89m													<p>14.89 ~ 15.00m スライムのため判別不可</p>
15.00m													

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
	15.07		スライム	7.5YR 7/2 明細反	x	x	x	x	x	x	x	15.00 ~ 15.09m スライムのため判別不可	
												15.62 ~ 15.66m スライム 割れ目に沿ったマンガン濃集部あり	
												15.80 ~ 16.00m スライム 割れ目に沿ったマンガン濃集部あり	
16.00m					✓	▽	▽						
												16.50 ~ 16.51m スライム 割れ目に沿って緑泥石が発達	
												16.76 ~ 16.86m スライム マンガン濃集部が密集している	
17.00m	17.16		GpV		x	x	δ	3			CL	16.92 ~ 16.93m スライム 割れ目に沿ったマンガン濃集部あり	
												17.10m スライム 割れ目に沿ったマンガン濃集部あり	
												17.16m スライム 上層に比べ割れ目が少なくて可	
05												17.59 ~ 17.64m スライム 割れ目に沿って緑泥石が発達	
												17.90 ~ 17.80m スライム 割れ目に沿ったマンガン濃集部あり	
18.00m												17.90 ~ 17.94m スライム 割れ目に沿ったマンガン濃集部あり	
05	18.57			7.5YR 7/4 明細反									
19.00m									✓	10			
05	19.59				x	x						19.59 ~ 19.80m 10% 粒度100μm以下に 200μm 石英を伴う	
	19.70				✓	▽						19.70m 以下は17.16mと同様の状態あり	
	19.80				x	x	ε	3					
20.00m				7.5YR 7/2 明細反	✓	▽	▽	δ					

調査名		孔番・深度		H27 B-2 (20 ~ 25)		観察日						
標尺 2.0 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
0.5												
2.1					✓ 14	D	3	✓ 12	✓ 12			20.90 m 割れ目径約 10 μm 砂状化。
0.5												21.90 m 約 10 μm 石英 0.80 割れ目 (sj) の分布 (2.2 ~ 10 μm)
21.79					* *							21.79 ~ 22.02 m 硬さ「c」の存在と「硬さ」D」も含有 両者が交互に出現する。割れ目径に風化の砂状化の部分が多い。
22			Gp	25YR 7/2 ✓ 明褐色				✓ 0	✓ 8			22.18 ~ 22.49 m 硬さ「B」の硬質
0.5												
23					c	14	C	3	✓ 23	✓ 23		23.52 ~ 23.82 m 20 μm 割れ目径厚さ 1 μm 円筒状の灰褐色粘土脈の存在
0.5												
24								✓ 27	✓ 15			
0.5												
25								✓ 0	✓ 7			

基盤岩コア観察カード
 記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 25 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化			
	25.51										25.51m 20° 割れ目には 40.5% ~ 1% の微細な雲 ⇒ (セリヤ?) の混入 (20%)
	26.04										26.04m 74° の割れ目 (S) は 交差角 5~10° 割れ目 20.20 (右側、混入量 1~3%)
	26.82		Gp	2.5R 1/2 明褐色	X	X					26.82m 以降は 硬さ 2.0 の主体となる
	27.15										27.15m 65° 割れ目には 高 2~3% の軟質浸染層が 分布している
	28.02										28.01m 20° 傾角 1% の薄層の交差角 85° の割れ目 (S) と 右側 1% の 2° 傾角の割れ目に 混入 (20%) (加中 は 20%)
	28.02										28.02m 以降 10% の傾角の 70° 割れ目、 傾角 10° の 20% 混入 (20%) 割れ目には 70° 傾角の 20% 混入
	29.00										
	29.88										29.88~30.82 10% の 20° 傾角の 20% 混入
30	30.00										

2.5R
1/2
明褐色

調査名		孔番・深度		観測日								
		H27B-2 (30~35)										
標尺 30 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
30	32.10		254R 7/2 明揚灰								同化の割れ目等には砂粒化の跡(2m). φ<20%の砂粒化の砂粒の多い層部、また砂 粒状の砂粒部が主体で砂粒、圧縮粘土部が散在して いる。 層組織の一部の割れ目は滑り(2m)	
	30.70											
31	30.82		104R 7/2 R200 黄褐色								30.82~31.15m: CL 割れ目には砂粒化の跡(2m)	
	31.15											
31	31.24		254R 7/3 R200 黄褐色								HJ Hb Hc-2 31.15~31.66m: 破碎帯 (主断面 2.29m) 31.15~31.34m: HJ 上端20°近縁的、下端15~20°で連続(2連続)、一部粘土化 φ<10%層部と層内層の粘土(層1~2%)粘土層が あり粘土の多い層部、全部、色調はR200黄褐色(104R 7/2) 厚さ20~30% 31.24~31.28m: Hb 上端15~20°で連続(2)、下端30°で連続(2連続)、φ<3% 粘土化、φ<10%の粘土の粘土(粘土)粘土層計20~30%を含む 粘土の「粘土層」は厚さ、色調はR200黄褐色(254R 7/3) 厚さ20~30% 31.28~31.29m: Hc-2 30°上端粘土化、下端15°近縁的に連続 φ<3% 粘土化、φ<10~20%含む粘土(粘土)。色調はR200黄褐色 (104R 7/2、厚さ5~10%) 31.29~31.66m: HJ 上端30°近縁的、下端15°で連続(2連続)、φ<20% 粘土化、粘土(粘土、粘土)を含むと層内層の粘土が あり粘土の多い層部、全部、色調はR200黄褐色(254R 7/3) 厚さ35% (27%)	
	31.66											
32	31.78		254R 7/2 灰褐色								CL 31.66~32.56m: D 同化の割れ目等には砂粒化の跡(2m) 層組織は粘土層部、割れ目は滑り(2m)の多い。 φ<10%の粘土の粘土層部は厚さ、 32.00~32.25m: 粘土化層、層組織不明瞭と見られる。 32.35~33.4m: 砂粒の多い層部。 33.60m: φ<10%粘土の粘土層部 33.77m: φ<5~10%の粘土の粘土層部が粘土に分解 33.79~33.87m: 砂粒の多い層部 33.96m: 粘土化層、層組織不明瞭と見られる。粘土の多い層部 割れ目の一部は滑り(2m)の多い。	
	32.56											
33	33.96		254R 7/2 明揚灰								Hc-1 Hb 34.37~34.48m: 破碎帯 (主断面 0.437m) 34.37m: Hc-1 13°上端近縁的、下端15°で連続、φ<10%粘土層部が (粘土)を含む粘土(粘土)。粘土はφ<10%の粘土 2%粘土化層部が厚さ、φ<10%粘土層部。 色調はR200黄褐色(104R 7/2)、厚さ20~30% 34.37~34.48m: Hb 上端15°粘土化、下端20°で連続的に連続、φ<3%粘土層部	
	34.37											
34	34.48		254R 5/3 R200 黄褐色								34.48~34.98m: D 同化の割れ目等には砂粒化の跡(2m) 層組織は粘土層部、割れ目は滑り(2m)の多い。 φ<10%の粘土の粘土層部は厚さ、 34.98~35.00m: 粘土化層、層組織不明瞭と見られる。	
	34.98											
35												

調査名		孔番・深度		観察日									
標尺 40 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破砕性状・詳細スケッチ等	
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質
	40.23		Gp	25YR 7/2 明緑砂	✓	✓	✓					Dv	39.20 ~ 40.23m : D 粘組織と割れ目は粘質。一部に割れ目により厚さ10%程度の砂化。
05	40.73	25YR 7/2 明緑砂		x	x								CL
41	41.90			25YR 7/4 明緑砂		✓	✓	δ	3	✓	✓	CL	
05	41.37								✓	✓	Dv		41.90 ~ 43.94m : D 粘質砂と硬さ10%程度の砂化砂。粘質砂と硬さ10%程度の砂化砂。粘質砂と硬さ10%程度の砂化砂。
42	43.94			10YR 7/4 明緑砂	c	✓	✓	E		✓		✓	Dv
05									✓	✓	Dv	43.46 ~ 43.55m : 粘質砂と硬さ10%程度の砂化砂。粘質砂と硬さ10%程度の砂化砂。	
43	43.94				x	x				✓		✓	CL
05	44.20			25YR 7/2 明緑砂	c	✓	✓	δ		✓	✓	CL	
44	45.00									✓	✓		CL
05										✓	✓	CL	
45									✓	✓	CL		
									✓	✓		CL	

標尺 45 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの種さ	風化	変質				
													45.10 ~ 45.25 " 硬く「C」の硬質部が分布
05				2.5YR 7/2 明褐色	✓ C	✓ V	✓ D	✓ δ	3				
46	45.96				✓ C	✓ V	✓ D	✓ γ	2	0	3	CL	45.96 ~ 46.01 " 1割は硬く「C」の硬質。割れ目は厚さ1~2% 程度で分布している。
05	46.31		Gp		✓ C	✓ V	✓ D	✓ δ					
47	47.06				✓ C	✓ V	✓ D	✓ δ		0	5		46.74 ~ 46.85 " 割れ目は2%程度の硬く「E」の主 47.90 ~ 47.96 " 硬く「E」の硬質部が1~3%程度の硬 質部で分布している。主部の硬く「C」の硬質。
05	47.50		F	10YR 5/3 黄褐色 （細砂）	✓ d	✓ V	✓ E	✓ ε	3			DV	47.06 ~ 47.50 m : D 高組織と割れ目は消滅している。 硬く「D」主部の厚さ10%の細砂部が分布。
48	47.90			2.5YR 7/2 明褐色	✓ C	✓ V	✓ D	✓ δ		0	4	CL	47.50 ~ 47.90 m : CL 47.85m以上は硬く「D」主部、47.85m以下は硬く「C」 主部、47.85m以下は硬く「E」割れ目は一部に分布 している。高組織の硬質化（2割）。
05	48.52				✓ E	✓ IV	✓ C	✓ 2					48.12 ~ 48.16 " 上端部、下端20%の割れ目と同程度の硬 質部が分布している。 48.40 ~ 48.49 " 上と同程度の硬質部が分布している。 48.49 ~ 48.88 m, 60%割れ目主部、割れ目は均等に分布 している。1.5%割れ目付主部（硬質部と同程度の硬）
49	48.92				✓ E	✓ V	✓ D	✓ 4		0	8	DV	48.88 ~ 48.92 m : 破砕帯（主部は硬く「E」） 48.88 m : H-2 48.88m以下は均等に硬質部が分布している。硬質部は20% 程度で均等に分布している。色調は均一（10YR 5/3） 厚さ1%、2割程度の硬質部が分布している。
05	48.88			2.5YR 7/3 明褐色	✓ C	✓ V	✓ D	✓ δ	2			CL	48.88 ~ 48.92 m : H-2 上端5%、下端5%の硬質部が均等に分布している。硬質部は20% 程度で均等に分布している。硬質部は20%程度で均等に分布 している。下端部は2割程度の硬質部が分布している。 色調は均一（10YR 5/3）硬質部（10YR 5/3）厚さ 20%。
50									14	14			48.92 ~ 52.42 m : CL 均等に硬質部が分布している。

48.55

調査名

孔番・深度

H27B-2 (50 ~ 55)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 50 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
0.5				2.5YR 7/3 細粒	✓ c	✓ IV	✓ c	δ	2			
5.1										✓ 10	✓ 10	
0.5	51.51				X		X					C _L ✓
5.2			Gp	10YR 7/3 細粒	✓ c	✓ V	✓ B	δ	3	✓ 10	✓ 9	
0.5	52.42				X							
5.3					c	✓ IV	✓ B	γ	2			C _M ✓
0.5	52.99				X					✓ 11	✓ 11	
5.3					c	✓ V	✓ B	δ				C _L ✓
0.5	53.20				X							
5.3					X	✓ VI	✓ E	E				D ✓
0.5	53.55				X							
5.4				2.5YR 7/2 細粉灰	✓ c	✓ IV	✓ D	δ	3			C _L ✓
0.5	54.10									✓ 0	✓ 4	
5.4												
0.5	54.60			10YR 7/3 細粉灰	✓ d	✓ VI	✓ E	E				D ✓
5.4												
0.5	54.72											
5.4												
0.5	54.79			2.5YR 7/1 細粉灰				δ	4	✓ 0	✓ 4	
5.5												
0.5	55.00											

49.00 ~ 49.34 m 割目部は白色の砂状の硬質の砂岩
- 割目部は白色の砂状の硬質の砂岩、外層は硬質の砂岩(20%)
割目部は白色の砂状の硬質の砂岩、外層は硬質の砂岩(20%)
硬質の砂岩(20%)、白色の砂状の硬質の砂岩(20%)
硬質の砂岩(20%)、白色の砂状の硬質の砂岩(20%)

51.15 ~ 51.50 m 上層部の石英質の砂岩(5~15%)
大型の(上層部は砂岩(5%)
51.51 m 以上層部の砂岩、割目部の砂岩
の硬質の砂岩(10~30%)
52.10 ~ 52.22 m 細粒の粗粒の砂岩

52.42 ~ 52.99 m = CM
割目部は硬質の砂岩(一部は硬質の砂岩)
割目部は硬質の砂岩(2~3%)

52.99 ~ 53.20 m : C_L
割目部は硬質の砂岩、外層は硬質の砂岩
53.20 ~ 53.55 m : D
割目部は硬質の砂岩、外層は硬質の砂岩

53.55 ~ 54.10 m : C_L
割目部は硬質の砂岩、外層は硬質の砂岩

54.10 ~ 54.72 m : D
割目部は硬質の砂岩、外層は硬質の砂岩

54.72 ~ 54.79 m : Hb
54.79 ~ 55.00 m : Hb
上層部は硬質の砂岩、外層は硬質の砂岩

48
51
52
53
54
55

53
54
55

調査名

孔番・深度 H27 B-2 (55 ~ 60) 観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 55 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
05	55.24			2.5YR 7/1 黄褐色	✓d	✓VI	✓E	δ	4			DV	<p>粘土化率 95~10% 岩片 30~50% 含有 軟質 薄層粘土 質の「凝結」粘土は、層の下部に一部に1層 を調子明層状(5YR 7/2) 厚さ 40~50m ・54.77m: Hc-1 59.20以下端部連続的に連続、硬脆、岩片は粘土含有量の (5%以下) 厚層粘土(粘土)。色調は灰緑(7.5YR 5/6) 厚さ 3m</p> <p>54.77~55.24m: D 全体に粘土化 55.00m以下部には岩片の20% 凝集部は粘土に含む 55.00m以下部には白色粘土部と赤褐色粘土部と 多量含む。</p> <p>55.24~57.70m: C_L 深部「D」岩片の主体 割れ目による風化の進行部は硬質の岩片と軟質の砂状部 も分布する。 割れ目による20% 凝集部と、割れ目面と同程度の粘土化の 多量。</p> <p>56.03~57.00m には 割れ目による風化の進行部は、凝集部 は20% 凝集部と粘土化の進行部と分布する。</p> <p>57.00~57.45m は 凝集部の低い割れ目と、 40% 程度に粘土化(2層)。 岩片の硬さは「C」と硬質部が多量含む。</p> <p>57.45~57.70m、割れ目による粘土化の進行、全体に 上位に粘土化の進行。</p> <p>57.70~57.99m: D 凝集部と割れ目による砂状部、全体に風化の砂状化 部と粘土、砂状部の主体となる。</p> <p>57.99~58.28m: C_L 岩片の硬さは 20~30% 割れ目と 10~30% 同程度の凝集 マーン凝集部あり。</p> <p>58.28~58.73m: CM マーン凝集部と割れ目による凝集部、砂状部と粘土の 凝集部は多量含む。</p> <p>58.73~59.71m: C_L 割れ目による粘土化、凝集部の低い割れ目の多量 全体に2層。</p> <p>59.35~59.54m (16) は「C」主体</p>
	56	56.29			7.5YR 7/2 明褐色	✓c	✓V	✓D	δ	3	✓0	✓3	
05	57.45		Gp	10YR 7/2 灰黄緑	✓c	✓V	✓E	δ	3	✓0	✓2	DV	<p>58.73~59.71m: C_L 割れ目による粘土化、凝集部の低い割れ目の多量 全体に2層。</p> <p>59.71~60.00m: D 凝集部と割れ目による砂状部、10% 程度に岩片の凝集部、 「砂状部」を呈する。</p>
	57	57.70		7.5YR 6/3 灰黄緑	✓c	✓V	✓E	δ	3	✓0	✓3	DV	
05	57.99			2.5YR 6/3 灰黄緑	✓c	✓V	✓C			✓0	✓3	C _L	<p>59.71~60.00m: D 凝集部と割れ目による砂状部、10% 程度に岩片の凝集部、 「砂状部」を呈する。</p>
	58	58.28			✓c	✓V	✓C			✓0	✓3	C _L	
05	58.73				✓c	✓V	✓D			✓0	✓9	C _L	<p>59.71~60.00m: D 凝集部と割れ目による砂状部、10% 程度に岩片の凝集部、 「砂状部」を呈する。</p>
	58	58.93			✓c	✓V	✓D			✓0	✓9	C _L	
05	59.35				✓c	✓V	✓D			✓0	✓9	C _L	<p>59.71~60.00m: D 凝集部と割れ目による砂状部、10% 程度に岩片の凝集部、 「砂状部」を呈する。</p>
	59	59.54			✓c	✓V	✓D			✓0	✓9	C _L	
05	59.71				✓c	✓V	✓D			✓0	✓9	C _L	<p>59.71~60.00m: D 凝集部と割れ目による砂状部、10% 程度に岩片の凝集部、 「砂状部」を呈する。</p>
	59	59.93			✓c	✓V	✓D			✓0	✓9	C _L	
05	60.00				✓c	✓V	✓E			✓0	✓3	DV	<p>60.00~60.00m: D 凝集部と割れ目による砂状部、10% 程度に岩片の凝集部、 「砂状部」を呈する。</p>
	60	60.00			✓c	✓V	✓E			✓0	✓3	DV	

調査名

孔番・深度

H27B-2 (70 ~ 75)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破碎性状・詳細スケッチ等

標尺 70 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
0.5					b	IV	B	β	2			CM	<p>割れ目には粘土と存在は分布は、$20 \sim 65 \sim 67^\circ$ と $70 \sim 70^\circ$ と 60° 割れ目 1 に因りて片状化す。 前層の割れ目には 面長 1 ~ 2 cm 片状化。φ 0.5 ~ 1 mm の 塵埃 (セリカ) の 混入 12 層。</p>
71	71.06			2.5YR 6/2 灰褐						37	13		
0.5			Gp		c	D	δ	3				C ₂	<p>71.88 ~ 72.11 m : CM</p> <p>一部にて 片状化 砂岩 部 混入 する。片長 2 ~ 3 cm 程度。存在 部 分布 不均 割れ目 あり。</p>
72	72.68									11	11		<p>72.68 m ~ 74.57 m 割れ目 には 褐色 泥 混入 する。 砂岩 混入 する。</p> <p>74.57 ~ 75.15 m 長 20 cm 以上の 破片 あり</p>
0.5										26	15		<p>75.20 ~ 75.00 m には 20 ~ 30° と 60 ~ 70° 割れ目 の 交差。 交差部 一部 片状 角状 化 砂岩 混入 する。 一部 混入 する。</p>
73					b	IV	B	β	2			CM	
0.5													
74										18	18		
0.5													
75										0	0		<p>74.85 ~ 75.00 m. 割れ目 混入 あり 観察 あり。</p>

調査名

孔番・深度

H27 B-2 (75 ~ 80)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 75 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
	05				✓ b	✓ IV	✓ B	β	2			CM	
	76	76.1								✓ 27	✓ 27		
	05			欠5R b/2 圧縮	✓ c	✓ V	✓ B	γ	2			CL	
	77	77.02	Gp						02	✓ 0	✓ 9		
	05												
	78				✓ b	✓ IV	✓ B	β	2		✓ 27	✓ 15	CM
	05												
	79	79.00								✓ 15	✓ 15		
	05	79.67			✓ c	✓ V	✓ C	γ	3			CL	
	80									✓ 0	✓ 8		

75.65 ~ 75.92 m は内部に中層割れ目と最層の低い割れ目を持つ長さ26cm のコア

76.11 ~ 77.02 m : CL
割れ目の変異は 10 ~ 30% の片状 ~ 角状化が主、
若片自身は 硬質で 軟化は少ない。
一部の割れ目は 1 ~ 5% の細粒状に幅 10% 程度で
開いたもの、27 中層は 15 程度ある。
全体に黒褐色の自溶化が認められる。

77.02 ~ 79.47 m : CM
全体的に硬質で 27.43 ~ 27.60 m 間は
最層の低い割れ目と 27.60 ~ 27.70 m 間は 30% 程度
に角状化、細片化し易い。
27.70 ~ 27.80 m 間は 割れ目と 27.80 ~ 27.90 m 間は
一部の黒褐色化が認められる。
79.21 m 位置で 27 中層の一部で、幅 2 ~ 3% の砂状化が認められ、
27 中層は 割れ目 全体に連続する。

78 m 以降は 厚 10 cm 前後の 27 中層と 27.00、一部の
最層の低い割れ目と 27.00 中層との間。
79.40 m 割れ目と 27 中層との境界が認められる。

79 m 以降は 長石結晶の自溶化が多い。
79.10 m、40 割れ目の幅 10 ~ 15% ほど角状化し、
面状に 0.5 ~ 1 cm 以下の微細な層状 (セリサイト) の結晶が認められる。

79.47 ~ 80.19 m : CL
30 ~ 50% 程度 20 割れ目の変異、変異部の一部で 10% 程度に
細片化。
20 割れ目の一部は 幅 2 ~ 3% の変質 ~ 結晶粗粒化が認められる。
79.83 ~ 79.90 m 割れ目と 27 中層との境界が認められる。
27 中層は 少量の粗粒化が認められる。

調査名

孔番・深度

h27B-2 (80 ~ 85)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 F.D (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化 変質				
05	80.19		Gp	2.5YR 6/2 灰緑	✓	✓	✓	γ 3	20	10	C _L	80.19 ~ 80.48 m: CM 一部のコアの密着度の低い割れ目を含むこと 割れ目状に分布する。
	80.48	✓			✓	✓	β 2	CM			80.48 ~ 83.12 m: CH 堅硬で粗粒の結晶化の密着度。割れ目には地産物 は分布する。 中層割れ目は小さく、密着度の低い割れ目は一部に分布 する程度。 全体で 2 ~ 3% 暗緑色の鉱物(緑泥石)が晶出してい る。 長石の白濁化は殆んど認められない。 81.10 ~ 81.35 m. 2 ~ 5% の斑状にマンガン結晶が 灰緑色を帯び、交代は伴わない。	
05	82.10		Gp	2.5YR 6/2 灰緑	✓	✓	✓	β 2	66	23	CH	82.10 ~ 82.30 m 正化変質が 4 ~ 10% 斑状 ~ 10% 脈状の石英が晶出し、下部は粗粒の硬質と なること。 82.72 ~ 82.86 m. 0.7 m の密着度の低い割れ目を含む
	82.30	✓			✓	✓	β 2	CH			82.72 ~ 82.86 m. 0.7 m の密着度の低い割れ目を含む	
05	83.12		Gp	2.5YR 6/2 灰緑	✓	✓	✓	δ 3	68	45	C _L	83.12 ~ 83.79 m: C _L 83.46 m 以下は 20 ~ 30 割れ目が多く、割れ目には酸化の進行。 マンガン結晶が伴う。若干の粗粒の石英が晶出する 83.46 m 以下は 10 割れ目が多い。硬質の採集物は殆んど 分布する。
	83.46	✓			✓	✓	β 2	C _L			83.46 m 以下は 10 割れ目が多い。硬質の採集物は殆んど 分布する。	
05	83.79		Gp	2.5YR 6/2 灰緑	✓	✓	✓	β 2	11	11	CM	83.79 ~ 84.43 m: CM 堅硬 84.35 ~ 84.38 m 20 ~ 15 割れ目と 2 ~ 3 mm の粗粒の石英が 10 割れ目状に分布する。 一部は中層割れ目に分布する。密着度の低い割れ目は分離 している。
	84.43	✓			✓	✓	β 2	CM			84.35 ~ 84.38 m 20 ~ 15 割れ目と 2 ~ 3 mm の粗粒の石英が 10 割れ目状に分布する。 一部は中層割れ目に分布する。密着度の低い割れ目は分離 している。	
05	84.61		Gp	2.5YR 6/3 灰緑	✓	✓	✓	γ 2	12	12	C _L	84.43 ~ 84.61 m: C _L 硬質で粗粒の結晶化。多量割れ目とマンガン結晶と酸化。非均質 84.61 ~ 85.50 m: C _L 硬質で粗粒の結晶化。 一部割れ目には 10 ~ 15 mm の粗粒の石英が分布する。 石英の白濁化は一部に認められる。
	84.61	✓			✓	✓	δ 3	C _L			84.61 ~ 85.50 m: C _L 硬質で粗粒の結晶化。 一部割れ目には 10 ~ 15 mm の粗粒の石英が分布する。 石英の白濁化は一部に認められる。	

85.00
↓
84.5
84
83

調査名

孔番・深度 H27B-2 (85 ~ 90)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 85 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
				割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				変質
	85.24			✓	✓	✓			C2	85.15m, 50°幅5% 軟質圧砕粘粒土にむ。	
	85.55			✕	✕	✕			D	85.24 ~ 85.35m 砂化粘粒土にむ。40°新法の一部に砂質	
	85.50			✓	✓	✓			C2		
	85.50			✓	✓	✓			D	85.50 ~ 85.58m : D 粘粒土にむ。	
	85.63			✓	✓	✓			Hj	85.58 ~ 85.76m : Hj 破砕帯 (主断面85.63m)	
	85.64			✓	✓	✓			Hj	85.58 ~ 85.63m : Hj	
	85.76			✓	✓	✓			Hj	85.58 ~ 85.63m : Hj	
86				2.5YR 5/3 に少し 揚	✓	✓			0	2	上端40°の連続的に、下端40°の一部不明部分の連続的に連続 85°~10°の粗粒と粘片間の粗粒部0.5割に粘粒土混じり 状に呈す。上端付近に幅5%石英脈が主断面にむ 同方向に分布部が途中で消滅す。 色調は灰黄(2.5Y7/2)、厚さ55mm
	86.52				✓	✓			3	3	85.63 ~ 85.64m : Hc-2 下端に粘粒土連続。 40°上端は一部不明部分の連続的に連続。82°~3mm石英 粒、85%硬さの粘片と10%含む軟質粘土(0.5%)。 色調は淡黄(2.5Y7/3)、厚さ55mm
	87.47				✓	✓			0	4	85.64 ~ 85.76m : Hj 上端40°の連続的に、[端32°幅1.2%の軟質粘粒土(2.5Y7/2) 粘粒土に連続的に連続。主断面同方向に斜交に割れ目 85°~10°に粘片化し、粘片間の一部は粘土に砂化し、 幅1%の白色(2.5Y7/2)粘粒土が、85.68m、53°の粘 土に砂化し、これ以降一部で粘粒土が連続して砂化し、 全体は「粘土・砂泥の粘片」呈す。 色調は淡黄(2.5Y7/3)~1.0に粘揚(7.5YR5/3)、厚さ100~120mm
87			Gp		✓	✓			0	4	85.76 ~ 87.47m : C2 86.52 ~ 87.47m : C2 86.52 ~ 87.47m : C2 86.52 ~ 87.47m : C2 粘粒土に連続的に連続。主断面同方向に斜交に割れ目 85°~10°に粘片化し、粘片間の一部は粘土に砂化し、 幅1%の白色(2.5Y7/2)粘粒土が、85.68m、53°の粘 土に砂化し、これ以降一部で粘粒土が連続して砂化し、 全体は「粘土・砂泥の粘片」呈す。 色調は淡黄(2.5Y7/3)~1.0に粘揚(7.5YR5/3)、厚さ100~120mm
	87.90				✓	✓			22	12	87.47 ~ 87.90m : C4 砂質、厚さ一部は白化す。 一部で粘粒土に連続的に連続。主断面同方向に斜交に割れ目 85°~10°に粘片化し、粘片間の一部は粘土に砂化し、 幅1%の白色(2.5Y7/2)粘粒土が、85.68m、53°の粘 土に砂化し、これ以降一部で粘粒土が連続して砂化し、 全体は「粘土・砂泥の粘片」呈す。 色調は淡黄(2.5Y7/3)~1.0に粘揚(7.5YR5/3)、厚さ100~120mm
	88.38				✓	✓			3	3	87.90 ~ 88.38m : C2 割れ目一部は白化し砂化す。 粘粒土に連続的に連続。主断面同方向に斜交に割れ目 85°~10°に粘片化し、粘片間の一部は粘土に砂化し、 幅1%の白色(2.5Y7/2)粘粒土が、85.68m、53°の粘 土に砂化し、これ以降一部で粘粒土が連続して砂化し、 全体は「粘土・砂泥の粘片」呈す。 色調は淡黄(2.5Y7/3)~1.0に粘揚(7.5YR5/3)、厚さ100~120mm
	88.43				✓	✓			3	3	88.38 ~ 88.43m : Hj 50°上端は連続的に連続。粘粒土に連続的に連続。主断面同方向に斜交に割れ目 85°~10°に粘片化し、粘片間の一部は粘土に砂化し、 幅1%の白色(2.5Y7/2)粘粒土が、85.68m、53°の粘 土に砂化し、これ以降一部で粘粒土が連続して砂化し、 全体は「粘土・砂泥の粘片」呈す。 色調は淡黄(2.5Y7/3)~1.0に粘揚(7.5YR5/3)、厚さ100~120mm
	88.92				✓	✓			4	10	88.43 ~ 88.92m : Hc-1 50°上下端は連続的に連続。石英粒、粘片、粘土を含む 粘粒土(0.5%)。色調は明黄揚(10YR7/2)、厚さ55mm
	89.00				✓	✓			4	10	88.92 ~ 89.00m : C2 20°40°の粘粒土に連続的に連続。主断面同方向に斜交に割れ目 85°~10°に粘片化し、粘片間の一部は粘土に砂化し、 幅1%の白色(2.5Y7/2)粘粒土が、85.68m、53°の粘 土に砂化し、これ以降一部で粘粒土が連続して砂化し、 全体は「粘土・砂泥の粘片」呈す。 色調は淡黄(2.5Y7/3)~1.0に粘揚(7.5YR5/3)、厚さ100~120mm
89					✓	✓			3	3	89.00 ~ 89.26m : Hj 50°上端は幅5%の粘粒土の粘粒土に連続的に、下端は連続 的に連続。主断面同方向に斜交に割れ目。粘片は粘土に 粘片化し、粘片間の一部は粘土に砂化し、幅1%の白色(2.5Y7/2) 粘粒土が、85.68m、53°の粘土に砂化し、これ以降一部で粘粒土が 連続して砂化し、全体は「粘土・砂泥の粘片」呈す。 色調は淡黄(2.5Y7/3)~1.0に粘揚(7.5YR5/3)、厚さ100~120mm
	89.26				✓	✓			3	3	89.26 ~ 89.92m : Hc-2 50°上下端は連続的に連続。石英粒、粘片、粘土を含む 粘粒土(0.5%)。色調は明黄揚(10YR7/2)、厚さ55mm
90					✓	✓			0	0	89.92 ~ 89.92m : Hc-2 50°上下端は連続的に連続。石英粒、粘片、粘土を含む 粘粒土(0.5%)。色調は明黄揚(10YR7/2)、厚さ55mm

調査名

孔番・深度

H27 B-2 (90 ~ 95)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破碎性状・詳細スケッチ等

標尺 90 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化			
	90.45		2.5YR 4.5 灰褐色	√ d	√ VI	√ E	ε				
05	90.81		2.5YR 4.5 灰褐色					3			
91									0	2	
05	91.69 91.70 91.72 91.76			√ c	√ VI	√ E	δ		0	3	
92	92.60 92.70		Gp	√ c	√ VI	√ E	δ		0	3	
05				√ c	√ VI	√ E	δ		0	3	
93	93.00			√ c	√ VI	√ E	δ		0	5	
05			2.5YR 6/4 緑褐色	√ c	√ VI	√ E	δ		0	5	
94				√ c	√ VI	√ E	δ		0	5	
05	94.80 94.89			√ c	√ VI	√ E	δ		0	5	
95			2.5YR 6/4 緑褐色	√ c	√ VI	√ E	δ		0	5	

90.94 ~ 91.69 m : D

- 割れ目には風化・酸化・砂状化部が散在 (2.5YR 9.0/10) は 5 ~ 20% の部を占め、割れ目の形状は、固結部状部と基盤岩の砂状部とを呈し、急傾斜部には消滅した。90.81 m 以降は硬く、割れ目状部と割れ目の大半は砂状部、割れ目の一部は塊状部 40 ~ 50% 主体。
- 90.50 ~ 50% 厚 20% の石英脈が分布。
- 91.07 m 以降は、塊状部と砂状部とを呈し、割れ目の一部はマロン磁鉄鉱が、黒鉄鉱を伴う。
- 91.04 ~ 91.20 m 割れ目厚 1.7 cm の磁鉄鉱を伴った砂状部は、割れ目には、前記の磁鉄鉱と黒鉄鉱を伴う。
- 91.60 m 以降は、厚 3 ~ 5 cm の長石磁鉄鉱を伴う。29.5% 主体断面は、磁鉄鉱を伴う。主に断面方向に取れる。

91.69 ~ 91.76 m : 磁鉄帯 (主に断面 91.70 m)

- 91.69 ~ 91.70 m : Hc-1
51° と 5° の割れ目があり、下部は連続的に連続。3.5 cm の微小石英粒と約 5% の含鉄磁鉄鉱 (磁鉄) 色調は明褐色 (2.5YR 7/2) ~ 灰褐色 (2.5YR 6/4) の鉄鉱を呈す。上部の割れ目には白色磁鉄鉱とマロン磁鉄鉱。厚 3 ~ 4 cm
- 91.70 ~ 91.72 m : Hb
上部 51° の割れ目に、下部 5° の割れ目と連続。4 ~ 5 cm の石英粒、5.5 cm の石英の砂状部と約 20% の含鉄磁鉄鉱を伴う。色調は明褐色 (2.5YR 6/4)。厚 7 ~ 12 cm
- 91.72 ~ 91.76 m : Hj
上部 5° の割れ目と、下部 95° の割れ目に連続。主に断面と同方向の、20% 程度の細粒の割れ目が多い。5.5 ~ 10% の石英を伴う。割れ目と主に断面と同方向の、5 ~ 10% の鉄鉱と白色磁鉄鉱を伴う。全体的に、鉄と磁鉄鉱を伴う。色調は明褐色 (2.5YR 6/4)。厚 30 ~ 40 cm

91.76 ~ 94.80 m : Cl

- 高層部は、割れ目と含鉄磁鉄鉱、2.5YR 9.0/10 の砂状部と 10 ~ 30% の小石英に合致し、細粒化可。
- 93.00 m 以降は、厚 3 ~ 5 cm の石英脈が、93.00 m 以降は、高層部の割れ目と、厚 1 ~ 2 cm の石英脈が、石英、鉄、長石の大半は白色化、割れ目には砂状化部を伴う。マロンは、2.5YR 6/4 磁鉄帯と合致する。
- 92.09 m の 10% 緑鉄石を 30° 割れ目と割れ目の変位部。
- 92.18 ~ 92.24 m. 44° 割れ目は 5 ~ 10% の石英片に砂状部割れ目面にマロンを伴う。
- 92.65 m. 55° 割れ目に 10% マロンを伴う。
- 93.01 ~ 94.13 m 磁鉄帯は、割れ目状部は分布する。
- 94.26 ~ 94.38 m. 5 ~ 10% の大型石英磁鉄鉱を伴う。一部は 35 ~ 50° 割れ目と合致する。

94.80 ~ 94.96 m : Ch
全体的に、緑鉄石を伴う。

調査名

孔番・深度

H27B-2 (95 ~ 100)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 95 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
05												<p>概ね新鮮で砂色、一部割れ目あり風化・褐色化が進行部分あり</p> <p>現在地層は割れ目・変質で砂色、さらに割れ目状に砂色が認められる。</p> <p>95.46m 50°割れ目幅10~15cmの褐色化・砂色に軟化。上盤側は幅7cm程度の砂色化部分同一部は途中で尖滅している。</p>
96									37	25		
05												<p>96.60~96.63m 割れ目幅10%程度で褐色化、幅1.2cmの砂色部分が分布する。</p>
97									27	15		<p>97.36m 35°割れ目に深褐色・細砂脈あり、砂色下97.65mまで高層部は割れ目が分布する。</p>
05												
98	97.96								0	7		<p>97.96~98.48m: CM 高層部は砂色・割れ目・砂色化も認められるが、砂色化部分に砂色化が認められ、高層部の白濁化も多量</p>
05	98.48											<p>98.48~99.44m: CL 割れ目・砂色化部分も認められる。高層部は砂色・高層部は砂色・高層部は砂色・高層部は砂色</p> <p>99.44m 以上は砂色・高層部、高層部は砂色・高層部は砂色</p>
99									0	9		<p>99.16~99.44m 高層部・高層部は砂色・高層部は砂色・高層部は砂色</p>
05	99.44											<p>99.44~99.90m 高層部は砂色・高層部は砂色・高層部は砂色</p> <p>高層部は砂色・高層部は砂色・高層部は砂色</p> <p>高層部は砂色・高層部は砂色・高層部は砂色</p>
100	99.90											<p>高層部は砂色・高層部は砂色・高層部は砂色</p> <p>高層部は砂色・高層部は砂色・高層部は砂色</p> <p>高層部は砂色・高層部は砂色・高層部は砂色</p>
	100.00								11	11		

259Y
5/1
緑灰

GP

259Y
5/1
緑灰

調査名

孔番・深度

H27 B-2 (100 ~ 105)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 100 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	山アの形状	山アの種さ	風化	変質			
05	100.52			2.5GY 5/1 緑灰	✓ C	✓ V	✓ B	β	2			✓ CL
101	101.32				✓ S	✓ V	✓ C	δ	3	✓ 0	✓ 4	
05	102.05		Gp		✓ b	✓ V	✓ B	β	2			✓ CM
102	102.41				✓ C	✓ V	✓ C					
05	102.71				✓ b	✓ V	✓ B		γ	2		
103	102.94			2.5YR 5/2 灰褐	✓ C	✓ V	✓ B	δ	3	✓ 0	✓ 4	
05	103.17				✓ C	✓ V	✓ B	β	2			✓ CL
104	103.70			2.5YR 7/2 暗灰	✓ C	✓ V	✓ D	γ	3	✓ 0	✓ 6	
05	104.65			2.5YR 5/2 灰褐	✓ b	✓ V	✓ B	β	2	✓ 0	✓ 5	✓ CM
105	105.21											

100.52 ~ 101.32 m: 節理と風化の交代の連続。割れ目2時単位。硬さ「C」主体で部分的に硬さ「B」の硬質。風化の交代が連続。
 100.84 ~ 102.05 m, 101.23 ~ 101.32 m: 節理と風化の交代が連続。中5~10% 軟質と硬さは「軟質」見られる。

101.32 ~ 102.05 m: CM
 10% 程度に軟質物を含む。
 一部の軟質物の低い割れ目分布あり。

102.05 ~ 104.65 m: CL
 103.70 m: 軟質物と硬さ「C」分布。
 103.70 m: 軟質物と硬さ「C」の交代が連続。
 102.05 ~ 102.41 m: 約10% 間隔で軟質物と硬さの低い軟質物が見られる。

102.94 ~ 102.94 m: 硬さ「B」割れ目主体。割れ目には1~3% 軟質と硬さの交代が連続。軟質物と硬さの分布あり。

102.94 ~ 103.17 m: 20~30% 割れ目と風化の交代が連続。軟質物と硬さの交代が連続。

103.17 ~ 103.70 m: 割れ目の交代中に軟質物の分布は認められる。一部の軟質物の低い軟質物と硬さの分布あり。

103.70 ~ 104.65 m: 交代の交代。軟質物を含む交代。軟化CL。軟質物と硬さの交代が連続。軟質物と硬さの分布あり。

104.65 ~ 105.21 m: CM
 104.14 ~ 104.19 m: 深さ。硬さ「C」硬質物と硬さの分布あり。

調査名

孔番・深度

H27B-2 (105 ~ 110)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 105 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
05													104.14 ~ 104.19 m 上下端均 40° 割れ目に面して 稜状片状に φ 2-3 mm 細砕化する。 下端面は白色粘土の付着。中間は全体の φ 0.5 mm 以下と微細石英粒の点状存在。
106					b	IV	B	β	2	24	14	CM	105.70 ~ 106.03 m 割れ目は 20-30 mm 程度に 代り。割れ目面には砂状粘土が付着。10 m 未満 の範囲である。
05													106.21 ~ 106.01 m 中層に割れ目が多い。粘着層は高く 10-20 cm 程度に厚く細砕化する。粘着層の下の層は 隙間に割れ目代り。
107			Gp	25YR 6/2 灰褐	x	x	x	x	x	17	17	C2	107.68 ~ 107.73 m 割れ目は 10-20 mm 程度に 代り。粘着層の下の層に付着して厚い層に細砕化 面である。
05	107.75				b	IV	B	β	2				107.15 ~ 107.62 m : C2 割れ目は φ 3-5 mm 程度に代り。砂状粘土 粘着層は 10 cm 程度に厚く付着している。 その一部は黄緑色の付着。これは粘着層に代り は付着する。
108										14	14	CM	107.60 ~ 115.99 m : CM 割れ目は φ 10 mm 程度。 110.10 m ~ 114.06 m 間は 10-30 mm 間隔程度の 粘着層の下の層に割れ目代りも含まれる。 10 m 程度に。割れ目面は 10 cm 程度に厚く
05					b	IV	B	β	2				108.57 ~ 108.60 m 40° 割れ目に 10-15 mm 程度 の付着。上部面には黄緑色の付着。微細 石英粒の付着も付着する。
109										0	0		
05													
110										0	5		

L 116 00

調査名

孔番・深度

H27 B-2 (110 ~ 115)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破碎性状・詳細スケッチ等

標尺 110 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分						最大コア長	岩級区分	破碎度区分			
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質	ROD						
	05															110.70 ~ 112.41 m 白色の「片麻岩」色に「片麻岩」 同一割れ目化傾向。
	111									0	9					
	05															111.37 m 75~80割れ目「片麻岩」 2~3割れ目砂化 2割れ目30割れ目片麻岩。
	112		Gp	7.5FR Fr褐	6	14	B	β	2	11	11	CM				
	05															112.41 ~ 112.44 m 50前後の割れ目 片麻岩化、 片麻岩化 (赤)
	113									0	4					
	05															113.03 ~ 113.81 m 白色の「片麻岩」 5~10%の割れ目 細かく、片麻岩の傾向が 少ない。
	114									0	9					
	05			2.5FR 緑												114.37 ~ 115.70 m 緑色色調 片麻岩。
	115									0	9					115.65 m 80~85割れ目 一部に片麻岩と片麻岩 1割れ目の暗緑色片麻岩 2割れ目の片麻岩

調査名

孔番・深度

H27B-2 (115 ~ 120)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 115 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				ROD
05	115.70			2.5GY 5/1 緑灰	✓ b	✓ IV	✓ B	β	2	✓ 0	✓ 0	CM	<p>115.33 ~ 115.70 m: 暗緑色鉄斑(鉄泥石)のp 1~2% 斑点状 ~ 1割1% 脈状で分布する。特に前者は分布が多い。</p> <p>115.70 m 以下で 橙色の正長石の結晶。全体の色調が橙色に変化。</p>
116	115.79			2.5YR 7/4 灰緑	✓ c	✓ V	✓ C	β	3	✓ 0	✓ 0	CL	<p>115.99 ~ 116.49 m: CL 割れ目が細く分布。f 10~30% 全体の劣化している。 割れ目の多さは幅 1~3% 程度に細片化している。</p> <p>116.10 ~ 116.27 m では石英の結晶が多く。全体の硬質は弱。</p>
05	116.49												<p>116.49 ~ 117.47: CM 鉄斑物の割れ目が多し。一部は幅 1~2% 程度の鉄斑部が分布している。一部は f 5~10% 程度に細片化している。</p>
117			✓ Gp	2.5YR 6/2 灰褐	✓ b	✓ IV	✓ B	β	2	✓ 0	✓ 0	CM	<p>117.21 m, 20 割れ目幅 2% 程度で暗緑色鉄斑(鉄泥石)の断片的に分布する。この上盤部の 10% は弱く風化した状態にあり。劣化は伴っていない。</p>
05													<p>117.12 ~ 117.10 m: 30 割れ目と 70~80 割れ目の交互。一部は f 10~20% 程度に細片化している。砂化はほとんど見られない。</p> <p>117.03 ~ 117.42 m: 20~30% 程度割れ目。f 10~20% 同様に分布する。一部は劣化度が高く。f 1割割れ目代り。</p>
118													<p>117.47 ~ 118.47 m: CL 30~40 割れ目。f 10~20% 同様に分布する。割れ目は薄く砂化している。</p> <p>118.75 ~ 119.00 m では幅 1% 以下の鉄斑に鉄泥石を伴った状態にあり。</p>
05	119.07			2.5YR 7/2 明緑灰	✓ b	✓ IV	✓ B	β	3	✓ 0	✓ 0	CL	<p>119.47 ~ 120.00 m: CL 30~40 割れ目。f 10~20% 同様に分布する。割れ目は薄く砂化している。</p>
119				2.5YR 6/2 灰褐	✓ b	✓ IV	✓ B	β	2	✓ 0	✓ 0	CM	
05	119.97												
120	120.00												

調査名		孔番・深度		観察日								
		H278-2 (120 ~ 125)										
標尺 120 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長 ROD	岩級区分	破砕度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破砕性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの傾き	風化				
	0.5											<p>堅硬 30~50°斜傾角の同一方向に分布する。 白筋状の中層割れ目と赤筋の同様に同様に、ハニシの割れ目も分離 1層。一部は既に同色化している。 割れ目充填物は分布しない。</p>
	120.53											<p>120.63 ~ 120.65 m : 破砕帯 (主として断面120.65 m)</p> <p>120.63 ~ 120.65 m : Hb 上部12~20%の深部にて、下部32%の連続的に連続。p2~3%の石英粒 中3~10%の赤筋計2%の程度を含む赤筋「深層赤土」層。 色調は灰-ブ灰 (2.5~4%)、厚さ15~25% m</p> <p>120.65 m : Hc-1 32%以下部にて連続的に連続。石英粒。赤筋の割合は含ませる 軟弱粘土 (20%)。色調は灰-ブ灰 (2.5~4%)、厚さ1~3% m</p>
	121.03											<p>120.65 ~ 121.03 m : CM</p> <p>堅硬。P-割れ目0.5~1°の傾角は分布する。 上部部は緑泥石化に赤筋を呈し、古化している。 白筋状の中層割れ目は同様に同様に、ハニシの割れ目も 分離する。</p>
	122.03											<p>121.03 ~ 122.03 m : CH</p> <p>堅硬。割れ目が少なく、柱状~長柱状 (20% 200~200) のP-3 層。 p1~3%の暗緑石化。緑泥石化点が多く、色調は緑褐色帯 色。</p>
	122.42											<p>122.03 ~ 122.42 m : CL</p> <p>上部より下へ白化が連続。赤筋の中層の一部は褐色化が 白筋状の中層割れ目とハニシの割れ目も分離。細粒化 (色調が赤)。 122.42 ~ 122.97 m : CM</p> <p>堅硬。赤筋。一部はハニシ割れ目も分離する。中層割れ目を含む 割れ目も褐色化が赤筋は分布する。 p5~10%の暗色の割れ目長石斑晶と点状。白濁化は長石 斑晶と分布する。</p>
	122.97											<p>122.97 ~ 123.41 m : CL</p> <p>堅硬。白化と変質の古化は層の厚く、割れ目が多く、60~70° 割れ目の同一方向に1~5cmの間隔に分布する。 割れ目充填物はほとんど分離する。</p>
	123.41											<p>123.41 ~ 125.30 m : CM</p> <p>一部は最層の底に割れ目や中層割れ目も分離。ハニシの 層も分離。細粒化が (分離。細粒化 (色調が赤)。 12%の風化・変質層で、最層の白濁化は層の厚く 分離する。 全層にp1~2%の暗緑石化の緑泥石化点。中には暗緑 色帯色。</p>
	124.30											<p>124.30 m 付近に割れ目の傾角が 24° の P-3 割れ目層 に人為的に完全な割れ目がある。</p>

↓
逆刻
5P
120
5
123
5
5
51

↑

調査名

孔番・深度

K27B-2 (125 ~ 130)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 125 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				変質
					✓ b	✓ IV	✓ B	β	2		CM	125.00 ~ 125.38 m: 全断面の中部割目が多い。同層と同様にハニシ割目も連続する。
	125.38											
	0.5			2.5YR 6/2 圧縮	✓ b	✓ V	✓ C	β	2		CL	125.38 ~ 125.70 m: CL 上部段が比較的硬く割目も中割目程度、0%程度の割目層で分層。ハニシ割目も連続。細粒状。20%程度の割目層が多い。 125.38 ~ 50割目層の割目層は0.5%程度の硬さ割目層に代わり、粘土の層が厚くなる。
	125.70				✓ b	✓ IV	✓ B	β	2		CM	125.70 ~ 126.25: CM 一部で上部段の硬く割目層の中割目層を含む。 割目層は粘土の層に代わり
126									30	15		
	126.25											
	0.5			2.5YR 6/4 圧縮	✓ c	✓ V	✓ C	γ	3		CL	126.25 ~ 127.41 m: CL 一部で50~60°割目層は0.5%程度の硬さ割目層に代わり、粘土の層が厚くなる。 硬さ割目層は粘土の層に代わり、粘土の層が厚くなる。 粘土の層は粘土の層に代わり、粘土の層が厚くなる。 粘土の層は粘土の層に代わり、粘土の層が厚くなる。
	126.97				✓ c	✓ V	✓ C	γ	3		CL	
127			Gp		✓ c	✓ V	✓ C	γ	3		CL	
	127.00			2.5YR 6/2 圧縮	✓ c	✓ V	✓ C	γ	3		CL	
	127.41											
	0.5			10YR 7/4 圧縮	✓ d	✓ VI	✓ E	E	4	3	DV	127.41 ~ 127.48 m: 石灰質帯 (主断面 127.41 m) 127.41 m: Hc-1 50°以下端部連続的に連続。石灰質、粘土を含む。取れ割目 (0.5%)。色調は灰白 (10YR 7/4)。厚さ 0.5 ~ 1 m 127.41 ~ 127.48 m: Hj 上部50°連続的。下部は50~60°湾曲して連続。0.5~5%程度の割目層。粘土の層は粘土の層に代わり、粘土の層が厚くなる。粘土の層は粘土の層に代わり、粘土の層が厚くなる。粘土の層は粘土の層に代わり、粘土の層が厚くなる。 色調は灰白 (10YR 7/4)。厚さ 40~45%
	127.48											
	0.5											
	127.82											
128				2.5YR 6/2 圧縮	✓ c	✓ V	✓ C	γ	2		CL	127.48 ~ 128.82 m: CL 40~60°割目層に代わり、粘土の層が厚くなる。 粘土の層は粘土の層に代わり、粘土の層が厚くなる。
	128.82											
	0.5											
	128.87											
	128.88											
	128.97											
	129.41											
	129.56											
129				2.5YR 6/2 圧縮	✓ c	✓ V	✓ C	γ	2		CL	128.82 ~ 129.97 m: Hc-2 63°以下端部連続的に連続。0.5~3%程度の割目層。粘土の層は粘土の層に代わり、粘土の層が厚くなる。粘土の層は粘土の層に代わり、粘土の層が厚くなる。粘土の層は粘土の層に代わり、粘土の層が厚くなる。 色調は灰白 (10YR 7/4)。厚さ 3~5 m 128.88 ~ 128.97 m: Hj 上部63°。下部62°。粘土の層は粘土の層に代わり、粘土の層が厚くなる。粘土の層は粘土の層に代わり、粘土の層が厚くなる。粘土の層は粘土の層に代わり、粘土の層が厚くなる。 色調は灰白 (10YR 7/4)。厚さ 60%
	129.59											
	129.75											
130												

125
126
127
128
129
130

↑

調査名

孔番・深度

H-7B-2 (130 ~ 135)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 130 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化			
	05			ス+YR 7/1 明褐灰	✓ b	✓ IV	✓ B	Y-2		CM	
	130.79										
	05			10R/2 10/1 黄褐色	✓ c	✓ V	✓ C	δ-2		C _L	
	131.79										
	05				X	X	X	Y-2			
	131.95										
	05			ス+YR 7/1 明褐灰	X	X	X	Y-2			
	132.09										
	05				C _L	V	E	δ-3		D	
	132.24				X	X	X				
	05				C _L	V	E	δ-2		D	
	133.49				X	X	X				
	05				S	V	C	Y-2		C _L	
	133.75										
	05				dv	vW	EV	δ-4		Hc-1 Hb Hj	
	133.80				c	v	E ₂	δ-3			
	05				c	v	C	δ-2		C _L	
	133.92										
	05				dv	vW	EV	δ-4		Hc-1 Hj	
	134.19				c	v	E	δ-3			
	05				c	v	C	Y-3		C _L	
	134.33										
	05			ス+YR 7/2 明褐灰	✓ c	✓ IV	✓ C	Y-3		C _L	
	134.52				X	X	X	Y-3			
	05				c	v	C	Y-3			
	134.77				✓ c	✓ V	✓ E	δ-3		D	
	135.00										

下端部より一部に割れ目幅1-3%の付いた。上部外は粘土質の砂岩。

130.79 m: 40°とこれと交差する20-30°割れ目幅1-3%の付いた。粘土質の砂岩。粘土質の砂岩の一部の割れ目は20%。

130.79 ~ 131.95 m: C_L
割れ目幅は0-5%の付いた。粘土質の砂岩。粘土質の砂岩の一部の割れ目は20%。

131.95 ~ 132.09 m: D
風化の砂岩。粘土質の砂岩。粘土質の砂岩の一部の割れ目は20%。

132.09 ~ 132.24 m: C_L
一部が割れ目幅10%程度に付いた。粘土質の砂岩。粘土質の砂岩の一部の割れ目は20%。

132.24 ~ 133.49 m: D
粘土質の砂岩。粘土質の砂岩の一部の割れ目は20%。

133.49 ~ 133.75 m: C_L
20-30°と60-70°割れ目交差。割れ目幅1-3%。

133.75 ~ 133.92 m: 破砕帯 (主として133.75 m) 粘土質の砂岩
40°と下端部を通る水平の連続。粘土質の砂岩。粘土質の砂岩の一部の割れ目は20%。

133.92 ~ 134.19 m: Hc-1
粘土質の砂岩。粘土質の砂岩の一部の割れ目は20%。

134.19 ~ 134.33 m: Hc-1
粘土質の砂岩。粘土質の砂岩の一部の割れ目は20%。

134.33 ~ 134.52 m: Hc-1
粘土質の砂岩。粘土質の砂岩の一部の割れ目は20%。

134.52 ~ 134.77 m: Hc-1
粘土質の砂岩。粘土質の砂岩の一部の割れ目は20%。

134.77 ~ 135.00 m: Hc-1
粘土質の砂岩。粘土質の砂岩の一部の割れ目は20%。

D: 粘土質 (粗粒部系)

調査名

孔番・深度

H27 B-2 (135 ~ 140)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 135 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長 ROD	岩級区分	破砕度区分	コア↑
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
	135.34		GP	c	✓	✓	✓	δ	3			<p>134.15~134.19m: Hc-1 75°以下端の直線的に連続。石英拉断片は殆んど全くな 軟質粘土(0.5%)。下端部にはφ2.5%以下の石英粒が点在す。 色調は上部側・割れ目(2.5GY 4/1)。F・明割れ目(2.5GY 4/1) 下端・暗割れ目(2.5GY 4/1)で3色9病状の模様を呈す 厚2.20m 19</p> <p>134.20~134.23m: Hc 上端750cm連続的に下端は70°破砕20cm不明(50%程度 粗粒)。φ5~20%の粗粒の存在。割れ目部には緑色粘土 の付着が認められ「粗粒の存在」を呈す。粗粒の存在は 色調はF・GY(2.5GY 4/1)。厚2.30m以上。</p> <p>134.23~134.27m: Cc 粗粒の存在(1.25%)下端部は侵入地帯直下部で20° 割れ目F・多量。色調はF・多量。 134.23~134.33m, DcとGpの混在した層を呈す。色調は緑色。 134.33~134.34m: D 土質はφ10%の粗粒の存在。</p> <p>135.34~135.65m: CL 硬さ「c」を主体とした割れ目貫通部 ・硬さ「B」は上部の135.34~136.50mに小分布 一部は連続的に分布し、割れ目貫通部を呈す。 ・硬さ「B」は割れ目部に風化が認められφ5~10%の 粗粒を含む。硬さ「B」は136.50~136.64m、137.44 ~137.60m、139.07~139.09mに27長、15cm前後 の分布が認められる。 ・136.40m以下はφ2.3%の暗緑色・緑色の斑点が点在する。 ・136.54m、35°傾斜10~15°の粗粒の粗粒の存在(φ) φ5%前後の粗粒の分布。両境界部を含む。粘土は 存在する。 ・137.44~137.53mはφ5~10%の粗粒の存在。137.53 ~137.60mは暗緑色の粗粒の存在。 ・137.68mの色調が変化。 137.68m以下は黄褐色帯で、これは石英の存在が 原因。137.68m以下は黄褐色帯で、これは石英の 存在が原因。 ・138.10~138.30m、割れ目一部は砂化、厚1~2%の 正統粘土の存在が認められる。 ・138.35m・80°割れ目: 厚2.1%の粗粒の存在。割れ目 138.67m・30°割れ目: 厚2.0%の粗粒の存在。 ・139.67m・350割れ目一部は厚2.5%の粗粒の存在。 ・139.09~139.04m。30°割れ目: 粗粒の存在。φ5~10% の粗粒の存在。粗粒の存在は: 20%程度。粗粒の存在は: 存在する。</p>
05												
136			GP	c	✓	✓	✓	γ	2	0	3	<p>136.50</p> <p>136.64</p> <p>136.69</p> <p>136.74</p>
05												
137			GP	c	✓	✓	✓	γ	2	0	4	<p>137.44</p> <p>137.60</p> <p>137.68</p>
05												
138			GP	c	✓	✓	✓	γ	2	0	3	<p>137.68</p> <p>138.10</p> <p>138.30</p> <p>138.35</p> <p>138.67</p>
05												
139			GP	c	✓	✓	✓	γ	2	0	3	<p>139.09</p> <p>139.04</p>
05												
140					✓	✓	✓	δ	3	0	3	<p>139.09~139.04m。30°割れ目: 粗粒の存在。φ5~10% の粗粒の存在。粗粒の存在は: 20%程度。粗粒の存在は: 存在する。</p>